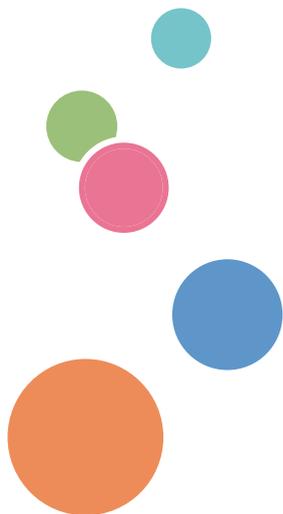




取扱説明書 [詳細版]

1. 添付品や名称を確認する
2. 映像を投写する(基本操作)
3. 便利な機能
4. ビューワーを使う
5. オンスクリーンメニュー
6. 機器と接続する
7. 本体のお手入れ／ランプの交換
8. ユーザーサポートウェア
9. 付録



ご使用前に、この取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。
また、この取扱説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。
安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず本書の「本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください」をお読みください。

はじめに

このたびは、RICOH プロジェクター（以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機は、コンピューターや DVD プレーヤーなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。本書は、下記の機種について共通の取扱説明書です。RICOH PJ X5371N を主にして説明しています。

本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。

本機は、日本国内向けモデルです。

● 本書で説明している機種名

RICOH PJ X5371N/RICOH PJ WX5361N

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本機を安全にお使いいただくために、ご使用前の前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	▲ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

本機は日本国内専用です



国内では交流 100 ボルト以外使用禁止

- 日本国内で使用する場合は交流 100 ボルトで使用してください。
添付の電源コードは国内使用専用です。日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。
詳細に関してはお客様相談センターまでお問い合わせください。
- 本機に添付している電源コードは、本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

電源コードの取り扱いは大切に



- 電源コードは大切に取扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
 - ・ 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
 - ・ コードの上に重い物をのせない
 - ・ コードをプロジェクターの下敷きにしな
 - い
 - ・ コードの上を敷物などで覆わない
 - ・ コードを傷つけない、加工しない
 - ・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
 - ・ コードを加熱しない
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）お客様相談センターに交換をご依頼ください。

故障したときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする場合やプロジェクターを落としたり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。お客様相談センターへ修理をご依頼ください。

水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ 雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
 - ・ 風呂やシャワー室で使用しない
 - ・ プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない
 - ・ プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない
- 万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターにご連絡ください。

次のような所では使用しない



- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
 - ・ 暖房の近くや振動の多い所
 - ・ 湿気やほこりの多い場所
 - ・ 油煙や湯気の当たるような場所
 - ・ 調理台や加湿器のそば
 - ・ 箱の中など密閉された場所
- プロジェクターが故障または使用寿命が短くなる恐れがあります。

警告

動作中にレンズの前に物を置かない



- レンズは本機のレンズカバー以外の物で塞がないでください。
動作中にレンズカバー以外の物でレンズを塞いだり光をさえぎったりすると、その物が高温になり、破損や火災の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。
感電の原因となります。

内部に物を入れない



異物挿入禁止

- プロジェクターの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。
万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターにご連絡ください。

プロジェクターのレンズをのぞかない



レンズをのぞかない

- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。
動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。

キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。
また改造しないでください。火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理はお客様相談センターにご相談ください。

ランプ交換は電源を切ってから



電源プラグをコンセントから抜く

- ランプの交換は、電源を切りしばらく待って、電源プラグをコンセントから抜き、1時間おいてから行ってください。
動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。
詳細は [182 ページ](#)をご覧ください。

天吊りの設置について



- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

警告

無線 LAN ユニットの使用について

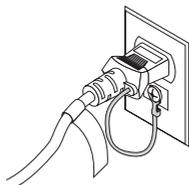


● 無線 LAN ユニットは、医療機器、原子力設備／機器、航空宇宙機器、輸送設備／機器など人命に関する設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されていませんので、使用しないでください。

- 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで無線 LAN ユニットを使用しないでください。
- 医療機器の近くで無線 LAN ユニットを使用しないでください。医療機器に電磁障害をおよぼし生命の危険があります。
- 無線 LAN ユニットの分解したり改造したりしないでください。火災や感電の原因となります。
- 風呂場や加湿器のそばなどの水分や湿気の多い場所に置いたり使用したりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。

注意

機器のアースは確実にしてください



● 本機の電源プラグはアース付き 2 芯プラグです。機器の安全確保のため、機器のアースは確実にしてご使用ください。詳細は [33 ページ](#) をご覧ください。

投写中および投写終了直後は排気口をさわらない



- 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があります。やけどの原因となることがあります。

移動するときは電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

お手入れの際は電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

通風孔をふさがない



- プロジェクターの通風孔をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として10cm以上）あけてください。

過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない



- 本機のLANポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LANポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

ソフトケースの取り扱いについて



無理な扱いはしない

- プロジェクターを入れて振り回さないでください。また、本機および本機の添付品以外は入れないでください。プロジェクターやソフトケースが落下して、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いについて



- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 - ・ 電池をショート、分解、火に入れたりしない
 - ・ 指定以外の電池は使用しない
 - ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
 - ・ 電池を入れるときは、極性（+と-の向き）に注意し、表示どおりに入れる
- 電池を廃棄する際は、販売店、または自治体にお問い合わせください。

点検・本体内部の清掃について



内部の清掃はお客様相談センターで

- 1年に一度くらいは内部の清掃をお客様相談センターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましてはお客様相談センターにご相談ください。

電源コードはコンセントに接続する



- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですので行わないでください。また、天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントをご使用ください。

安全に関する本機の表示について

警告、注意のラベル位置

本機には、下記に示す位置に安全にお使いいただくための、**⚠警告**、**⚠注意**のラベルまたは刻印があります。表示にしたがって安全にお使いください。

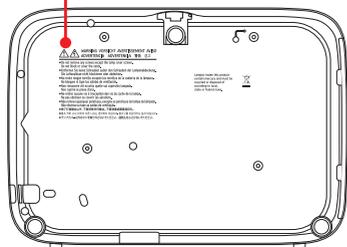
1. プロジェクターのレンズをのぞかないでください。動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。
動作中にレンズにレンズキャップをしないでください。レンズキャップが高温になり変形します。
動作中にレンズの前にものを置いて光りをさえぎらないでください。ものが高温になり、破損や火災の原因となります。
2. 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があります、やけどの原因となることがあります。
3. ランプカバー以外のネジを取り外さないでください。
通気孔をふさがないでください。
4. ランプ交換は電源プラグを抜き、1時間以上放置した後に行ってください。
ランプは割れているおそれがありますので、ガラス破片に注意してください。

3

⚠ ⚡

**WARNING VORSICHT AVERTISSEMENT AVISO
ADVERTENCIA ADVERTENCIA 警告 경고**

- Do not remove any screws except the lamp cover screws.
Do not block or cover the vents.
- Entfernen Sie keine Schrauben außer den Schrauben der Lampenabdeckung.
Die Luftauslässe nicht blockieren oder abdecken.
- No retire ningún tornillo excepto los tornillos de la cubierta de la lámpara.
No bloquee ni tape las salidas de ventilación.
- Non rimuovere viti eccetto quelle sul coperchio lampada.
Non coprire le prese d'aria.
- Ne retirer aucune vis à l'exception des vis du cache de la lampe.
Ne pas obstruer ou couvrir les aérations.
- Não remova quaisquer parafusos, exceto os parafusos da tampa da lâmpada.
Não obstrua ou tape as saídas de ventilação.
- 除了灯盖螺丝以外，不要拆除任何螺丝。不要堵塞或覆盖通风孔。
- 램프 커버 외의 다른 나사는 분리하지 마십시오. 환기구를 차단하거나 덮지 마십시오.
- ランプカバー以外のネジを取り外さないでください。通気孔をふさがないでください。



1

⊘ ⚡ ⚠ ⚠ ⚠

2

4

⚠

注意

ランプ交換は電源プラグを抜き、1時間以上放置した後に行ってください。
ランプは割れているおそれがありますので、ガラス破片に注意してください。

ランプタイプ : タイプ12
Lamp Type : Type12

お願い

性能確保のため、次の点にご留意ください

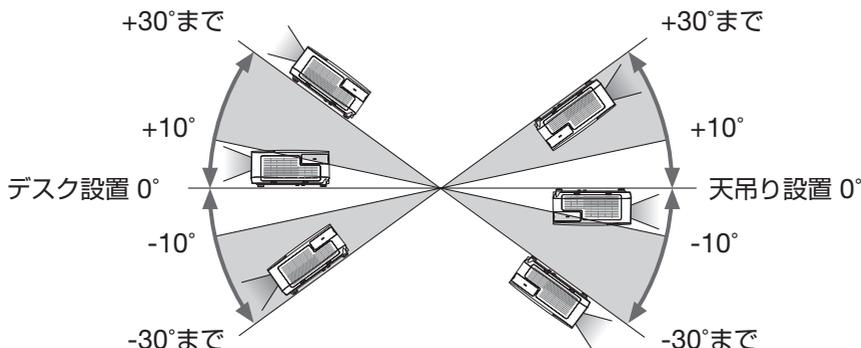
- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 本機を前後に傾けて使用する場合は、 $0 \sim \pm 30$ 度（チルトフットでの最大傾斜角度 10 度を含む）の傾き範囲内にしてください。 30 度の範囲を超えて傾けたり、左右に傾けたりすると、故障の原因となります。

また、 ± 10 度を超えて本機を使用した場合は、ランプ交換時間⁽¹⁾が短くなります⁽²⁾。

(※ 1) : 保証時間ではありません。

(※ 2) : $\pm 10^\circ \sim \pm 30^\circ$ （下記網掛け部分）で使用する場合はランプ残量が 25% になった時点でランプの交換をおすすめします。ランプ残量が 25% 以上あっても、ランプの個体差や使用条件によって、ランプが破裂したり、不点灯状態になったりすることがあります。

ランプ残量を確認するにはリモコンの（ヘルプ）ボタンを押して、「情報」→「使用時間」を表示します。📄 138 ページ



- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
 - ・ たばこの煙・ほこりの多い場所を使用する場合、または長時間連続して（5 時間／日または 260 日／年を超えて）使用する場合は、あらかじめお客様相談センターにご相談ください。
 - ・ 本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、ファンモードを「高速」にしてください。📄 133 ページ
 - ・ コンピューターなどで同じ絵柄の静止画を長時間投写すると、その絵柄が画面に若干残りますが、しばらくすると消えます。これは液晶パネルの特性上発生するもので、故障ではありません。コンピューター側でスクリーンセーバーをお使いになることをおすすめします。

- 標高約 1700m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- 本機を高所（気圧の低い所）で使用すると、光学部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 持ち運びについて
 - ・ 添付のソフトケースに収納して運んでください。
 - ・ レンズに傷が付かないように必ずレンズカバーを閉じてください。
 - ・ 振り回したりして、プロジェクター本体に強い衝撃を与えないでください。
 - ・ ソフトケースに収納した状態で、宅配便や貨物輸送はしないでください。プロジェクターの故障の原因となります。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手を触れないでください。
また、本機を使用されないときは、レンズカバーを閉じておいてください。
- 廃棄について
本体を廃棄する際は、販売店、または自治体にお問い合わせください。

ランプ取り扱い上の注意

- 安全・性能維持のため指定ランプを使用してください。
- プロジェクターの光源には、高輝度化を目的とした内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。このランプは、ご使用時間とともに輝度が徐々に低下する特性があります。また、電源の入／切の繰り返しも、輝度低下を早めます。
- ランプは、衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本取扱説明書に記載してある指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。
なお、指定の使用時間を超えてお使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が高くなりますので、ランプ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。
- ランプ破裂時には、ランプユニット内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェクターの通風孔から排出されることがあります。ランプ内部に使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉をあけるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。
- ランプが破裂した場合には、プロジェクター内部にガラスの破片が散乱している可能性があります。プロジェクター内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必ずお客様相談センターに依頼し、お客様ご自身でプロジェクター内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。
- 本機のランプには環境に有害な微量の無機水銀が使われています。使用済みのラン

ブは破裂させないように取り扱いに注意し、地方自治体の条例にしたがって処理するか、または販売店に連絡してください。

電源プラグを抜く際の注意

- 電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。
- 電源インジケーターが青色で短い点滅をしているときは電源を切る操作をしても電源は切れません。この間に、AC 電源を切断して電源を切らないでください。ランプの寿命が極端に短くなったり、ランプ破裂につながる場合があります。

投写する映像の著作権について

- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、本機の機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。アスペクト、台形補正、部分拡大などの機能を使用する場合はご注意ください。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューター等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN ユニットや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

電波に関する注意

- 添付の無線 LAN ユニット（以降「本ユニット」と省略します）は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって、本ユニットを使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本ユニットは、日本国内でのみ使用できます。

- 本ユニットは、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 分解／改造すること。
 - ・ 本ユニットに貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz帯の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
 - ・ 本ユニットを使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - ・ 万一本ユニットと「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、すみやかに本ユニットの使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
 - ・ その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、お客様相談センター（☎裏表紙）にお問い合わせください。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式および、OF-DM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。



- 2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す。
- DS-OF : DS-SS 方式および OF-DM 方式を示す。
- 4 : 想定される与干渉距離が 40m 以下であることを示す。
- — — : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

本機のパワーマネージメント機能についてのお知らせ

本機は、消費電力を抑えるため、工場出荷時に以下のパワーマネージメント機能①、②を設定しています。本機を LAN やシリアルケーブルなどを經由して外部機器から制御する場合は、オンスクリーンメニューを表示して①、②の設定を変更してください。

① スタンバイモード（工場出荷時の設定：省電力）

▶ 外部機器から制御する場合は「ノーマル」に変更してください。



- 「省電力」に設定されていると、スタンバイ状態のときに次の端子や機能が働きません。
PC コントロール端子、モニター出力端子、音声出力端子、USB (PC) ディスプレイ端子、LAN 機能、メール通知機能、DDC/CI

② 無信号電源オフ（工場出荷時の設定：20 分）

▶ 外部機器から制御する場合は「切」に変更してください。



- 「20 分後」に設定されていると、入力信号がなく、また本機を操作しない時間が 20 分続いた場合、自動的に本機の電源が切れます。

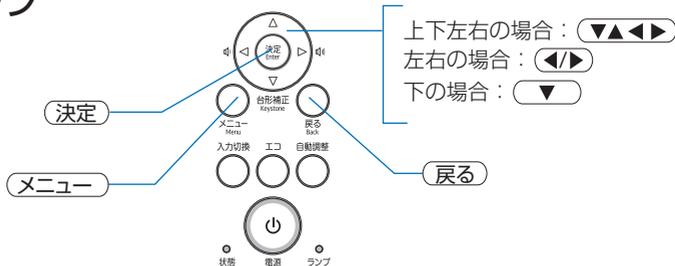
本書の表記について

マークの意味

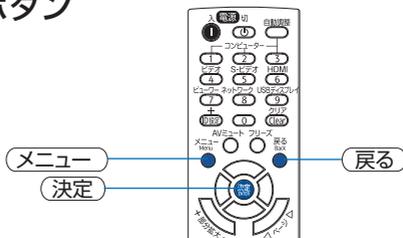
	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
	注意や制限事項を表しています。
	補足説明や役立つ情報を表しています。
	本書内の参照ページを表しています。
	特定の機種についての説明を表しています。

操作ボタンの表記例

●本体の操作ボタン

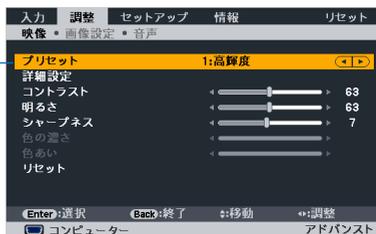


●リモコンの操作ボタン



メニュー項目の表記例

「プリセット」



参考

- 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

目次

はじめに	表紙裏
本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください	3
安全に関する本機の表示について	8
お願い	9
本書の表記について	13
1. 添付品や名称を確認する	16
1-1. 特長	16
1-2. 添付品の確認	19
1-3. 本体各部の名称	21
1-4. リモコン各部の名称	25
1-5. 添付ソフトウェアの動作環境	29
2. 映像を投写する（基本操作）	32
2-1. 映像を投写する流れ	32
2-2. コンピューターと接続する／電源コードを接続する	33
2-3. 本機の電源を入れる	34
2-4. 入力信号を選択する	36
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する	39
2-6. 台形歪みを調整する（台形補正）	44
2-7. コンピューターの映像を自動調整する	46
2-8. 本機の音量を調整する	47
2-9. 本機の電源を切る	48
2-10. あとかたづけ	49
3. 便利な機能	50
3-1. 映像と音声を消去する（AV ミュート）	50
3-2. 動画を静止画にする（フリーズ）	50
3-3. 映像の一部を拡大する（部分拡大）	51
3-4. エコモードと省エネ効果	52
3-5. 投写画面の歪みを調整する（4点補正 / ピンクッション補正）	55
3-6. セキュリティを設定して無断使用を防止する	58
3-7. USBケーブルを接続して本機のリモコンでコンピューターのマウス操作を行う（リモートマウス）	61
3-8. USBケーブルを経由して画像を投写する（USB ディスプレイ）	62
3-9. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作	65
3-10. LAN 経由でコンピューターの画面を本機へ送信して投写する（ネットワークプロジェクター）	73
3-11. 本機から LAN 経由でコンピューターを操作する（リモートデスクトップ）	77
3-12. マイクを接続する	84
4. ビューワーを使う	85
4-1. ビューワーでできること	85
4-2. プレゼンテーション資料の準備	88
4-3. ドライブに保存したファイルを投写する	89
4-4. 共有フォルダーのファイルを投写する	101
4-5. メディアサーバーの画像や動画を投写する	104

5. オンスクリーンメニュー	107
5-1. オンスクリーンメニューの基本操作	107
5-2. オンスクリーンメニュー一覧	112
5-3. 入力	115
5-4. 調整	116
5-5. セットアップ	124
5-6. 情報	138
5-7. リセット	140
5-8. アプリケーションメニュー	141
6. 機器と接続する	164
6-1. コンピューターと接続する	164
6-2. ディスプレイと接続する	167
6-3. DVD プレーヤーなどの AV 機器と接続する	168
6-4. 書画カメラと接続する	171
6-5. 有線 LAN と接続する	172
6-6. 無線 LAN と接続する	173
7. 本体のお手入れ／ランプの交換	177
7-1. フィルターの清掃	177
7-2. レンズの清掃	180
7-3. キャビネットの清掃	181
7-4. ランプとフィルターの交換	182
8. ユーザーサポートウェア	190
8-1. インストール方法	190
8-2. LAN を経由して画像や動画を投写する (Projection Utility)	193
8-3. スクリーンに斜め方向から投写する (Projection Utility の幾何学補正)	198
8-4. LAN を経由して画像を投写する (Advanced Network Utility)	201
8-5. JPEG 変換ツールでプレゼンテーションファイルを JPEG に変換する	211
8-6. プロジェクター管理ユーティリティで管理する	213
9. 付 録	214
投写距離とスクリーンサイズ	214
対応解像度一覧	218
仕様	220
外観図	223
コンピューター映像入力端子のピン配列と信号名	225
故障かな?と思ったら	226
インジケータ表示一覧	231
索引	233
別売品／商標について	236

1. 添付品や名称を確認する

1-1. 特長

● クイックスタート（3秒）、クイックパワーオフ、ダイレクトパワーオフ

パワーオンからわずか3秒で映像が表示され始めます（クイックスタート）^(注1)。
パワーオフ後に冷却ファンが回転しないので、すばやく片付けることができます（クイックパワーオフ）。

また、投写中にAC電源を切断することができます（ダイレクトパワーオフ）。

AC電源を切断する場合は、本機の電源コードを接続しているテーブルタップのスイッチやブレーカーなどを利用してください。

^(注1) スタンバイモードが「ノーマル」のとき。

● スタンバイ時の消費電力が0.21ワットの省エネ設計

オンスクリーンメニューのスタンバイモードで「省電力」を設定すると、スタンバイ時の消費電力が0.21ワットになります。

*数値は標準値です。

● 消費電力を抑えるエコモードとカーボンメーター表示

使用中の消費電力を抑えるため、「オートエコ」、「エコ1」、「エコ2」という3種類のエコモードを搭載しています。さらに、エコモード設定時の省エネ効果をCO₂排出削減量に換算して、電源切るときの「確認メッセージ」およびオンスクリーンメニューの「情報」に表示します（カーボンメーター）。

また、CO₂排出係数の変更や1kWhあたりの電気料金の設定などが可能です。

● ランプ交換時間が最大6000時間

エコモード（エコ2）を設定して使用すると、ランプ交換時間^(注2)が延ばせます。

^(注2) 保証時間ではありません。

● 垂直方向のレンズシフト機構を搭載

本体のレバーを回すと、投写範囲を上下に移動することができます。

● 様々な角度からの投写を可能にする台形補正機能^(注3)

垂直台形補正に加えて斜め投写画面の歪みを補正する水平台形補正、四隅を選んで調整する4点補正機能と投写画面のわん曲歪みを調整するピンクッションの調整ができます。

^(注3) 投写角度には制限があります。

● HDMI入力端子を2系統装備し、デジタル映像信号を投写可能

HDMI入力端子を2系統装備しており、デジタル映像信号を投写することができます。また、HDMI入力端子は音声信号にも対応しています。

本機のHDMI入力端子は、HDCPに対応しています。

● 有線LAN／無線LAN対応（無線LANユニット内蔵）

LANポート（RJ-45）を装備しており有線LANに接続してコンピューターから本機へ画像を伝送したり、コンピューターから本機を制御したりできます。

さらに、標準装備の無線LANユニットを使用して、無線LANを利用することができます。

● LAN対応ビューワー機能

本機のビューワーからLANおよび無線LANに接続したコンピューターの共有フォルダーの画像や動画を投写できます。

*ビューワーはWindows Media Player 11の「メディアの共有」機能に対応しています。

● 便利なユーティリティソフト (User Supportware) を標準添付 (注4)

添付の CD-ROM にユーティリティソフト (Projection Utility、Advanced Network Utility、Projection Utility for Mac OS、JPEG 変換ツール、プロジェクター管理ユーティリティ) を収録しています。Projection Utility (Windows 用) は、コンピューターにインストールしなくても、市販の USB メモリーや SD カードから起動して使用することができます。

(注4) コンピューターの OS により利用できないものがあります。(29 ページ)

● 音声伝送機能に対応

Projection Utility (Windows 用) を使用して、コンピューターの画面だけでなく、音声をプロジェクターで出力することができます。

* コンピューターとプロジェクターが 1 対 1 で接続されている場合に音声伝送機能を利用できません。

● 動画ストリーミング再生機能に対応

Projection Utility (Windows 用) を使用して、コンピューター内の動画ファイルネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) 経由でプロジェクター (1 台のみ) へ送信して再生することができます。

● USB ディスプレイ

コンピューターとプロジェクターを USB ケーブル (市販の USB 2.0 対応品) を使って接続すると、コンピューターの画面と音声をプロジェクターへ伝送して投写することができます。そのとき、コンピューターケーブルを接続する必要はありません。

● オートパワーオン / オートパワーオフ機能

本機には次のような自動的に電源を入 / 切る機能があります。

- ・電源オン方法 …………… 本機に AC 電源が供給されると、自動的に電源が入り、映像を投写します。
- ・オートパワーオン (COMP.) …… 本機がスタンバイ状態のときコンピューター信号が入力されると、自動的に電源が入り映像を投写します。
- ・無信号電源オフ …………… 設定した時間だけ信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。
- ・オフタイマー …………… 設定した時間が経過すると、自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

● 16 ワットのモノラルスピーカー内蔵

広い会議室や教室で視聴していただけるように、16 ワットのモノラルスピーカーを内蔵しています。

● コントロール ID が登録できるリモコンを標準添付

同じ部屋で本機を複数台使用しているときなどに、プロジェクターごとに個別のコントロール ID 番号を設定することによって、1 個のリモコンでプロジェクターごとに個別の操作を行うことができます。

● プロジェクター本体やリモコンに日本語表示

プロジェクター本体の操作ボタン名や接続端子名を日本語で表示し、さらに、日本語表示のリモコンを標準添付しています。

● 無断使用を防止するセキュリティ機能

本機には次のようなセキュリティ機能を装備しています。

- ・セキュリティキーワード …… オンスクリーンメニューの「セキュリティ」でキーワードを設定すると、本機の電源を入れたときにキーワード入力画面が表示され、正しいキーワードを入力しなければ投写できなくなります。
- ・盗難防止用ロック …………… 本機は、ケンジントンセキュリティワイヤーを接続することができます。

- ・セキュリティバー……………本機は、一般的なセキュリティーケーブル（またはワイヤー）を通す機構を装備しています。

● 圧縮表示機能により WUXGA までの解像度に対応

RICOH PJ X5371N は XGA (1024 × 768 ドット)、RICOH PJ WX5361N は WXGA (1280 × 800 ドット) にリアル対応しています。圧縮表示機能により WUXGA (1920X1200 ドット) の入力信号までカバーしています。

● CRESTRON ROOMVIEW に対応

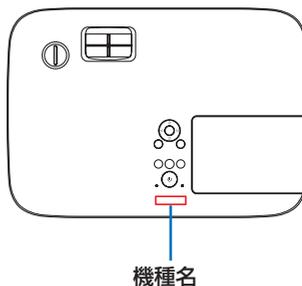
本機は CRESTRON ROOMVIEW に対応しています。コンピューターから、ネットワークに接続した複数の機器を管理・制御することができます。

主要機能比較一覧

本機は、機種によって次のような機能の違いがあります。

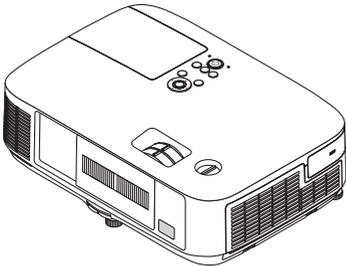
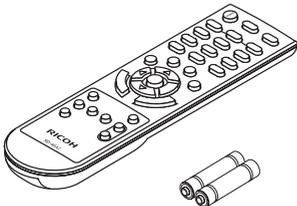
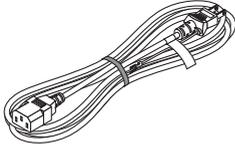
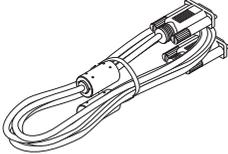
機種名	RICOH PJ X5371N	RICOH PJ WX5361N
アスペクト比	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 60px; margin: 0 auto;">4 : 3</div> 標準	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 60px; margin: 0 auto;">16 : 10</div> ワイド
解像度 (ドット×ライン)	XGA (1,024 × 768)	WXGA (1,280 × 800)
画面サイズ (最小～最大)	25 ～ 300 型	25 ～ 300 型
投写距離 (最小～最大)	0.6 ～ 13.8m	0.7 ～ 14.6m
明るさ エコモード「標準」時	5,000 lm	4,500 lm
ビューワー機能	対応	対応
ネットワーク機能	対応	対応

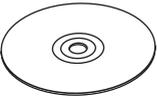
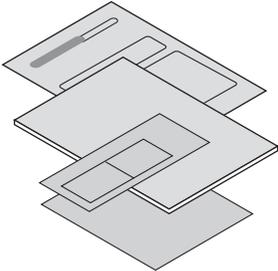
- お使いのプロジェクターの機種名を確認してください。機種名は右図に示した場所で確認できます。なお、キャビネット上面での機種名表記は“RICOH”を省略しています。例：RICOH PJ X5371N の場合は“PJ X5371N”と表記しています。



1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

	<p>プロジェクター (本機) コンピューターやDVD プレーヤーなどを接続して、文字や映像を大きなスクリーンに投写する機器です。</p>
	<p>リモコン 本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。 ご購入後はじめて使用するときには、添付の単 4 乾電池 2 本をセットしてください。(▶27 ページ)</p> <p>単 4 乾電池 (リモコン用) 2 本 添付のリモコンにセットします。</p>
	<p>電源コード (アース付き) (Y0156075) AC100V のコンセントに本機を接続します。 日本国内用です。</p>
	<p>コンピューターケーブル (ミニ D-Sub 15 ピン) (Y0156079) コンピューターの画面をスクリーンに投写する場合に使用します。(▶33 ページ)</p>
	<p>無線 LAN ユニット NP02LM2 工場出荷時に本体に取り付けています。</p>
	<p>ソフトケース 本機や添付品を収納します。移動時や保管時にご使用ください。</p>

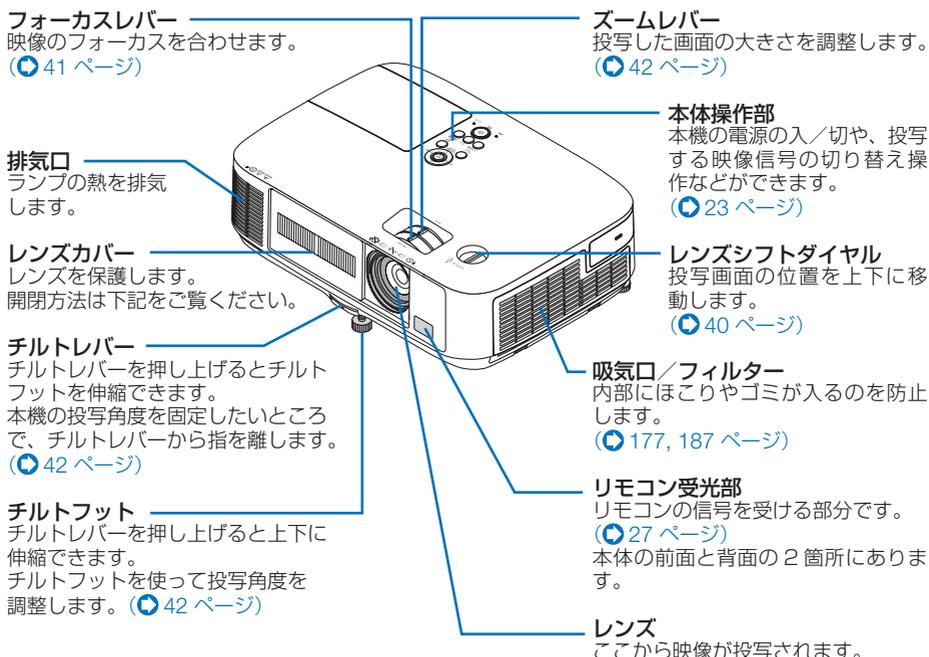
	<p>CD-ROM PDF (Portable Document Format) 形式の取扱説明書 [詳細版] (本書)、とユーティリティソフト、ソースコードを収録した CD-ROM です。(🔗 29 ページ)</p>
	<p>クイックスタートガイド 機器の接続、電源オン、投写画面の調整、電源オフといった、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。</p> <p>取扱説明書 [簡易版] 安全のために守っていただきたいこと、ランプ交換、保証とサービスなどについて記載しています。</p> <p>保証書 プロジェクターの保証内容・条件を記載しています。</p> <p>お客様登録はがき マイバンク QA 登録票 個人情報確認書 サービス連絡先シール</p>

参考

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

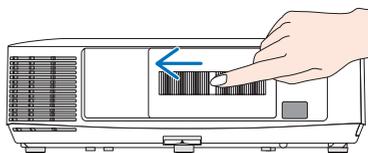
1-3. 本体各部の名称

本体前面

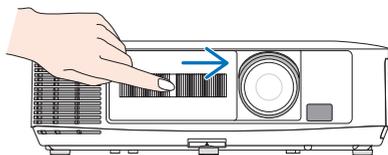


● レンズカバーの開閉方法

開くには、レンズカバーを左へスライドさせます。



閉じるには、右へスライドさせます。



注意

- 本機のレンズカバーの開閉は AV ミュート（画像と音声を消す機能）と連動しています。動作中にレンズカバーを閉じると自動で画像は消えますがランプは点灯しています。この状態のまま約 2 時間経過すると、自動的に電源が切れます。
- レンズカバーを手前に引っ張ったり上下方向に強い力を加えないでください。レンズカバーのスライド機構が破損するおそれがあります。

本体背面

USB (LAN) ポートカバー

無線 LAN ユニットが内部に装着されています。無線 LAN ユニットを取り外すときカバーを外します。

(▶ 175 ページ)

スピーカー (モノラル)

音声入力端子から入力された音声を出します。

(▶ 47 ページ)

接続端子部

各種映像信号や音声信号のケーブルを接続します。(▶ 24 ページ)

AC IN 端子

添付の電源コードを接続します。

(▶ 33 ページ)

リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。

(▶ 27 ページ)

本体の前面と背面の 2 箇所にあります。

リアフット

投写した映像が水平になっていないとき、右または左にあるリアフットを回すと、左右の傾きの微調整ができます。(▶ 43 ページ)

ランプカバー

ランプ交換のときカバーを外します。

(▶ 184 ページ)

盗難防止用ロック

盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。

詳しくは下記の  をご覧ください。

セキュリティーバー

盗難防止用チェーン (またはワイヤー) を取り付けます。

本機のセキュリティーバーは、直径 4.6mm の太さのものまで対応しています。

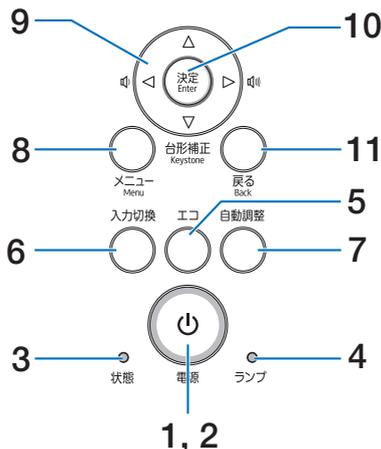
参考

- 盗難防止用ロックについて 
盗難防止用ロックは、市販のケンジントン社製セキュリティーワイヤーに対応しています。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

<http://www.kensington.com/>

対応製品については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

本体操作部



1 電源ボタン (電源ボタン)

本機の電源を入/切 (スタンバイ状態) します。

電源を切る (スタンバイ状態) とときは、一度押すと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度電源ボタンを押します。

2 電源インジケータ

電源が入っているときは青色に点灯します。
([231 ページ](#))

電源が切れている (スタンバイ状態) とときは赤色に点灯します (スタンバイモードが「省電力」に設定されているとき)。

3 状態インジケータ

本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯/点滅します。

詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。
([231 ページ](#))

4 ランプインジケータ

ランプの交換時期がきたときやエコモードを選択していることをお知らせします。

([232 ページ](#))

5 (エコ) ボタン

ランプパワー選択画面を表示します。

([52 ページ](#))

6 (入力切換) ボタン

入力信号を検出します。

コンピューター → HDMI1 → HDMI2 → ビデオ → S-ビデオ → ビューワー → USB ディスプレイ → コンピューター…の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

7 (自動調整) ボタン

コンピューター画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。
([46 ページ](#))

8 (メニュー) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。
([107 ページ](#))

9 (音量調整ボタン、台形補正ボタンを兼用)

・オンスクリーンメニューを表示しているときに (◀▶) ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。
([107 ページ](#))

・オンスクリーンメニューを表示していないときは、(◀▶) ボタンで音量の調整ができます ([47 ページ](#))、(▼) ボタンを押すと台形補正画面を表示します。
([44 ページ](#))

10 (決定) ボタン

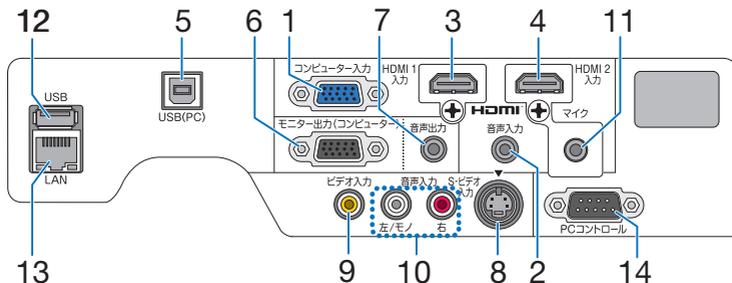
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。

確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

11 (戻る) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

接続端子部



1 コンピューター映像入力端子 (ミニ D-Sub 15 ピン)

コンピューターのディスプレイ出力端子や、DVD プレーヤーなどのコンポーネント出力端子と接続します。

([33](#), [164](#), [169](#), [171 ページ](#))

2 コンピューター音声入力端子 (ステレオ・ミニ)

コンピューターまたは DVD プレーヤーなどの音声出力端子と接続すると、本機のスピーカーから音が出せます。([164](#), [169 ページ](#))
本機のスピーカーから出力される音声はモノラルです。

入力端子選択で、HDMI1、HDMI2、ネットワーク、または USB ディスプレイを選択しているときは、オンスクリーンメニューの音声入力選択の音声がスピーカーから出力されます。([36](#), [134 ページ](#))

3 HDMI 1 入力端子 (タイプ A)

コンピューター、ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。([164](#), [165](#), [170 ページ](#))

本機のスピーカーから出力される音声はモノラルのみです。

4 HDMI 2 入力端子 (タイプ A)

コンピューター、ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。([164](#), [165](#), [170 ページ](#))

本機のスピーカーから出力される音声はモノラルのみです。

5 USB (PC) ディスプレイ端子 (USB) (タイプ B)

市販の USB ケーブル (USB 2.0 対応) を使ってコンピューターと接続すると、コンピューターケーブルを使用せずにコンピューターの画面を投写できます。

また添付の Projection Utility を使用するとコンピューター側から、プロジェクターの電源の入/切や信号切替などの操作を行うことができます。([62](#), [193 ページ](#))

6 モニター出力 (コンピューター) 端子 (ミニ D-Sub 15 ピン)

コンピューター映像入力端子の映像信号を出力します。([167 ページ](#))

7 音声出力端子 (ステレオ・ミニ)

本機から投写されている映像の音声とマイク入力端子の音声信号を出力します。([167 ページ](#))

音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカーから音が出なくなります。

8 S-ビデオ映像入力端子 (ミニ DIN-4 ピン)

ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの S 映像出力端子と接続します。([168](#), [171 ページ](#))

9 ビデオ映像入力端子 (RCA- フォノ)

ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの映像出力端子と接続します。([168](#), [171 ページ](#))

10 S-ビデオ / ビデオ音声入力端子 (RCA- フォノ)

ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの音声出力端子と接続します。([168 ページ](#))

11 マイク端子 (モノラル・ミニ)

市販のダイナミックマイクを接続すると、スピーカーからマイクの音声を出すことができます。([84 ページ](#))

12 USB ポート (USB) (タイプ A)

USB メモリーを接続します。
USB メモリーに画像データを保存すると本機のビューワーで投写することができます。([85 ページ](#))

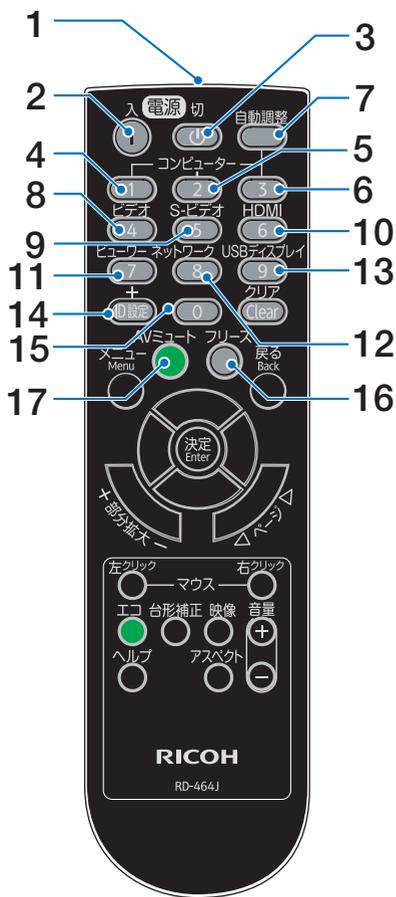
13 LAN ポート (LAN) (RJ-45)

本機を LAN に接続すると、本機の HTTP サーバー機能を利用し、コンピューターでウェブブラウザを使用して本機を制御することができます。([172 ページ](#))

14 PC コントロール端子 (D-Sub 9 ピン)

コンピューターで本機を操作するとき 사용됩니다。接続にはクロスケーブルをご使用ください。

1-4. リモコン各部の名称



1 リモコン送信部

赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2 電源(入)ボタン

スタンバイ時（電源インジケータが赤色※に点灯）に本機の電源を入れます。（※スタンバイモードが「省電力」に設定されているとき）

3 電源(切)ボタン

一度押して電源オフ確認メッセージを表示してもう一度(切)（または(決定)）ボタンを押すと、本機の電源が切れます（スタンバイ状態）。

4 (コンピューター1) ボタン

コンピューター入力（またはコンポーネント）を選択します。

5 (コンピューター2) ボタン

（本機では使用できません）

6 (コンピューター3) ボタン

（本機では使用できません）

7 (自動調整) ボタン

コンピューター画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。（▶46 ページ）

8 (ビデオ) ボタン

ビデオ入力を選択します。

9 (S-ビデオ) ボタン

S-ビデオ入力を選択します。

10 (HDMI) ボタン

HDMI 入力を選択します。押すごとに HDMI 1 入力と HDMI 2 入力が切り替わります。

11 (ビューワー) ボタン

ビューワーを選択します。

12 (ネットワーク) ボタン

ネットワークを選択します。

13 (USBディスプレイ) ボタン

USB ディスプレイを選択します。

14 (ID設定) ボタン

複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作するときのコントロール ID 設定に使用します。（▶131 ページ）

15 数字 (0)～(9) 入力ボタン

複数プロジェクターを本機のリモコンで個別に操作する場合の ID 入力に使用します（コントロール ID 設定）。

(Clear (クリア)) ボタンはコントロール ID 設定を解除する場合に使用します。（▶131 ページ）

16 (フリーズ) ボタン

表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります。（▶50 ページ）

17 (AVミュート) ボタン

映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。（▶50 ページ）

21 (決定) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

22 (部分拡大 +/-) ボタン

画面の拡大・縮小(もとに戻す)をします。
(▶ 51 ページ)

23 (マウス 左クリック) ボタン

USB ケーブルを使ってコンピューターと本機を接続しているときに使用します。マウスの左ボタンの動作をします。(▶ 61 ページ)

24 (マウス 右クリック) ボタン

USB ケーブルを使ってコンピューターと本機を接続しているときに使用します。マウスの右ボタンの動作をします。(▶ 61 ページ)

25 (ページ ▽/△) ボタン

ビューワーのサムネイル画面の画面切り替えに使います。(▶ 90 ページ)
また、USB ケーブルを使ってコンピューターと本機を接続しているときに使用します。画面のスクロールや、PowerPoint や Excel ファイルの画面切り替えなどに使用します。(▶ 61 ページ)

26 (エコ) ボタン

ランプパワー選択画面を表示します。
(▶ 52 ページ)

27 (台形補正) ボタン

台形補正画面を表示します。
(▶ 44, 55 ページ)

28 (映像) ボタン

ボタンを押すごとに、オンスクリーンメニューの調整メニューの映像にあるプリセット→コントラスト→明るさ→シャープネス→色の濃さ→色あいの映像調整項目を順に表示します。(▶ 116, 118 ページ)

29 (音量 +/-) ボタン

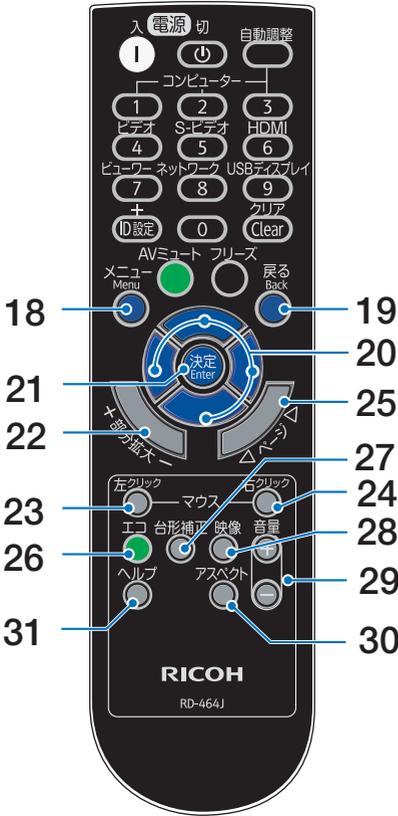
内蔵スピーカーの音量を調整します。音声出力端子の音量も調整します。

30 (アスペクト) ボタン

アスペクト調整項目を表示します。
(▶ 121 ページ)

31 (ヘルプ) ボタン

情報画面を表示します。(▶ 138 ページ)



18 (メニュー) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

19 (戻る) ボタン

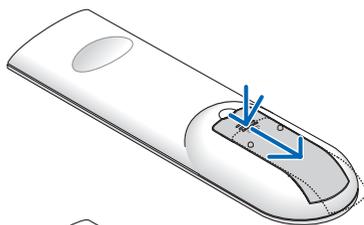
オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

20 (▼▲▶◀) ボタン

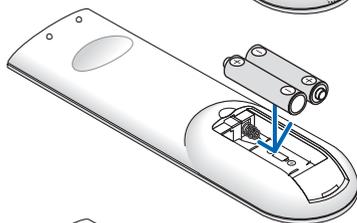
オンスクリーンメニュー操作や(部分拡大 +/-) ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使用します。
また、USB ケーブルを使ってコンピューターと本機を接続するとコンピューターのマウスとして動作します(リモートマウス)。
(▶ 51, 61, 107 ページ)

●電池の入れかた

1 リモコン裏面の電池ケースのふたを押し
たまま手前に引き、上に持ち上げて外す。



2 ケース内部に表示している+、-の向き
に合わせて単4乾電池をセットする。

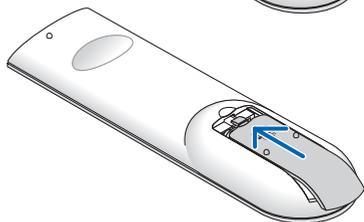


3 もとどおりにふたをする。

ふたの後部には電池ケースに固定するツメがあります
ので、スライドさせて閉めてください。

注意

● 乾電池を交換するときは、2本とも同じ
種類の単4乾電池をお買い求めください。

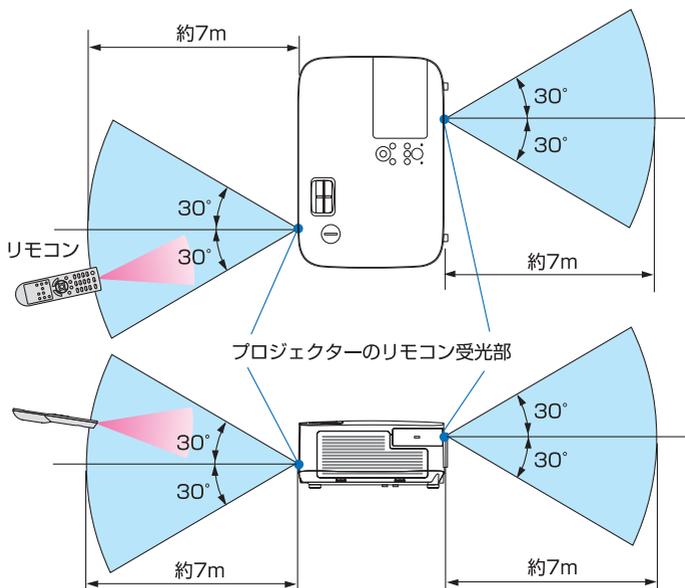


●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体前面のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。
おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

リモコン信号をスクリーンに反射させて本体前面のリモコン受光部で受信することも
できます。

【受光範囲】



(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

●リモコンの使用上の注意

- 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中で障害物があったりして信号がさえぎられていると動作しません。
- 本体から約 7m 以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いをしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を 2 本とも取り出してください。

1-5. 添付ソフトウェアの動作環境

添付ソフトウェアの種類と主な機能

●ソフトウェアの種類と利用可能一覧

ソフトウェア名	Windows	Mac OS
Projection Utility	○	—
Projection Utility for Mac OS	—	○
Advanced Network Utility	○	—
JPEG 変換ツール	○	—
プロジェクター管理ユーティリティ	○	—

●ソフトウェアの主な機能

ソフトウェア名	主な機能
Projection Utility	<ul style="list-style-type: none">● コンピューターとプロジェクターを USB ケーブル (注)、またはネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) を使って接続すると、コンピューターの画面や動画をプロジェクターへ伝送して投写することができます。さらに、コンピューターの音声もプロジェクターへ伝送して出力することができます。コンピューターケーブルは必要ありません。(注) USB ケーブルでの接続時は、動画のストリーミング再生はできません。(▶ 62, 193 ページ)● コンピューター側から、プロジェクターの電源の入/切や信号切替などの操作を行うことができます。● 幾何学補正機能を使うと、平面でない壁などに合わせて投写画面を補正することができます。(▶ 198 ページ)ただし、動画のストリーミング再生時は使用できません。
Advanced Network Utility	<ul style="list-style-type: none">● ネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) を経由して、コンピューターの画面を同時に複数のプロジェクターへ伝送して投写することができます。また、ネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) に接続している複数のコンピューターの画面を交互にプロジェクターへ伝送して投写することができます (ミーティングモード)。(▶ 201 ページ)
Projection Utility for Mac OS	<ul style="list-style-type: none">● コンピューターとプロジェクターをネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) を使って接続すると、コンピューターの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。コンピューターケーブルは必要ありません。(▶ 193 ページ)● コンピューター側から、プロジェクターの電源の入/切や信号切替などの操作を行うことができます。
JPEG 変換ツール	<ul style="list-style-type: none">● 本機が対応していない JPEG ファイルや、他の形式の画像ファイル、PowerPoint ファイルなどを本機が対応する JPEG ファイルに変換できます。(▶ 211 ページ)

プロジェクター管理ユーティリティ	<ul style="list-style-type: none"> ● PJLink クラス 1 の規格に適合し、クラス 1 のすべてのコマンドに対応しています。 1 台のパソコンで、ネットワークに接続しているプロジェクターを 100 台まで管理できます。(🔗 213 ページ) プロジェクター管理ユーティリティの動作環境は 213 ページ をご覧ください。
------------------	---

注意 ● Projection Utility と Projection Utility for Mac OS は、Advanced Network Utility の「ミラーリングモード」には対応していません。

ダウンロードサービスのご案内

これらのソフトウェアのバージョンアップ情報については、当社プロジェクターのサポートページをご覧ください。

URL: <http://www.ricoh.co.jp/download/index.html>

動作環境

ここでは、Projection Utility の動作環境について記載します。その他のソフトウェアについては、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

● Windows

対応 OS	Windows 8 (Core Edition) Windows 8 Pro Windows 8 Enterprise Windows 7 Home Basic Windows 7 Home Premium Windows 7 Professional Windows 7 Ultimate Windows 7 Enterprise Windows Vista Home Basic Windows Vista Home Premium Windows Vista Business Windows Vista Ultimate Windows Vista Enterprise Windows XP HomeEdition (32 ビット版) Service Pack 3 以降 Windows XP Professional (32 ビット版) Service Pack 3 以降 ※ 音声伝送機能を利用する場合は、Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista Service Pack 1 以降が必要です。 ※ Windows の省電力機能には対応していません。
プロセッサ	<ul style="list-style-type: none"> • Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista の場合 Pentium M 1.2 ギガヘルツ相当以上 必須 1.5 ギガヘルツ以上のデュアルコア 推奨 • Windows XP の場合 Pentium M 1.0 ギガヘルツ相当以上 必須 1.0 ギガヘルツ以上のデュアルコア 推奨

次ページに続く

メモリー	<ul style="list-style-type: none"> Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista の場合 512 メガバイト以上 必須 1 ギガバイト以上 推奨 Windows XP の場合 256 メガバイト以上 必須 512 メガバイト以上 推奨 <p>※同時に実行するアプリケーションによっては、さらにメモリーが必要になる場合があります。</p>
グラフィックプロセッサ	<ul style="list-style-type: none"> Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista の場合 「Windows エクスペリエンスインデックス」の「グラフィックス」のスコアが 3.0 以上推奨
ネットワーク環境	TCP/IP をサポートした LAN または無線 LAN <p>※無線 LAN は、Wi-Fi 規格取得品を使用してください。</p> <p>※音声伝送機能を利用する場合は、3Mbps 以上のスループットが必要です</p>
解像度	<ul style="list-style-type: none"> Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista の場合 SVGA (800x600) 以上 必須 XGA (1024x768) 推奨 Windows XP の場合 VGA (640x480) 以上 必須 XGA (1024x768) 推奨 <p>(RICOH PJ WX5361N の場合は、1024 ドット × 768 ライン～1280 ドット × 800 ラインを推奨)</p>
画面の色	High Color (15 ビット、16 ビット) True Color (24 ビット、32 ビット) (推奨) <p>※256 色以下には対応していません。</p>

- Windows XP のサポートについて
マイクロソフト社の Windows XP のサポート終了に伴い、本機についても Windows XP のサポートを終了させていただきます。

● Mac OS

対応 OS	Mac OS X v10.6, v10.7, v10.8
プロセッサ	Intel® Core™ Duo 1.5 ギガヘルツ以上必須 Intel® Core™ 2 Duo 1.6 ギガヘルツ以上推奨 <p>※ PowerPC® は非対応</p>
メモリー	512 メガバイト以上必須
ネットワーク環境	<ul style="list-style-type: none"> TCP/IP をサポートした有線 LAN または無線 LAN 環境必須 下記の LAN アダプターでは動作確認済み Mac 本体内蔵有線 LAN アダプター Mac 本体内蔵無線 LAN アダプター Apple USB Ethernet アダプター 「かんたん接続」は、無線 LAN のみ対応
解像度	SVGA (800 × 600) 以上必須 XGA (1024 × 768) 推奨 <p>(RICOH PJ WX5361N の場合は、1024 ドット × 768 ライン～1280 ドット × 800 ラインを推奨)</p>
画面の色	約 1,670 万色カラー必須

2. 映像を投写する（基本操作）

2-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1

コンピューターと接続する／電源コードを接続する (▶ 次ページ)



ステップ 2

本機の電源を入れる (▶ 34 ページ)



ステップ 3

入力信号を選択する (▶ 36 ページ)



ステップ 4

投写画面の位置と大きさを調整する (▶ 39 ページ)

台形歪みを調整する (▶ 44 ページ)



ステップ 5

映像や音声を調整する

- ・画質を調整する場合 (▶ 46 ページ)
- ・本機の音量を調整する場合 (▶ 47 ページ)



ステップ 6

プレゼンテーションを行う



ステップ 7

本機の電源を切る (▶ 48 ページ)



ステップ 8

あとかたづけ (▶ 49 ページ)

2-2. コンピューターと接続する／電源コードを接続する

1. コンピューターと接続する

ここでは、コンピューターとの基本的な接続を説明します。他の接続は「6. 機器と接続する」(164 ページ) をご覧ください。

コンピューター側のディスプレイ出力端子(ミニ D-Sub15 ピン)と、本機のコンピューター映像入力端子を、添付のコンピューターケーブルで接続しコネクタのツマミを回して固定します。

2. 電源コードを接続する

本機の AC IN 端子と、AC100V アース付きのコンセント(アース工事済み)を、添付の電源コードで接続します。



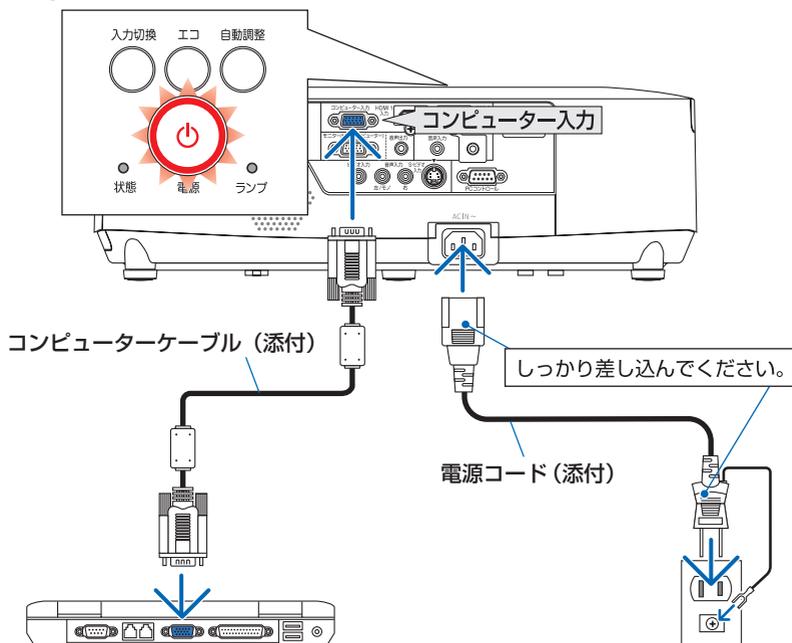
注意

機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

電源コードを接続すると、本機の電源インジケーターが数秒点滅後、赤色 * に点灯します(スタンバイ状態)。

* スタンバイモードが「省電力」に設定されているときのインジケーター表示です。

(135 ページ)



注意

電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

2-4. 入力信号を選択する

投写する信号を自動検出する

- 1 本機に接続しているコンピューターやDVDプレーヤーなどの電源を入れる。
DVDプレーヤーなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

- 2 (入力切換) ボタンを押す。

入力画面が表示されます。

- コンピューター→HDMI1→HDMI2→ビデオ→S-ビデオ→ビューワー→USBディスプレイの順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。
- 入力画面が表示されているときに、(入力切換) ボタンを数回押して、投写したい入力信号を選択することもできます。



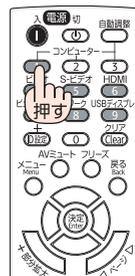
リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

- 1 本機に接続しているコンピューターやDVDプレーヤーなどの電源を入れる。
DVDプレーヤーなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

- 2 リモコンの (コンピューター1)、(ビデオ)、(S-ビデオ)、(HDMI)、(ビューワー)、(ネットワーク)、(USBディスプレイ)、ボタンを押す。

(コンピューター1) ボタンはコンピューター映像入力端子に切り替わります。

HDMI 1 入力端子と HDMI 2 入力端子の選択は (HDMI) ボタンを押すごとに切り替わります。



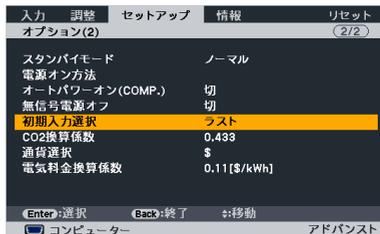
自動的に信号を選択する

入力信号を選択する操作を省略（自動化）することができます。

1 オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「オプション(2)」→「初期入力選択」を選択する。

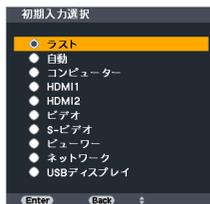
選択画面が表示されます。

- オンスクリーンメニューの操作については、「5-1. オンスクリーンメニューの基本操作」をご覧ください。(107 ページ)



2 電源を入れたときに自動的に選択する信号を選択し、(決定) ボタンを押す。

次回本機の電源を入れたときに自動的に選択される信号として設定されます。



3 (戻る) ボタンを 3 回押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

4 本機の電源を入れなおす。

手順2で設定した信号が自動的に投写されます。

注意

- 初期入力選択を「自動」に設定していてもネットワークは自動検出できません。本機の電源を入れたときに自動的に選択するには、初期入力選択でネットワークを選択してください。

2

映像を投写する(基本操作)

- 本機とコンピューターをコンピューターケーブルで接続し本機をスタンバイ状態にしているとき、コンピューターから出されたコンピューター信号を感知して自動的に本機の電源を入れてコンピューター画面を投写することができます（オートパワーオン（COMP.））。(🔗 136 ページ)
- 信号が入力されていないときは、無信号ガイダンスが表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
DVD プレーヤーなどは再生（PLAY）操作をしてください。
- ノートブックコンピューターの画面がうまく投写できない場合
ノートブックコンピューターの外部出力（モニター出力）設定を外部に切り替えてください。
 - ・ Windows の場合はファンクションキーを使います。
 [Fn] キーを押したまま (L/R) などの絵表示や (LCD/VGA) の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく（プロジェクトが認識する時間）すると投写されます。
 通常、キーを押すごとに「外部出力」→「コンピューター画面と外部の同時出力」→「コンピューター画面」…と繰り返します。
 - ・ Windows 7 の場合は、Windows キーを押したまま「P」キーを押すと、外部出力（モニター出力）にすることができます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

[Fn] + [F2]	MSI
[Fn] + [F3]	NEC、Panasonic、SOTEC、MITSUBISHI、Everex
[Fn] + [F4]	HP、Gateway
[Fn] + [F5]	ACER、TOSHIBA、SHARP、SOTEC
[Fn] + [F7]	SONY、IBM、Lenovo、HITACHI
[Fn] + [F8]	DELL、ASUS、EPSON、HITACHI
[Fn] + [F10]	FUJITSU

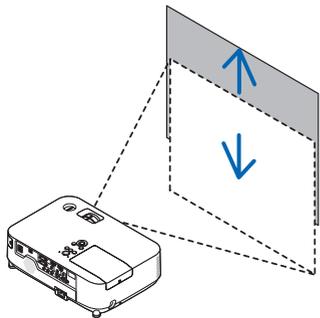
- ※ 詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
表に記載されていないメーカーのノートブックコンピューターをお使いの場合は、ノートブックコンピューターのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。
- Macintosh PowerBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。
 - それでも投写しない場合は本体の（入力切換）ボタンをもう一度押してください。
(🔗 36 ページ)

2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する

レンズシフトやチルトフット／リアフット、ズームレバー、フォーカスレバーなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

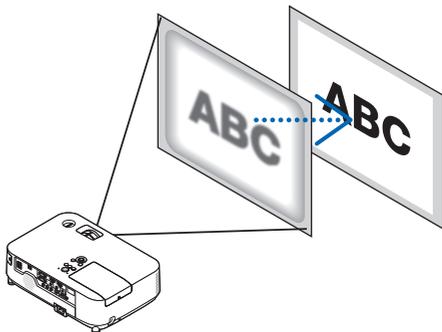
投写画面の上下位置の調整

【レンズシフト】 (🔵 次ページ)



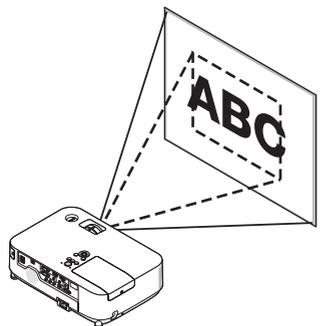
投写画面のフォーカス調整

【フォーカスレバー】 (🔵 41 ページ)



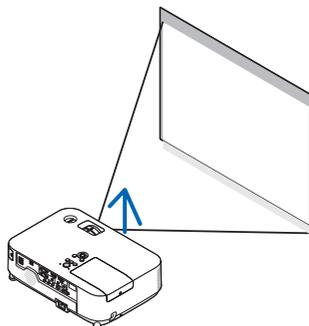
投写画面の大きさの調整【ズームレバー】

(🔵 42 ページ)



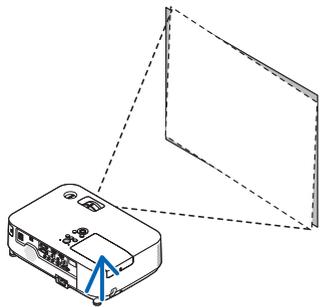
投写角度（投写画面の高低）の調整【チルトフット】

(🔵 42 ページ)



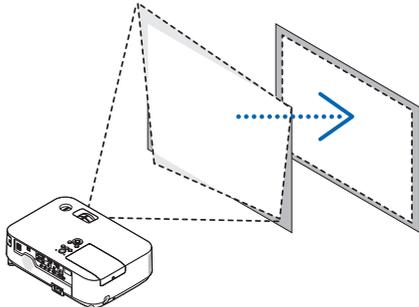
投写画面の左右の傾き調整【リアフット】

(🔵 43 ページ)



投写画面の台形歪み補正【台形補正】

(🔵 44 ページ)

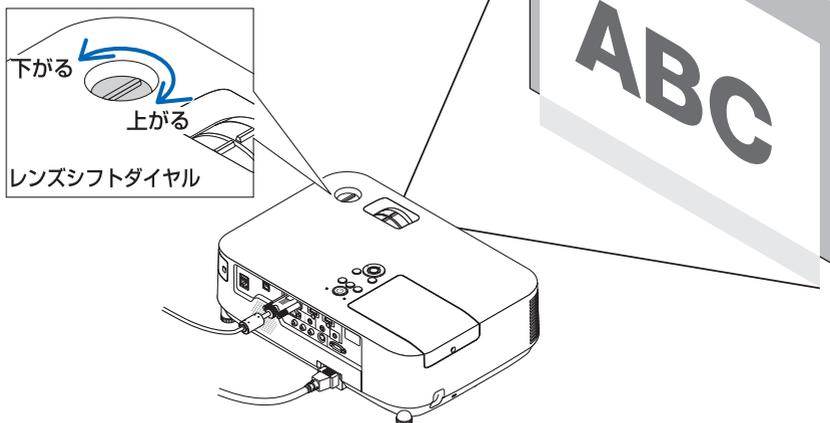


※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

投写画面の位置の調整（レンズシフト）

1 レンズシフトダイヤルを左右に回す。

右へ回すと投写位置が上がり、左へ回すと投写位置が下がります。



注意

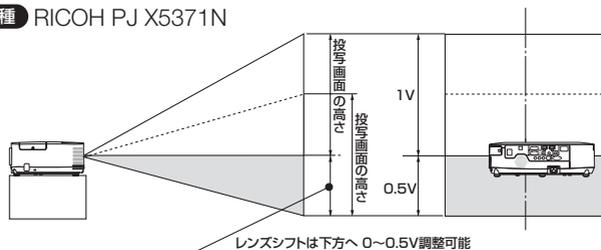
- レンズが上限または下限まで移動するとレンズシフトダイヤルは止まります。それ以上無理に回すと故障の原因になります。

参考

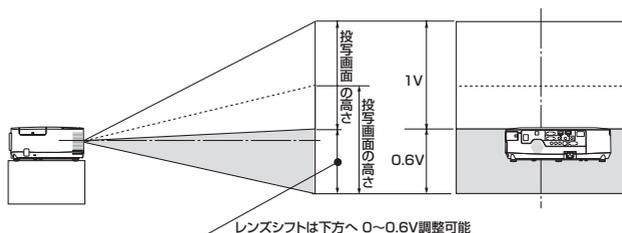
- レンズシフトの調整範囲は次のとおりです。これ以上投写位置を上げたいときはチルトフットを使います。

標準投写

● 対応機種 RICOH PJ X5371N

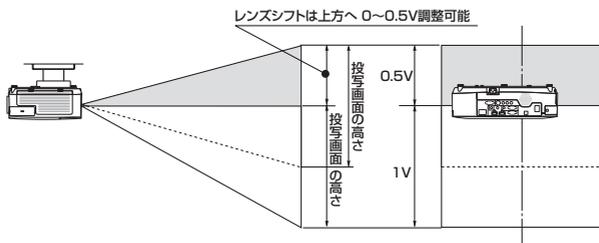


● 対応機種 RICOH PJ WX5361N

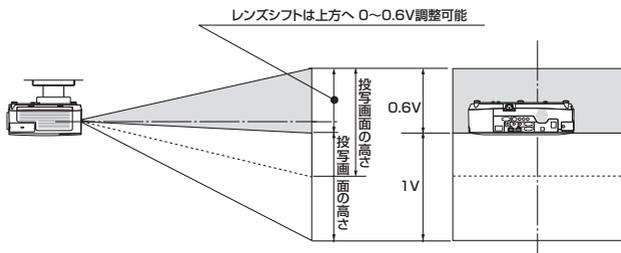


天吊投写

● 対応機種 RICOH PJ X5371N



● 対応機種 RICOH PJ WX5361N

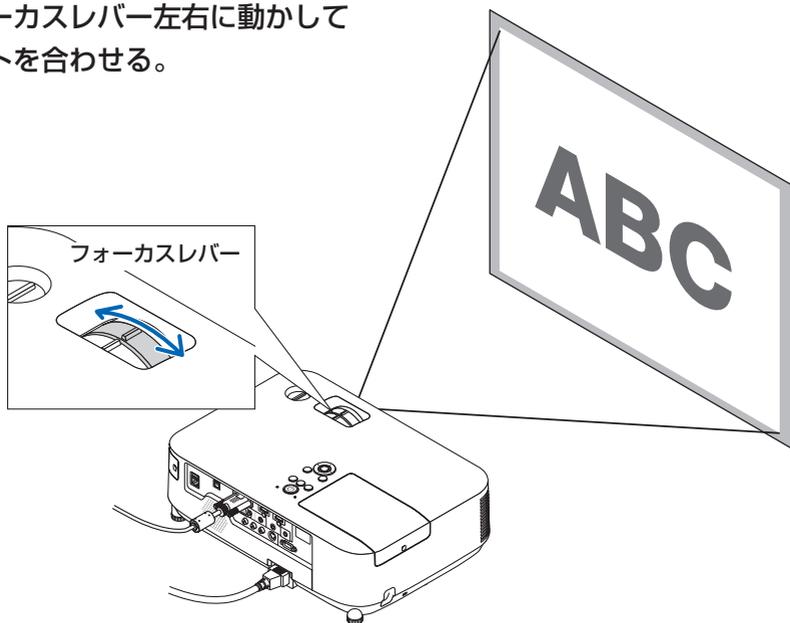


2

映像を投写する(基本操作)

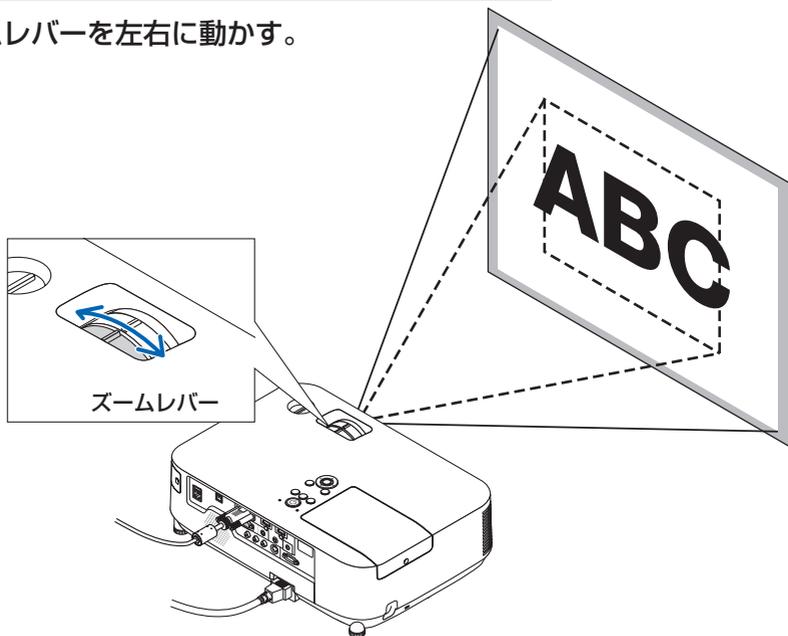
投写画面のフォーカス合わせ (フォーカスレバー)

- 1 フォーカスレバー左右に動かしてピントを合わせる。



投写画面の大きさの調整（ズームレバー）

- 1 ズームレバーを左右に動かす。



投写角度（投写画面の高低）の調整（チルトフット）

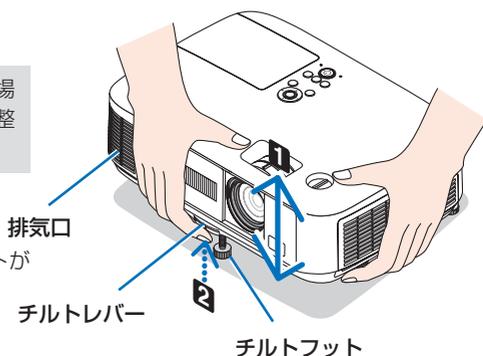
- 1 本機の前部を持ち上げる。

注意

- 投写中は排気口付近が高温になる場合があります。チルトフットの調整の際にはご注意ください。

- 2 チルトレバーを押し上げる。

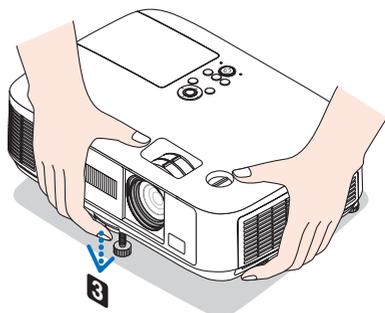
チルトフットのロックが外れ、チルトフットが伸縮します。



- 3 角度を固定したいところでチルトレバーから指を離す。

チルトフットがロックされ、投写角度が固定されます。

- チルトフットは、最大40mm伸ばすことができます。
- チルトフットにより、本機を最大10°傾けることができます。
- チルトフットを指で回すと高さの微調整ができます。



注意

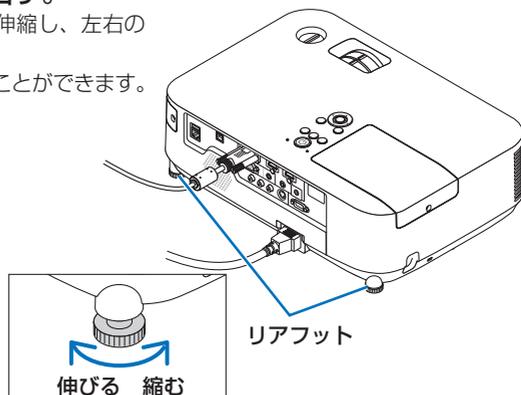
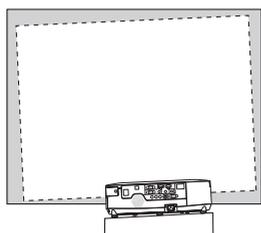
- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

投写画面の左右の傾き調整（リアフット）

1 右または左のリアフットを回す。

リアフットを回すと、リアフットが伸縮し、左右の傾きを調整できます。

- リアフットは、最大 12mm 伸ばすことができます。



注意

- リアフットは 12mm 以上伸ばさないでください。12mm を超えるとリアフットの取り付け部分が不安定になり、リアフットが本体から外れます。
- プロジェクターの使用が終わったら、リアフットの長さをもとに戻してください。

2

映像を投写する（基本操作）

2-6. 台形歪みを調整する（台形補正）

本機とスクリーンを正しく設置していないと投写画面が台形状に歪みます。この歪みを調整するのが台形補正です。

ここではスクリーンに向かって斜め横から投写した場合の台形歪みを調整する手順を説明しています。

●台形補正調整の前に

台形補正画面には台形補正 水平、台形補正 垂直、ピンクッション補正 左端 / 右端、ピンクッション補正 上端 / 下端、4点補正、リセットの項目があります。すでに、4点補正またはピンクッション補正を調整しているときは、台形補正 水平、台形補正 垂直がグレイ表示になり選択できません。このときは、リセット操作をしてから、行ってください。

注意

- 「台形補正 水平」を調整するときは、レンズシフトを下記の位置で設置してください。
RICOH PJ X5371N: 0.5V
RICOH PJ WX5361N: 0.6V
レンズシフトの位置が異なると、正しく調整できません。

1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに本体の （台形補正）ボタンを押す。

・リモコンは  ボタンを押します。
投写画面に台形補正画面が表示されます。

- ・ピンクッション補正については [57 ページ](#) をご覧ください。
- ・4点補正については [55 ページ](#) をご覧ください。
- ・リセットについては [次ページ](#) をご覧ください。



2 ボタンを押して「台形補正 垂直」にカーソルを合わせ、 ボタンを押して左右の辺を平行にする。

投写画面の台形歪み（垂直）を調整します。

投写画面の外枠
スクリーンの外枠



3 スクリーンと投写画面の左辺または右辺を合わせる。

- ・投写画面の左辺と右辺を比べ、長さが短いほうの辺を合わせます。
- ・右の図のような台形歪みの場合は、左辺を合わせます。

（左辺を合わせ）



- 4** ▲ ボタンを押して「台形補正 水平」にカーソルを合わせ、◀▶ ボタンを押して上下の辺を平行にする。

投写画面の台形歪み(水平)を調整します。

- 右の図のように左辺を合わせた場合は、▶ ボタンを押します。



- 5** 手順**2**～**4**を繰り返し、台形歪みを調整する。

- 6** 台形歪みの調整が終わったら、戻る ボタンを押す。

台形補正画面が消えます。

- 再び台形歪みを調整する場合は、▼ (台形補正) ボタンを押して台形補正画面を表示し、上の手順**1**～**6**を行ってください。



注意

- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても台形補正の調整値を保持しています。
- 台形補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

台形補正値を初期値に戻すには

- 1** 台形補正画面を表示させ、▼ ボタンを押して「リセット」にカーソルを合わせ、決定 ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



- 2** ◀▶ ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、決定 ボタンを押します。

確認画面が消えリセットされます。



注意

- リセットを行うと台形補正画面の項目、全ての調整値が初期化されます。

参考

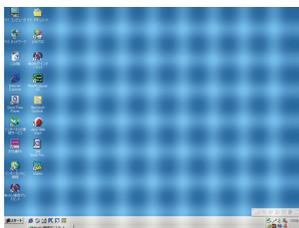
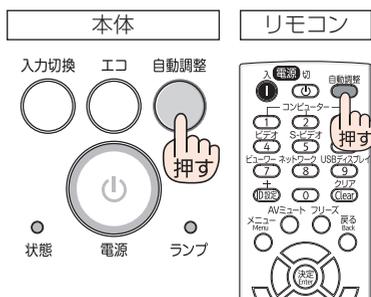
- 台形補正は、オンスクリーンメニューのセットアップ→全般→台形補正からも行えます (124 ページ)

2-7. コンピューターの映像を自動調整する

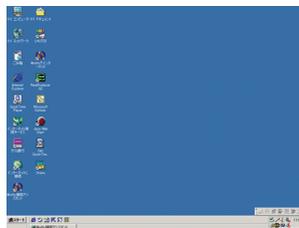
コンピューターの信号を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

1 自動調整 ボタンを押す。

しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。



【映りが悪い画面の例】



【自動調整後の画面の例】

参考

- 自動調整を行っても表示位置がずれていたたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、オンスクリーンメニューのサンプリング周波数、サンプリング位相、水平位置、垂直位置で画面の調整を行ってください。(▶ 119, 120 ページ)
- コンピューターの画面がうまく投写できない場合は、229 ページを参照してください。

2-8. 本機の音量を調整する

本機の内蔵スピーカーの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

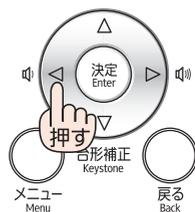
本体の操作ボタンで調整する

1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、◀▶ ボタンを押す。

音量調整バーが表示されます。

◀側…音量が大きくなります。

▶側…音量が小さくなります。



注意

- オンスクリーンメニューが表示されているとき、(部分拡大+) ボタンで画面を拡大しているとき、ビューワー端子表示中、およびネットワーク端子表示中は、◀▶ ボタンを使った音量調整はできません。



リモコンを使って調整する

1 リモコンの (音量 +/-) ボタンを押す。

音量調整バーが表示されます。

+側…音量が大きくなります。

-側…音量が小さくなります。



参考

- ビープ音の音量は調整できません。ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション (1) のビープ音を「切」にしてください。
(134 ページ)
- 音量は、オンスクリーンメニューの調整→音声の画面でも調整できます。

2

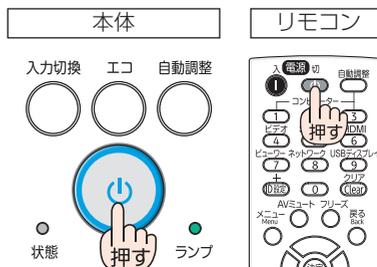
映像を投写する (基本操作)

2-9. 本機の電源を切る

1 電源ボタンを押す。

画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。

- 電源オフ確認メッセージには今回の CO₂ 削減量 (53 ページ) と、ランプ残量を表示します。
- リモコンで操作する場合は、電源 (切) ボタンを押します。



2 (決定) ボタンを押す。

ランプが消灯し、電源が切れスタンバイ状態になります。

スタンバイ状態になると、電源インジケーターが赤色で点灯します。(スタンバイモードが「省電力」に設定されているとき)

- (決定) ボタンの代わりに、電源 (切) ボタンまたは電源 (切) ボタンを押しても、電源が切れます。
- 電源を切らない場合は、(左右) ボタンで「いいえ」を選んで (決定) ボタンを押します。



注意

投写中および冷却ファン回転中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

注意

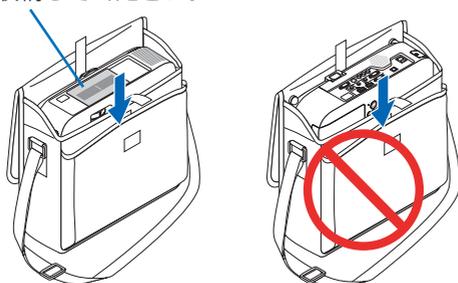
- 電源インジケーターが青色で短い点滅をしているときは電源を切る操作をしても電源は切れません。この間に、AC 電源を切断して電源を切らないでください。ランプの寿命が極端に短くなったり、ランプ破裂につながる場合があります。
- 電源を入れてスクリーンに映像が投写されてからの約 1 分間は、電源を切ることができません。
- 各種の調整を行い調整画面を閉じたあと約 10 秒間は、AC 電源を切断しないでください。この間に AC 電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

2-10. あとかたづけ

- 1 電源コードを取り外す。
- 2 各種信号ケーブルを取り外す。
 - ・ 本機に USB メモリーを挿している場合は取り外してください。
- 3 チルトフットおよびリアフットを伸ばしていたら、もとに戻す。
- 4 レンズカバーを右へスライドさせて閉じる。
- 5 本機および添付品をソフトケースに収納する。

本機をソフトケースに収納するときは、次の図のようにレンズカバーのある面が上を向くように収納してください。

レンズカバーが上になるように収納してください。



- 本機をソフトケースに収納するときは、チルトフットおよびリアフットを縮めてください。故障の原因となります。



本機の電源を切ったあとすぐに収納すると、本体がしばらく高温になります。取り扱いに注意してください。

3. 便利な機能

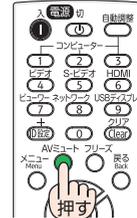
3-1. 映像と音声を消去する (AV ミュート)

1 リモコンの (AV ミュート) ボタンを押す。

投写されている映像と、内蔵スピーカーおよび音声出力端子から出力されている音声が一時的に消えます。

また、AV ミュートにしてしばらくすると、節電機能が働き、ランプ電力が低下します。

- もう一度 (AV ミュート) ボタンを押すと、映像と音声が出ます。



注意

- ビープ音は (AV ミュート) ボタンを押しても消えません。ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション (1) のビープ音を「切り」にしてください。(▶ 134 ページ)
- 節電機能が動いた直後に (AV ミュート) ボタンを押すと、すぐに明るさが戻らない場合があります。

参考

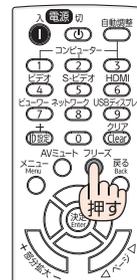
- 映像は消えますが、メニュー表示は消えません。

3-2. 動画を静止画にする (フリーズ)

1 リモコンの (フリーズ) ボタンを押す。

DVD プレーヤーの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

- もう一度 (フリーズ) ボタンを押すと、動画に戻ります。



注意

- Projection Utility を使用している場合 (▶ 193 ページ)、静止画表示中は音声が一時的に消えます。

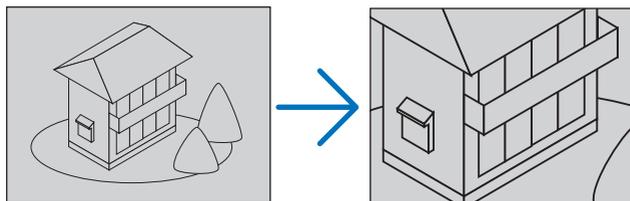
参考

- (フリーズ) ボタンを押すと、押すときに投写されていた映像を本機のメモリーに保存し、メモリー内の映像 (静止画) を投写します。静止画表示中、DVD プレーヤーなどの映像再生は先に進行しています。

3-3. 映像の一部を拡大する (部分拡大)

1 リモコンの(部分拡大+)ボタンを押す。

押すごとに映像が拡大します。
・最大4倍まで拡大できます。



2 (▼▲◀▶)ボタンを押す。

拡大した映像の表示領域が移動します。

3 (部分拡大-)ボタンを押す。

押すごとに映像が縮小します。
・もとのサイズに戻ると、それ以上押しても縮小されません。



注意

- ・入力信号によっては、部分拡大の機能が使用できない場合や、4倍まで拡大できない場合があります。
- ・USB ディスプレイでは、部分拡大の機能は使用できません。

参考

- ・拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。
- ・映像を拡大しているときにオンスクリーンメニューを表示すると、拡大は解除されます。

3-4. エコモードと省エネ効果

エコモードを設定すると、本機のCO₂排出量を削減することができます。エコモードは主にランプの輝度を下げて消費電力を削減します。このためにランプ交換時間(目安)*を延ばすことにもなります。

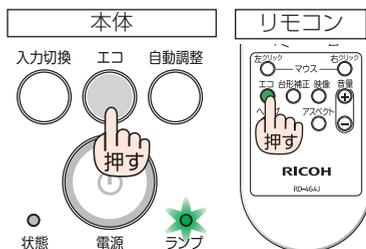
エコモードの設定 (メニュー下部のアイコン表示)	ランプの輝度	ランプインジケータ の状態
標準 (表示なし)	ランプの輝度 (明るさ) が 100% になります。 明るい画面になります。	
オートエコ	映像の明るさを判定してランプの輝度を自動で「標準」または「エコ1」に切り替えます。	
エコ1	ランプの輝度 (明るさ) が約 80% になります。 ランプ電力を下げることにより、ランプ交換時間(目安)*が延びます。	
エコ2	ランプの輝度 (明るさ) が約 60% になります。 ランプの状態に最適なランプ電力コントロールを行い、ランプ交換時間(目安)*がさらに延びます。最大でエコ1相当の電力になります。	

エコ1 / エコ2 を選択するとランプ交換時間(目安)*が延びます。
ランプの輝度(明るさ)が下がるのと連動し、冷却ファンの回転数も下がります。

※：保証時間ではありません。

エコモードに切り替える

- 1 **エコ** ボタンを 1 回押す。
ランプパワー選択画面が表示されます。



- 2 さらに**エコ** ボタンを押して選択する。

エコ ボタンを押すごとに オートエコ→エコ1→エコ2→標準に切り替わり、エコモード選択画面が消えて、選択したモードに切り替わります。

- エコ1 / エコ2 に設定すると、ランプインジケータが緑色で点灯します。



- オートエコを設定すると、映像によっては明るい階調が見えにくくなる場合があります。

- オンスクリーンメニューのセットアップ→全般→ランプパワーでも切り替えることができます。
- 電源を入れたとき、ランプパワーの設定状態を画面表示で知らせるエコメッセージ機能があります。オンスクリーンメニューのセットアップ→メニュー設定→エコメッセージで設定します。(▶ 127 ページ)
- ランプ残量／ランプ時間については、オンスクリーンメニューの情報→使用時間で確認できます。(▶ 138 ページ)
- 電源を入れた直後の約 90 秒間は、常にエコモードになります。また、この間はランプパワーの設定を変更しても、状態は変わりません。
- 本機に入力信号がない状態（無信号ガイダンス、青、なし、またはロゴ表示のとき）のまま約 1 分経過すると、自動的にランプパワーに切り替わりランプインジケータが緑点灯します。その後、本機が入力信号を感知するとランプパワーはもとの設定状態に戻ります。
- 室温が高いことにより本機内部の温度が上昇すると、一時的にランプの輝度（明るさ）を下げる場合があります。これは、本機の保護機能の一つで「強制エコモード」と呼びます。

強制エコモードになると、画面が少し暗くなり、メニュー画面の右下に「」アイコンが表示されます。

室温を下げることにより本機内部の温度が下がると、強制エコモードは解除され、ランプパワーはもとの設定状態に戻ります。

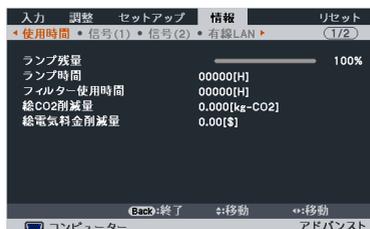
強制エコモード中は、ランプパワーの設定を変更しても、状態は変わりません。

省エネ効果を見る（カーボンメーター）

本機のエコモードを設定している期間の省エネ効果を CO₂ 排出削減量で表示します。この表示を「カーボンメーター」と呼びます。

表示には「総 CO₂ 削減量」、「総電気料金削減量」と「今回の CO₂ 削減量」があります。「総 CO₂ 削減量」と「総電気料金削減量」は本機の工場出荷時から現在までの CO₂ 削減量 (kg) と電気料金削減量 (\$) を累積し、オンスクリーンメニューの情報→使用時間に表示します。

(▶ 138 ページ)



「今回の CO₂ 削減量」は電源を入れてエコモードに切り替わってから電源を切るまでの CO₂ 削減量 (g) を、電源オフ時に表示される電源オフ確認メッセージ内に表示します。



参考

- 削減量は、エコモードを「標準」に設定して使用したときの消費電力量（推定）から、実際に使用したときの消費電力量（推定）を差し引き、CO₂ 排出係数または電気料金換算係数を掛けて算出します。
各係数はオンスクリーンメニューの「CO₂ 換算係数」と「電気料金換算係数」で変更できます。(▶ 137 ページ)
- 電気料金削減量の通貨表示は、オンスクリーンメニューの「通貨選択」で変更できます。
- エコモードを設定して使用すると、削減量の値は増加します。
- 「総 CO₂ 削減量」は 15 分単位で記録された値をもとにしています。
- スタンバイモードなどエコモードの設定に左右されない消費電力は計算から除外します。

3-5. 投写画面の歪みを調整する (4点補正 / ピンクッション補正)

台形補正の4点補正画面やピンクッション補正画面を表示して、投写画面の歪みを調整します。

●調整の前に

台形補正には、台形補正 水平と台形補正 垂直(同時調整可)、ピンクッション補正 左端/右端、ピンクッション補正 上端/下端、4点補正があります。いずれかの補正を行うと、他の補正はグレイ表示になり選択できません。

他の補正を行うときは、リセット操作をしてから行ってください。

4点補正を行う

- 1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに本体の  (台形補正) ボタンを押す。

・リモコンは(台形補正)ボタンを押します。
投写画面に台形補正画面が表示されます。



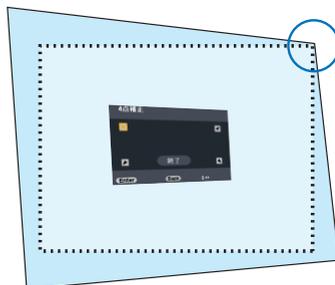
- 2  ボタンを押して [4点補正] にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。

4点補正画面が表示されます。



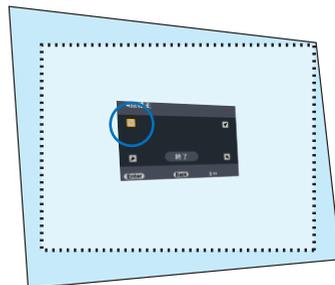
- 3 スクリーンがすべて含まれるように、投写画面の範囲を調整する。

- 4 スクリーンと投写画面の角を合わせる (図は右上の角)。



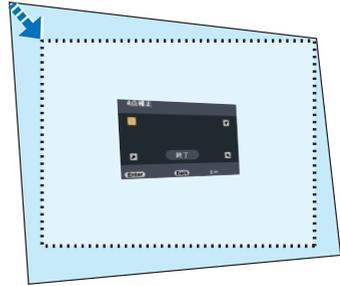
- 5  ボタンを押して、画面の外枠を動かしたい角の「▲」を選ぶ (図は左上の )。

- 6 (決定) ボタンを押す。



7 ▼▲◀▶ ボタンを押して、投写画面の角がスクリーンの角に近付くように動かす。

8 決定 ボタンを押す。



9 ▼▲◀▶ ボタンを押して、別の角の「▲」を選ぶ。



10 手順7～10を繰り返し、投写画面の歪みを調整する。



11 投写画面の歪みの調整が終わったら、4点補正画面で「終了」を選んで、決定 ボタンを押す。
4点補正の調整終了画面が表示されます。

12 ◀▶ ボタンを押して「確定」にカーソルを合わせ、決定 ボタンを押す。
4点補正の調整が確定されます。
・「取消」を選択して決定 ボタンを押すと、4点補正画面に戻ります。
戻る ボタンを押しても4点補正画面に戻りません。



ピンクッション補正を行う

ピンクッション補正は「ピンクッション補正 左端/右端」または「ピンクッション補正 上端/下端」のどちらか1つが調整できます。

プロジェクターはスクリーン面に対して真正面にし、台形歪みがでないように設置してください。なお、上下の位置調整はレンズシフトで行うことができます。

(▶40 ページ)

1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに本体の (台形補正) ボタンを押す。

・リモコンは(台形補正)ボタンを押します。
投写画面に台形補正画面が表示されます。



2 ボタンを押して、「ピンクッション補正 左端/右端」または「ピンクッション補正 上端/下端」にカーソルを合わせる。



3 ボタンを押して、投写画面のわん曲歪みを調整する。

4 調整が終わったら、 ボタンを押す。

全般画面に戻ります。



※ピンクッション左端 / 右端調整例

3

便利な機能

注意

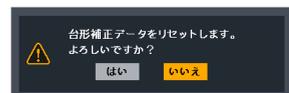
- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても台形補正の調整値を保持しています。
- 台形補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

台形補正値を初期値に戻すには

1 台形補正画面を表示させ、 ボタンを押して「リセット」にカーソルを合わせ、 ボタンを押します。 確認画面が表示されます。



2 ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、 ボタンを押します。 確認画面が消えクリアされます。



注意

- リセットを行うと台形補正画面の項目、全ての調整値が初期化されます。

3-6. セキュリティーを設定して無断使用を防止する

セキュリティーキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

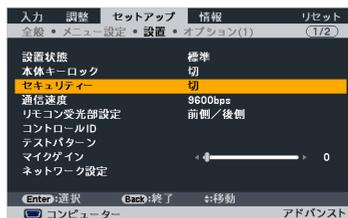
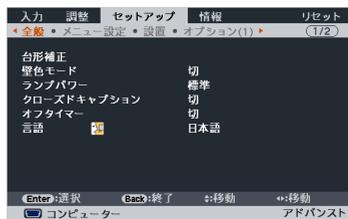
セキュリティーを有効に設定すると、本機の電源を入れたときにセキュリティーキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティーキーワードを入力しなければ投写できなくなります。

注意

- セキュリティーは、リセットでは解除されません。

セキュリティーを有効にする

- 1** **(メニュー)** ボタンを押す。
オンスクリーンメニュー画面が表示されます。
- 2** **(▶)** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押す。
「全般」にカーソルが移動します。
- 3** **(▶)** ボタンを押して「設置」にカーソルを合わせる。
- 4** **(▼)** ボタンを押して「セキュリティー」にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押す。
セキュリティー設定画面に変わります。
- 5** **(▼)** ボタンで「入」を選択し、**(決定)** ボタンを押す。
セキュリティーキーワード入力画面が表示されます。
- 6** **(▼▲▶)** ボタンの組み合わせでセキュリティーキーワードを入力し、**(決定)** ボタンを押す。
入力したセキュリティーキーワードは「*」で表示されます。
セキュリティーキーワードは4個以上10個以下の組み合わせで設定してください。





- セキュリティーキーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

セキュリティーキーワードの再入力画面が表示されます。



- 7** **6** で設定したセキュリティーキーワードを再入力し、**(決定)** ボタンを押す。

確認画面が表示されます。



- 8** **(戻る)** ボタンで「はい」を選択し、**(決定)** ボタンを押す。

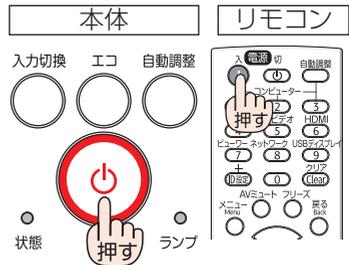
セキュリティーが有効になります。

セキュリティーを有効にしているときの電源の入れかた

- 1** **(電源)** ボタンを押す。

・リモコンで操作する場合は、電源**(入)** ボタンを押します。

本機の電源が入り、「セキュリティーロック中です。キーワードを入力してください。」のメッセージが表示されます。



- 2** **(メニュー)** ボタンを押す。

セキュリティーキーワード入力画面が表示されます。



- 3** セキュリティーキーワードを入力し、**(決定)** ボタンを押す。

入力したセキュリティーキーワードは「*」で表示されます。

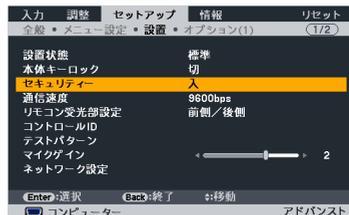
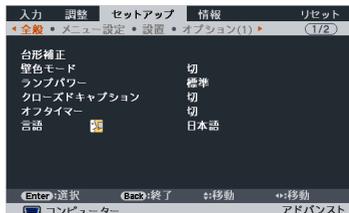
セキュリティーロックが一時的に解除され、選択している信号が投写されます。



- セキュリティーロックの解除状態は、電源コードを抜くまで保持されます。

セキュリティーを無効にする

- 1** **メニュー** ボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。
- 2** **▶** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。
「全般」にカーソルが移動します。
- 3** **▶** ボタンを押して「設置」にカーソルを合わせる。
- 4** **▼** ボタンを押して「セキュリティー」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。
セキュリティー設定画面に変わります。



- 5** **▲** ボタンで「切」を選択し、**決定** ボタンを押す。
セキュリティーキーワード入力画面が表示されず。



- 6** セキュリティーキーワードを入力し、**決定** ボタンを押す。
入力したセキュリティーキーワードは「*」で表示されます。
セキュリティーが無効になります。



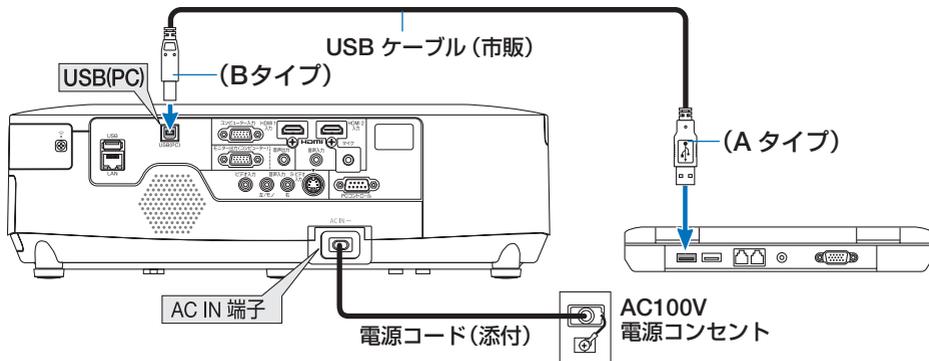
参考

- キーワードを忘れてしまいセキュリティーを解除できなくなった場合は、お客様相談センター（[📞 裏表紙](#)）にご連絡ください。

3-7. USBケーブルを接続して本機のリモコンでコンピューターのマウス操作を行う(リモートマウス)

市販のUSBケーブル(USB 2.0 対応)を使ってコンピューターと本機を接続すると、本機のリモコンでコンピューターのマウス操作を行うことができます。

- 入力端子でコンピューターを選択してコンピューターの画面を表示しているときに働きます。ただし、静止や部分拡大をしているときは働きません。
- USBケーブルを使ってコンピューターと本機を接続すると、USB ディスプレイも起動します。
(▶ [次ページ](#))



注意

- リモートマウスは、次の OS において使用できます。
Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows XP
- Windows XP の SP2 より前のバージョンで使用する場合は、「マウスのプロパティ」内の「ポインタオプション」タブの「ポインタの精度を高める」のチェックボックスをオフに設定してください。
- コンピューターの USB ポートから USB ケーブルのプラグを抜いて、再び差し込む場合は、抜いたあと 5 秒以上おいてから差し込んでください。瞬間的なプラグの抜き差しを行うと、コンピューターが USB ケーブルを正しく認識できないことがあります。
- USB ケーブルを接続する際は、コンピューターを起動している状態で行ってください。コンピューターと本機を USB ケーブルで接続したあとコンピューターを起動すると、コンピューターが起動しないことがあります。

リモコンを使ったコンピューターのマウス操作

リモコンで以下のマウス操作ができます。

- ・ **ページ** ∇/Δ ボタン..... 画面を上下にスクロールしたり、PowerPoint の画面を切り替えます。
- ・ **▼▲▶▶** ボタン マウスポインターを移動します。
- ・ **マウス左クリック** ボタン、**(決定)** ボタン.... マウスの左クリックの働きをします。
- ・ **マウス右クリック** ボタン..... マウスの右クリックの働きをします。

参考

- マウスポインターの動く速さは、Windows の「マウスのプロパティ」で調節することができます。詳しくは、コンピューターのオンラインヘルプまたは取扱説明書をご覧ください。

3-8. USB ケーブルを経由して画像を投写する (USB ディスプレイ)

市販の USB ケーブル (USB 2.0 対応) を使ってコンピューターとプロジェクターを接続すると、コンピューターの画面と音声をプロジェクターへ伝送して投写することができます。コンピューターケーブルは必要ありません。

また、コンピューター側から、プロジェクターの電源の入/切や信号切替などの操作を行うことができます。



- USB ディスプレイは、CD-ROM に収録しているユーティリティソフト Projection Utility の機能を利用しています。 (▶ [193 ページ](#))
お使いのコンピューターに Projection Utility がインストールされていない場合は、プロジェクター本体に内蔵している Projection Utility を自動的に起動します。その場合、Projection Utility はコンピューターにインストールされません。
- お使いのコンピューターに Projection Utility がインストールされている場合は、コンピューター内の Projection Utility が起動します。
コンピューター内の Projection Utility のバージョンが古い場合、一部の機能が動作しないことがあります。このときは、コンピューターから Projection Utility をアンインストールしてください。プロジェクター本体に内蔵している Projection Utility を自動的に起動し、全ての機能が動作するようになります。
- Windows XP では「コンピュータの管理者」権限のみ、USB ディスプレイが使用できます。
- オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション(1)→音声入力選択→USB ディスプレイを「USB ディスプレイ」に設定すると USB ディスプレイ入力の音声スピーカーから出力されます。

1 コンピューターを起動する。

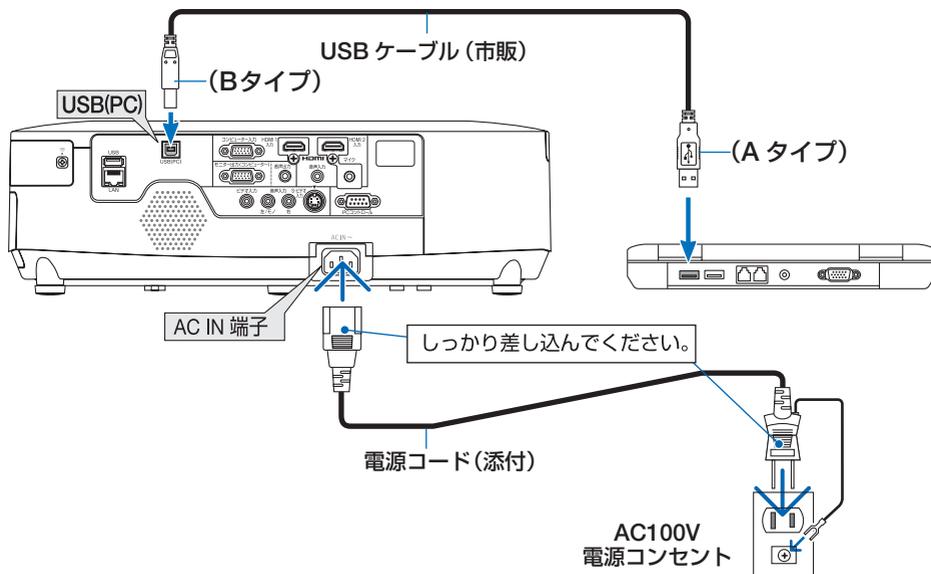
2 プロジェクターの電源コードをコンセントに接続し、プロジェクターをスタンバイ状態にする。

・プロジェクターのレンズカバーを開いてください。

3 コンピューターとプロジェクターを USB ケーブルで接続する。

コンピューターの画面に「プロジェクターがスタンバイです。接続しますか?」と表示されます。

・画面の上部に Projection Utility のコントロールウィンドウが表示されます。



注意

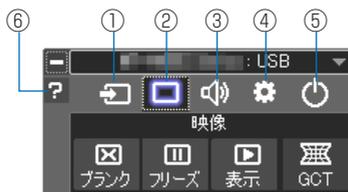
- プロジェクターがスタンバイ状態のときに USB ケーブルを接続する場合は、プロジェクターのスタンバイモードが「省電力」または「ネットワークスタンバイ」に設定されていると、USB ディスプレイは起動しません。その場合はプロジェクターのスタンバイモードを「ノーマル」に切り替えてください。
- コンピューター本体の設定によっては、プロジェクターとの接続を検出した際に、「自動再生」ウィンドウを表示する場合があります。「自動再生」ウィンドウが表示されたときは「Start USB Display」をクリックしてください。

4 「はい (Y)」 をクリックする。

プロジェクターの電源が入り、画面に「プロジェクターを準備中です。しばらくお待ちください。」と表示されます。

しばらくすると、このウィンドウは自動的に消えます。

5 コントロールウィンドウを操作する。



名称	説明
①  (入力)	プロジェクターの入力信号を切り替えます。
②  (映像)	blank (映像消去)、freeze (静止画)、表示、GCT (幾何学補正) が行えます。 GCT (幾何学補正) については、 198 ページ をご覧ください。
③  (音声)	mute (音声消去)、再生、音量の調整が行えます。
④  (その他)	更新、HTTP サーバー (注)、設定、情報が行えます。 (注) HTTP サーバーは、USB ケーブル接続時は選択できません。
⑤  (終了)	Projection Utility を終了します。同時にプロジェクターの電源を切ることもできます。
⑥  (ヘルプ)	Projection Utility のヘルプを表示します。

注意

- USB ディスプレイのコントロールウィンドウで  (ヘルプ) をクリックしたとき、英語のヘルプが表示されることがあります。日本語のヘルプを表示するには、CD-ROM から Projection Utility をコンピューターにインストールしてください。

3-9. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作

概要

HTTP サーバー機能では次の設定や操作が行えます。

- (1) 本機をネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）に接続するための設定を行います（NETWORK SETTINGS）。
無線 LAN で使用する無線 LAN ユニットの、工場出荷時に本体の USB (LAN) ポートに装着しています。
有線 LAN / 無線 LAN の設定をする場合は、本機とコンピューターを市販の LAN ケーブルで接続してください。([172 ページ](#))
- (2) メール通知の設定を行います（ALERT MAIL）。
本機をネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）に接続しているときに、ランプの交換時期や各種エラーを、設定したメールアドレスへ通知します。
- (3) 本機の操作を行います。
本機の電源のオン/オフ、入力端子の切り替え、音量調整、映像調整などが行えます。
- (4) PLink PASSWORD などの設定を行います。

HTTP サーバー機能へのアクセスは、次の 2 つの方法があります。

- 本機とネットワークで接続されたコンピューターでウェブブラウザを起動し、アドレスまたは URL の入力欄へ `http://<本機の IP アドレス>/index.html` と指定する。
- 添付の CD-ROM に収録している Projection Utility を使用する。

参考

- 工場出荷時あるいはリセット後の IP アドレス設定は、DHCP が「オン」になっています。

注意

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
また続けてボタン操作を行うとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
- ウェブブラウザでネットワーク設定画面が表示されない場合は、Ctrl + F5 キーを押してウェブブラウザの画面表示を更新してください。
- 本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をウェブブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。

使用前の準備

ウェブブラウザによる操作を行う前にあらかじめ本機に市販のLAN ケーブルを接続してください。(172 ページ)

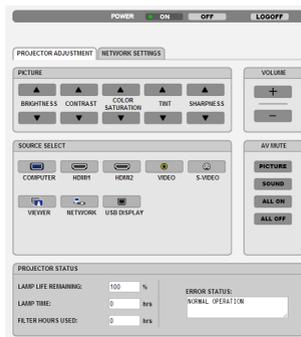
プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したウェブブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ウェブブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバーはできるだけ使用しないことを推奨します。

ウェブブラウザによる操作のアドレスの扱い

ウェブブラウザによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバーへ本機の IP アドレスに対するホスト名が登録されている場合、または使用しているコンピューターの「HOSTS」ファイルに本機の IP アドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がそのまま利用できます。

- (例 1) 本機のホスト名が「pj.ricoh.co.jp」と設定されている場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ
<http://pj.ricoh.co.jp/index.html> と指定します。
- (例 2) 本機の IP アドレスが「192.168.73.1」の場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ
<http://192.168.73.1/index.html> と指定します。

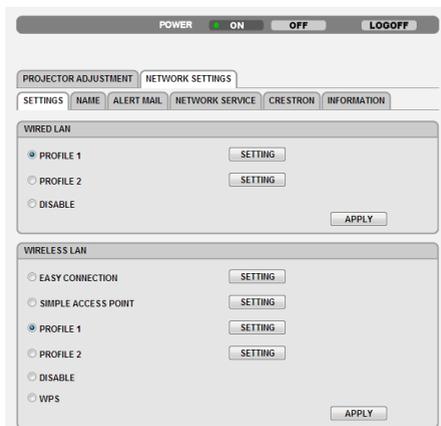
PROJECTOR ADJUSTMENT



次ページに続く

POWER	本機の電源をオン/オフします。 ON 電源をオンにします。 OFF 電源をオフにします。
VOLUME	本機の音量をコントロールします。 ▲ 音量調整値をアップします。 ▼ 音量調整値をダウンします。
AV MUTE	本機の MUTE をコントロールします。 PICTURE  映像をミュート（一時的に消去）します。 PICTURE  映像ミュートを解除します。 SOUND  音声をミュート（一時的に消去）します。 SOUND  音声ミュートを解除します。 ALL ON 映像と音声をミュート（一時的に消去）します。 ALL OFF 映像と音声のミュートを解除します。
PICTURE	本機の映像調整をコントロールします。 BRIGHTNESS ▲ 明るさの調整値をアップします。 BRIGHTNESS ▼ 明るさの調整値をダウンします。 CONTRAST ▲ コントラストの調整値をアップします。 CONTRAST ▼ コントラストの調整値をダウンします。 COLOR SATURATION ▲ 色の濃さの調整値をアップします。 COLOR SATURATION ▼ 色の濃さの調整値をダウンします。 TINT ▲ 色あいの調整値をアップします。 TINT ▼ 色あいの調整値をダウンします。 SHARPNESS ▲ シャープネスの調整値をアップします。 SHARPNESS ▼ シャープネスの調整値をダウンします。 ※ 本機に入力されている信号によって、コントロールできる機能が変わります。詳しくは「5-4 調整」の「明るさ/コントラスト/シャープネス/色の濃さ/色あい」( 118 ページ) をご覧ください。
SOURCE SELECT	本機の入力端子を切り替えます。 COMPUTER コンピューター映像入力に切り替えます。 HDMI 1 HDMI 1 映像入力に切り替えます。 HDMI 2 HDMI 2 映像入力に切り替えます。 VIDEO ビデオ映像入力に切り替えます。 S-VIDEO S-ビデオ映像入力に切り替えます。 VIEWER 本機にセットした USB メモリーのデータ表示に切り替えます。 NETWORK ネットワークから送られてくるデータ表示に切り替えます。 USB DISPLAY USB ディスプレイから送られてくるデータ表示に切り替えます。
PROJECTOR STATUS	本機の状態を表示します。 LAMP LIFE REMAINING ランプの残り使用時間を%表示します。 LAMP TIME ランプの使用時間を表示します。 FILTER HOURS USED フィルターの使用時間を表示します。 ERROR STATUS 本機内部のエラー発生状況を表示します。
LOGOFF	ログオフして認証画面（ログオン画面）に戻ります。

NETWORK SETTINGS



● SETTINGS

WIRED LAN または WIRELESS LAN

SETTING	有線 LAN または無線 LAN に必要な設定を行います。
APPLY	「SETTING」の設定情報で有線 LAN または無線 LAN に接続します。
DISABLE	有線 LAN を無効にします。
PROFILE 1/PROFILE 2	有線 LAN/ 無線 LAN を使用する場合、各々 2 とおりの設定を本機のメモリーに記憶することができます。
DHCP ON	DHCP サーバーによって IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが自動的に割り当てられます。
DHCP OFF	ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスやサブネットマスクを設定します。
IP ADDRESS	本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。
SUBNET MASK	本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
GATEWAY	本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。
WINS	[DHCP] のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークの WINS サーバーの IP アドレスを設定します。
AUTO DNS ON	DHCP サーバーによって、本機を接続する DNS サーバーの IP アドレスを自動的に設定します。
AUTO DNS OFF	本機を接続するネットワークの DNS サーバーの IP アドレスを設定します。

WIRELESS LAN（無線 LAN ユニット使用時）のみ設定が必要

EASY CONNECTION	EASY CONNECTION（かんたん接続）で無線 LAN に接続します。									
SIMPLE ACCESS POINT	本機を簡易アクセスポイントに設定します。									
WPS	<p>WPS（Wi-Fi Protected Setup™）を使用して接続した WPS のプロファイルに設定します。</p> <p>注意 ● WPS による接続および WPS のプロファイルの設定変更は、本機のメニューで行ってください。</p>									
CHANNEL	<p>国によって使用できるチャンネルが異なります。</p> <p>INFRASTRUCTURE のときは、無線 LAN アクセスポイント、ADHOC のときは相手のコンピューターと同じチャンネルに設定してください。</p>									
SSID	無線 LAN の識別名（SSID）を入力します。SSID が一致する機器とのみ、通信が行えます。									
SITE SURVEY	その場所で接続可能な無線 LAN の SSID をリスト表示し、リストの中から接続する SSID を選択します。									
NETWORK TYPE	<p>無線 LAN を使用するときの通信方式を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • INFRASTRUCTURE 無線 LAN 端末と無線 LAN アクセスポイントを利用した形態の通信を行うときに選択します。 • ADHOC 無線 LAN アクセスポイントを使わず、無線 LAN 端末同士で通信を行うときに選択します。 									
SECURITY TYPE	<p>無線 LAN でセキュリティを設定するかしないかを選択します。セキュリティを行う場合は、WEP キーまたは暗号キーを設定します。</p> <p>お使いのコンピューターや無線 LAN 機器の機能にあわせて、どのセキュリティを使用するか選択してください。</p> <table border="1" data-bbox="367 975 1001 1532"> <tr> <td>DISABLE</td> <td>暗号化を行いません。他人から通信内容を傍受されるおそれがあります。</td> </tr> <tr> <td>WEP 64bit</td> <td>WEP 形式の暗号化を行い、秘密鍵に 64bit 長のデータを使います。</td> </tr> <tr> <td>WEP 128bit</td> <td>WEP 形式の暗号化を行い、秘密鍵に 128bit 長のデータを使います。64bit 長の秘密鍵に比べ、セキュリティが強化されます。</td> </tr> <tr> <td>WPA-PSK TKIP/ WPA-PSK AES/ WPA2-PSK TKIP/ WPA2-PSK AES / WPA-EAP TKIP EAP-TLS/ WPA-EAP AES EAP-TLS/ WPA-EAP TKIP PEAP-MSCHAPv2/ WPA-EAP AES PEAP-MSCHAPv2/ WPA2-EAP TKIP EAP-TLS/ WPA2-EAP AES EAP-TLS/ WPA2-EAP TKIP PEAP-MSCHAPv2/ WPA2-EAP AES PEAP-MSCHAPv2</td> <td>これらは WEP 形式よりもセキュリティが強化された形式です。</td> </tr> </table>		DISABLE	暗号化を行いません。他人から通信内容を傍受されるおそれがあります。	WEP 64bit	WEP 形式の暗号化を行い、秘密鍵に 64bit 長のデータを使います。	WEP 128bit	WEP 形式の暗号化を行い、秘密鍵に 128bit 長のデータを使います。64bit 長の秘密鍵に比べ、セキュリティが強化されます。	WPA-PSK TKIP/ WPA-PSK AES/ WPA2-PSK TKIP/ WPA2-PSK AES / WPA-EAP TKIP EAP-TLS/ WPA-EAP AES EAP-TLS/ WPA-EAP TKIP PEAP-MSCHAPv2/ WPA-EAP AES PEAP-MSCHAPv2/ WPA2-EAP TKIP EAP-TLS/ WPA2-EAP AES EAP-TLS/ WPA2-EAP TKIP PEAP-MSCHAPv2/ WPA2-EAP AES PEAP-MSCHAPv2	これらは WEP 形式よりもセキュリティが強化された形式です。
DISABLE	暗号化を行いません。他人から通信内容を傍受されるおそれがあります。									
WEP 64bit	WEP 形式の暗号化を行い、秘密鍵に 64bit 長のデータを使います。									
WEP 128bit	WEP 形式の暗号化を行い、秘密鍵に 128bit 長のデータを使います。64bit 長の秘密鍵に比べ、セキュリティが強化されます。									
WPA-PSK TKIP/ WPA-PSK AES/ WPA2-PSK TKIP/ WPA2-PSK AES / WPA-EAP TKIP EAP-TLS/ WPA-EAP AES EAP-TLS/ WPA-EAP TKIP PEAP-MSCHAPv2/ WPA-EAP AES PEAP-MSCHAPv2/ WPA2-EAP TKIP EAP-TLS/ WPA2-EAP AES EAP-TLS/ WPA2-EAP TKIP PEAP-MSCHAPv2/ WPA2-EAP AES PEAP-MSCHAPv2	これらは WEP 形式よりもセキュリティが強化された形式です。									

	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● セキュリティーの種類、WEP キー、暗号キーは、通信を行う相手の機器（コンピューターや無線 LAN アクセスポイント）と同じ設定にしてください。 ● セキュリティー設定をすると、画像転送速度が低下します。 ● NETWORK TYPE で「ADHOC」を使用している場合、WEP 64bit、WEP 128bit 以外は使用できません。 ● 証明書のインストールについては、本機のメニューで行ってください。(148 ページ) 									
INDEX	「SECURITY TYPE」で「WEP 64bit」または「WEP 128bit」を選択したとき、どの WEP キーを使うかを選択します。									
KEY	<p>「SECURITY TYPE」で「WEP 64bit」または「WEP 128bit」を選択したとき</p> <p>-----</p> <p>WEP キーを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最大入力文字数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>英数文字 (ASCII)</th> <th>16 進数 (HEX)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WEP 64bit</td> <td>5 文字</td> <td>10 文字</td> </tr> <tr> <td>WEP 128bit</td> <td>13 文字</td> <td>26 文字</td> </tr> </tbody> </table> <p>-----</p> <p>「SECURITY TYPE」で「WPA PSK-TKIP」、 「WPA PSK-AES」、 「WPA2 PSK-TKIP」または 「WPA2 PSK-AES」を選択したとき</p> <p>-----</p> <p>暗号キーを入力します。暗号キーは、8 文字以上、63 文字以下の英数文字を入力します。</p>	選択	英数文字 (ASCII)	16 進数 (HEX)	WEP 64bit	5 文字	10 文字	WEP 128bit	13 文字	26 文字
選択	英数文字 (ASCII)	16 進数 (HEX)								
WEP 64bit	5 文字	10 文字								
WEP 128bit	13 文字	26 文字								
USERNAME	WPA-EAP/WPA2-EAP を選択したときにユーザー名を設定します。									
PASSWORD	WPA-EAP TKIP PEAP-MSCHAPv2/WPA-EAP AES PEAP-MSCHAPv2/WPA2-EAP TKIP PEAP-MSCHAPv2/WPA2-EAP AES PEAP-MSCHAPv2 を選択したときにパスワードを設定します。									
USE DIGITAL CERTIFICATE	WPA-EAP TKIP PEAP-MSCHAPv2/WPA-EAP AES PEAP-MSCHAPv2/WPA2-EAP TKIP PEAP-MSCHAPv2/WPA2-EAP AES PEAP-MSCHAPv2 を選択したときに電子証明書の使用の有無を選択します。									

● NAME

PROJECTOR NAME	<p>本機を含む複数のプロジェクターが LAN に接続されている場合、コンピューター側でプロジェクターを識別するのに使います。英数字および記号が使用でき、最大 16 文字まで入力できます。</p> <p>参考</p> <p>● プロジェクター名は、リセットを行っても変更されません。</p> <p>.....</p>
HOST NAME	本機のホスト名を設定します。英数字および記号が使用でき、最大 15 文字まで入力できます。
DOMAIN NAME	本機のドメイン名を設定します。英数字および記号が使用でき、最大 60 文字まで入力できます。

● ALERT MAIL

ALERT MAIL	<p>本機を LAN に接続して使用する場合、本機のランプ交換時期や各種エラーが発生したときに、本機の状態を E メールでコンピューターなどへ通知します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) …以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。</p> <p><input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……メール通知機能は停止します。</p> <p>【本機から送信される Eメールの例】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ランプの交換時期です。新しいランプに交換してください。</p> <p>[情報]</p> <p>プロジェクター名：xxxx</p> <p>ランプ使用時間：xxxx [H]</p> </div>
SENDER'S ADDRESS	本機からメールを送信する際の差出人アドレスを設定します。Eメールの「from」にあたるアドレスです。
SMTP SERVER NAME	本機が接続をするネットワークの SMTP サーバーを設定します。
RECIPIENT'S ADDRESS 1 RECIPIENT'S ADDRESS 2 RECIPIENT'S ADDRESS 3	本機からメールを送信する際の宛先のアドレスを設定します。宛先は 3 つまで設定できます。Eメールの「to」にあたるアドレスです。
TEST MAIL	<p>Eメールの設定を確認するために、テストメールを送信します。</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 送信テストを行って、送信エラーになったりメールが届かない場合は、ネットワークの設定を確認してください。 ● 宛先アドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスの設定を確認してください。
SAVE	設定情報を本機のメモリーへ記憶します。

● NETWORK SERVICE

PJLink PASSWORD	PJLink（ピージェイリンク）を使用する場合に、パスワードを設定します。 パスワードは最大 32 文字までの英数字で設定してください。
HTTP PASSWORD	HTTP サーバーを使用する場合に、パスワードを設定します。 パスワードは最大 10 文字までの英数字で設定してください。

● CRESTRON

ROOMVIEW：コンピューターで制御する場合に設定します。

DISABLE	ROOMVIEW を無効にします。
ENABLE	ROOMVIEW を有効にします。

CRESTRON CONTROL：コントローラーで制御する場合に設定します。

DISABLE	CRESTRON CONTROL を無効にします。
ENABLE	CRESTRON CONTROL を有効にします。
IP ADDRESS	CRESTRON SERVER の IP ADDRESS を設定します。
IP ID	CRESTRON SERVER の IP ID を設定します。

● INFORMATION

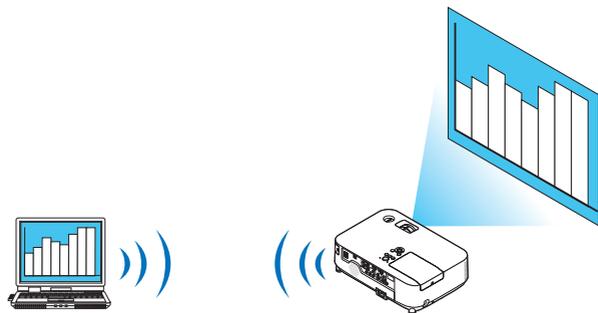
WIRED LAN	有線 LAN の設定情報を一覧表示します。
WIRELESS LAN	無線 LAN の設定情報を一覧表示します。
UPDATE	設定情報を変更した場合、一覧の表示を更新します。



- 登録したパスワードを忘れてしまった場合は、お客様相談センター（[👉 裏表紙](#)）にご連絡ください。
- CRESTRON の項目は、CRESTRON ROOMVIEW を使用する場合に設定します。CRESTRON ROOMVIEW については、Crestron 社のホームページをご覧ください。（英語のみ）<http://www.crestron.com>

3-10. LAN 経由でコンピューターの画面を本機へ送信して投写する（ネットワークプロジェクター）

お使いのコンピューターと同一のネットワークに接続されているプロジェクター（本機）を選択し、コンピューターの画面イメージをネットワーク経由でスクリーンに投写できます。コンピューターケーブルで接続する必要がありません。



● この機能を利用するために必要な動作環境は次のとおりです。

- ・ 対応 OS
 - ・ Windows 8 Pro
 - ・ Windows 8 Enterprise
 - ・ Windows 7 Professional
 - ・ Windows 7 Ultimate
 - ・ Windows 7 Enterprise
 - ・ Windows Vista Home Premium
 - ・ Windows Vista Business
 - ・ Windows Vista Ultimate
 - ・ Windows Vista Enterprise
- ・ ハードウェア仕様
マイクロソフトが Windows Vista の動作環境として推奨しているスペックを満たしていること。
- ・ ネットワーク環境
TCP/IP をサポートした LAN または無線 LAN 環境必須
- ・ 画面の色
High Color (16 ビット)
True Color (24 ビット、32 ビット)
(注) 256 色以下には対応していません。

●本機をネットワークプロジェクター入力モードにする

1 本機の電源が入っている状態でプロジェクター本体の(入力切換)ボタンを押す。

信号選択画面が表示されます。

- ・ リモコンの場合は(ネットワーク)ボタンを押します。
アプリケーションメニュー画面が表示されます。手順3に進みます。



2 (▼/▲) ボタンを押して「ネットワーク」を選択し、(決定) ボタンを押す。

「アプリケーションメニュー」が表示されます。



3 アプリケーションメニューから「ネットワークプロジェクター」を選択する。

画面に「プロジェクター名／画面解像度／パスワード／URL」が表示されます。



●ネットワークプロジェクターを使って画面を投写する

※ Windows7 で説明しています。

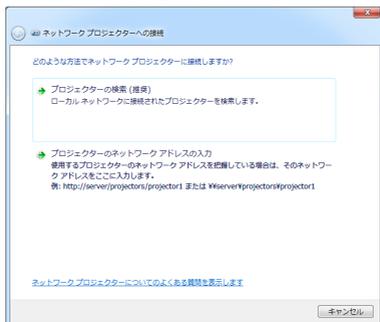
1 Windows 7 のデスクトップ画面で[スタート]ボタンをクリックする。

2 [すべてのプログラム] をクリックする。

3 [アクセサリ] をクリックする。

4 [ネットワークプロジェクターへの接続] をクリックする。

- ・「Windows ファイアウォールはネットワークプロジェクターがコンピューターと通信することをブロックしています」画面が表示された場合は、「ネットワークプロジェクターがコンピューターと通信することを許可します」をクリックしてください。
「ネットワークプロジェクターへの接続」画面が表示されます。



5 [→プロジェクトターの検索 (推奨)] をクリックする。

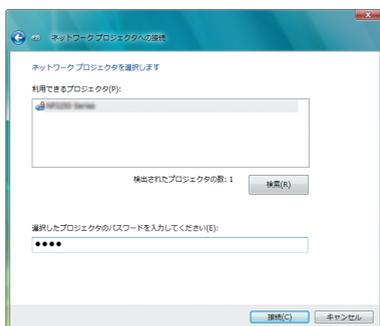
「利用できるプロジェクトター(P)」欄にプロジェクトター名が表示されます。

- ・ 本機の工場出荷時のプロジェクトター名には「X5371N/WX5361N」が設定されています。

6 [X5371N/WX5361N] をクリックする。

画面の下方に「選択したプロジェクトターのパスワードを入力してください(E)」と表示されます。

7 前ページの手順**3**の操作で表示されたパスワードをパスワード入力欄へ入力する。



8 [接続 (C)] をクリックする。

ネットワークプロジェクター機能が動き、Windows 7 の画面が本機から投写されます。

- コンピューターの画面解像度とプロジェクターの画面解像度が異なると、ネットワークプロジェクター機能を実行できない場合があります。コンピューターの画面解像度を [74 ページ](#) の手順 **3** の操作で表示された画面解像度以下に変更してください。

注意

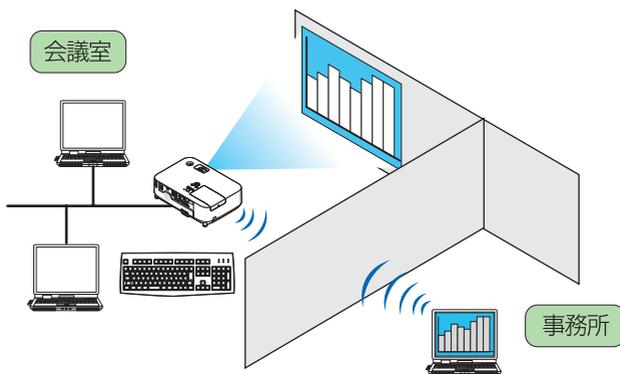
- ネットワークプロジェクター機能が働くと同時に、デスクトップの背景が黒色に変わります。
ネットワークプロジェクター機能を終了すると、もとの背景に戻ります。

参考

- 手順 **5** で本機が検索できないときは、「→プロジェクターのネットワークアドレスの入力」をクリックします。そして、本機から投写された画面に表示されているアドレス（入力例：http://10.32.97.61/wlan）とパスワード（入力例：82291627）を入力します。

3-11. 本機から LAN 経由でコンピューターを操作する（リモートデスクトップ）

- プロジェクター（本機）と同一のネットワークに接続しているコンピューターを選択し、コンピューターの画面イメージをネットワーク経由でスクリーンに投写します。そして、市販のキーボードを操作することにより、ネットワークに接続している Windows 8 や Windows 7（および Windows Vista、Windows XP）のコンピューターを操作します。
- リモートデスクトップ機能により、プロジェクター（本機）から離れたところに設置してあるコンピューターを遠隔操作できます。



重要

- この機能を使用できる Windows の種類は次のとおりです。
 - ・ Windows 8 Pro
 - ・ Windows 8 Enterprise
 - ・ Windows 7 Professional
 - ・ Windows 7 Ultimate
 - ・ Windows 7 Enterprise
 - ・ Windows Vista Home Premium
 - ・ Windows Vista Business
 - ・ Windows Vista Ultimate
 - ・ Windows Vista Enterprise
 - ・ Windows XP Professional Service Pack 3
- 本書では Windows 7 を例にしてこの機能を説明しています。
- リモートデスクトップを行う際は、USB キーボードをプロジェクター本体に接続する必要があります。
- リモートデスクトップは、USB キーボードだけでも操作できますが、さらに USB マウスを使用すると操作性が向上します。
USB キーボードおよび USB マウスは、コンピューター用として市販されている製品をお使いください。

次ページに続く

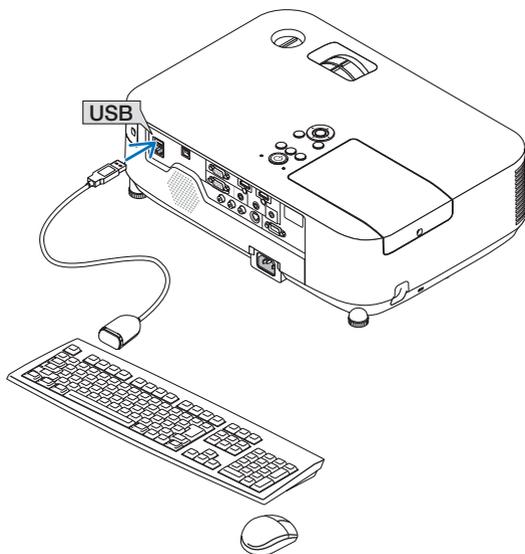
- キーボードとマウスを同時に使用したい場合は、USB ワイヤレスレシーバーを使用するタイプのコンピューター用として市販されているワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスをお使いください。
ただし、本機の USB ポートは、市販されているすべてのキーボードおよびマウスの動作を保証するものではありません。
- USB ハブを内蔵している USB キーボードは使用できません。また、Bluetooth 接続のワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスは使用できません。
- リモートデスクトップのログイン画面では、英字配列キーボード（通称 101 キーボード）を使用してください。日本語キーボード（JIS 配列キーボードなど）を使用した場合、キーに印刷された文字と異なる文字が入力されることがあります。

- ・ Windows XP のサポートについて
マイクロソフト社の Windows XP のサポート終了に伴い、本機についても Windows XP のサポートを終了させていただきます。

●ワイヤレスキーボードを準備する

※次のイラストは、市販の USB ワイヤレスレシーバーを使用するタイプのワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスの例です。製品によって形状や仕様が異なります。

- 1** USB ワイヤレスレシーバーの USB 端子を本機の USB ポートに差し込む。



● Windows 7 のユーザーアカウントにパスワードを設定する

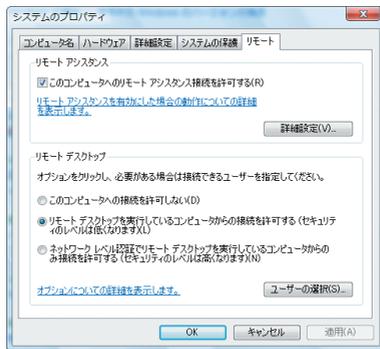
※すでにユーザーアカウントにパスワードが設定されている場合は、以下の手順⑨までの操作は省略できます。

- 1 Windows 7 のデスクトップ画面で [スタート] ボタンをクリックする。
- 2 [コントロールパネル] をクリックする。
- 3 [ユーザーアカウントと家族のための安全設定] の下に表示されている [ユーザーアカウントの追加または削除] をクリックする。
- 4 ユーザーアカウント制御の確認画面が表示されたら、[はい (Y)] をクリックする。
- 5 [Administrator] をクリックする。
- 6 [パスワードの作成] をクリックする。
- 7 [新しいパスワード] 欄にパスワードを入力する。
- 8 [新しいパスワードの確認] 欄に手順7と同じパスワードを入力する。
- 9 [パスワードの作成] をクリックする。
Administrator が「パスワード保護」に変わりました。

● リモートアクセスの許可を設定する

- 1 Windows 7 のデスクトップ画面で [スタート] ボタンをクリックする。
- 2 [コントロールパネル] をクリックする。
- 3 [システムとセキュリティ] をクリックする。
・Windows Vista の場合は [システムとメンテナンス] をクリックします。
- 4 [システム] の下に表示されている [リモートアクセスの許可] をクリックする。
- 5 ユーザーアカウント制御の確認画面が表示されたら、[はい (Y)] をクリックする。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

- 6** リモートデスクトップ欄の [リモートデスクトップを実行しているコンピュータからの接続を許可する (セキュリティのレベルは低くなります) (L)] をクリックし、[OK] をクリックする。



● Windows 7 側の IP アドレスを確認する

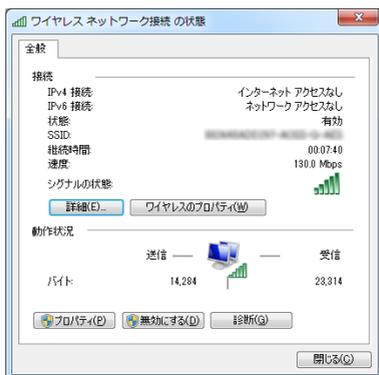
- 1** Windows 7 のデスクトップ画面で [スタート] ボタンをクリックする。

- 2** [コントロールパネル] をクリックする。

- 3** [ネットワークとインターネット] の下に表示されている [ネットワークの状態とタスクの表示] をクリックする。

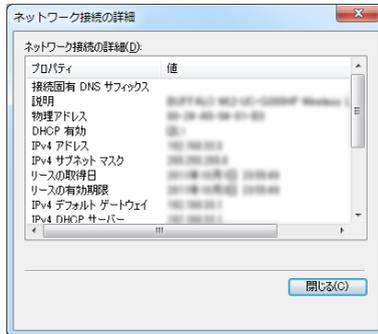
- 4** 無線 LAN で接続している場合は、画面の [接続] の右に青色で表示されている [ワイヤレスネットワーク接続 (xxxxxxx)] をクリックする。

「ワイヤレスネットワーク接続の状態」画面が表示されます。



5 [詳細 (E)] をクリックする。

表示された「IPv4 アドレス」の値 (xxx.xxx.xxx.xxx) をメモします。



6 [閉じる (C)] をクリックする。

7 ウィンドウの右上の [X] をクリックする。

デスクトップ画面に戻ります。

● リモートデスクトップを開始する

1 本機の電源が入っている状態でプロジェクター本体の (入力切換) ボタンを押す。

信号選択画面が表示されます。

・リモコンの場合は (ネットワーク) ボタンを押します。

「アプリケーションメニュー」が表示されます。手順 3 に進みます。



2 (▼▲) ボタンを押して「ネットワーク」を選択し、(決定) ボタンを押す。

「アプリケーションメニュー」が表示されます。



- 3** マウスを操作して、[リモートデスクトップ接続] をクリックする。
「リモートデスクトップ接続」画面が表示されます。



- 4** マウスを操作して、Windows 7 側の IP アドレスを入力し、[接続] をクリックする。

本機で投写した画面に Windows 7 のログオン画面が表示されます。

- 5** キーボードを操作して、ユーザーのパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。

リモートデスクトップが開始され、本機で投写した画面に Windows 7 のデスクトップが表示されます。

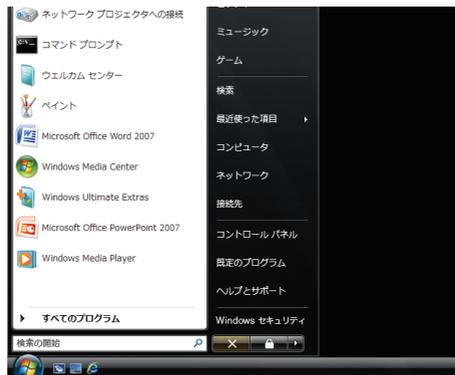
コンピューターはログアウトします。キーボードを使って、Windows 7 を操作します。



- リモートデスクトップで投写した場合、デスクトップの背景が黒色に変わります。

● リモートデスクトップを終了する

- 1** マウスを操作して、本機から投写されているデスクトップ画面の [スタート] ボタンをクリックする。



- 2** スタートメニューの右側にある [X] をクリックする。

リモートデスクトップが終了します。

- 3** 本機の (入力切換) ボタンを押して、[ネットワーク] 以外の入力を選択する。

・リモコンの場合は、(ネットワーク)以外の入力端子のボタンを押します。

- リモートデスクトップの [詳細設定] について
 リモートデスクトップの [詳細設定] では、リモートデスクトップの操作中において、デスクトップの背景を表示したり、ウィンドウアニメーションなどを有効にすることができます。
 ただし、[詳細設定] を変更すると、リモートデスクトップ操作中の画面表示やマウスの動作が遅くなります。[詳細設定] は、工場出荷時の設定のままにしておくことをおすすめします。

設定項目	チェックを外しているときの動作	工場出荷時の設定
デスクトップの背景	デスクトップの背景を単色で表示します。	チェックなし
メニューとウィンドウアニメーション	メニューとウィンドウのアニメーション効果を無効にします。	チェックなし
テーマ	テーマを使用しません。	チェックなし
ドラッグ中にウィンドウの内容を表示	ウィンドウをドラッグするときに、ウィンドウの枠だけを表示します。	チェックなし

3-12. マイクを接続する

マイク入力端子に市販のダイナミックマイクを接続すると、スピーカーからマイクの音声を出力することができます。

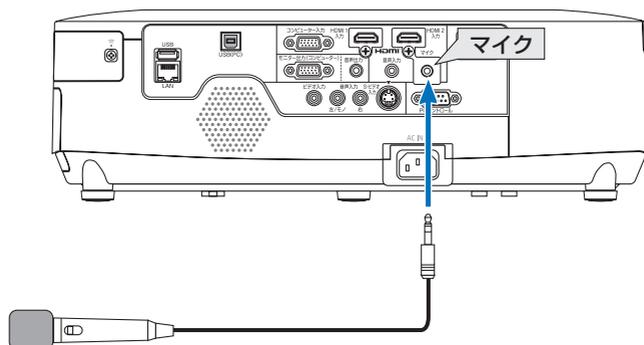
また会議室や教室でのプレゼンテーションや講義のときに、コンピューター音声入力端子、HDMI 1/2 入力端子または S-ビデオ/ビデオ音声入力端子から入力した音声、およびビューワー、ネットワークで再生した音声にかぶせてマイクの音声を出力することができます。

マイク音量は、本体の音量調整ボタン (◀▶) およびリモコンの(音量 +/-)ボタンで調整できます。

マイクの感度はメニューの「セットアップ」→「設置」→「マイクゲイン」で選択できます。(🔗 132 ページ)

注意

- マイク入力端子は、プラグインパワー方式のマイクには対応していません。
(プラグインパワー方式のマイクとは、接続する機器などの外部から電源をとるマイクのことです。)
- HDMI1/2 信号の入力状態により、マイクの音声が出力されないことがあります。



ダイナミックマイク

4. ビューワーを使う

4-1. ビューワーでできること

ビューワーとは、本機の USB ポートにセットした USB メモリー内のデータや、本機と同一のネットワークにあるコンピューターの共有フォルダー内のデータを投写する機能です。

ビューワーには次のような特長があります。

- プレゼンテーションで使用する発表資料などを、USB メモリーに保存しておく、コンピューターと本機を接続することなしに、発表資料をスクリーンに投写することができます。コンピューターを持ち運ぶ必要がなく便利です。
- 動画ファイル（動画と音声）が再生できます。
- ネットワークのコンピューターに接続して共有フォルダー内のデータを投写できます。また、コンピューター側で Windows Media Player 11 または Windows Media Player 12 の「メディアの共有」が設定されていれば、そのコンピューターをメディアサーバーとして利用できます。

表示 / 再生可能なファイル

表示可能な画像ファイル（静止画）一覧

※本書では画像ファイルを静止画と呼ぶ場合があります。

ファイル形式	ファイル名の拡張子	ビューワーのアイコン表示
JPEG	.jpg、.jpe、.jpeg（CMYK は非対応）	
BMP	.bmp（ビットフィールドは非対応）	
PNG	.png（インターレース / α チャンネルは非対応）	
GIF	.gif（インターレース / 透過 / アニメーションは非対応）	

※表示できない画像は、サムネイル画面で  アイコンを表示します。

注意

- 画像ファイルかどうかの判断は拡張子でのみ行い、上記拡張子以外のファイルはサムネイル画面やスライドの表示はできません。
- ビューワーで表示できる画像のピクセル数には次のような上限があります。
 - ・ ベースライン JPEG：10000 × 10000
 - ・ プログレッシブ JPEG：1280 × 1280
 - ・ GIF：1280 × 1280
 - ・ その他の画像：4000 × 4000
- 上記の条件を満たしている画像ファイルであっても再生できない場合があります。

再生可能な動画ファイル一覧

ファイル名の拡張子	動画 圧縮・伸張方式	音声 圧縮・伸張方式	ビューワーのアイコン表示
.mpg、.mpeg	MPEG2	MPEG Audio Layer2 MPEG Audio Layer3	
.wmv	VC-1/WMV9	WMA 9 Standard	
.mp4	H.264/AVC	AAC-LC	

※ 再生条件

動画解像度	: 320 × 240 ~ 1280 × 720 まで	音声サンプルレート	: 48kHz まで
		チャンネル	: ステレオ 2CH まで
動画フレームレート	: 30fps まで	音声ビットレート	: 256kbps まで
動画ビットレート	: 15Mbps まで	ファイルの最大サイズ	: 2GB まで

注意

- 上記の条件を満たしている動画ファイルであっても再生できない場合があります。
- ネットワーク環境またはファイルのビットレートによっては正常に再生されないことがあります。
- 本機に搭載されていない圧縮・伸張方式で変換された動画ファイルは再生できません。また、事前にチェックができないため、再生できないことを示すアイコンは表示しません。
- デジタル著作権管理 (Digital Rights Management, DRM) 付きのファイルは再生できません。
- WMV 形式の動画ファイルはファイルのアスペクト設定に関わらず 1:1 で表示されません。
- メディアサーバーで再生可能なファイルは、画像ファイルと動画ファイルです。ただし、WindowsMediaPlayer 11(Windows XP, Windows Vista) では「.mp4」の再生はできません。

対応 USB メモリー

- 本機は、NTFS 形式でフォーマットされた USB メモリーを認識できません。本機にセットした USB メモリーが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。本機のビューワーで使用する USB メモリーは、exFAT 形式、FAT32 形式、FAT16 形式、または FAT 形式でフォーマットしてください。フォーマット方法については、お使いの Windows の取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。

注意

- 本機の USB ポートは、市販されているすべての USB メモリーの動作を保証するものではありません。

共有フォルダー・メディアサーバーの注意事項

- 共有フォルダーおよびメディアサーバーのファイルを投写する場合、コンピューターにセキュリティソフトまたはウイルスチェックソフトがインストールされていると表示・再生ができないことがあります。
- 開く必要のあるファイアウォールのポートについて

メディアサーバー

ポート番号	プロトコル
1900	UDP
2869	TCP
10243	TCP
10280-10284	UDP

共有フォルダー

ポート番号	プロトコル
137	UDP/TCP
138	UDP/TCP
139	UDP/TCP
445	UDP/TCP

- 共有フォルダー内のファイルへのアクセスを許可するようコンピューターの共有とセキュリティの設定をしてください。また、お使いのセキュリティソフト、ウイルスチェックソフトの設定をしてください。詳しくはネットワーク管理者にお尋ねください。
- 共有フォルダーおよびメディアサーバー内の動画ファイルは、ネットワーク環境またはファイルのビットレートによっては正常に再生されないことがあります。

その他の注意事項

- ビューワー表示中は、プロジェクター本体またはリモコンの次のボタン操作はできません。
本体操作ボタン：(◀▶) ボタンによる音量調整、(▼) ボタンによる台形補正、
(自動調整) ボタンによる自動調整
リモコン操作ボタン：(フリーズ) ボタン、(アスペクト) ボタン、(自動調整) ボタン
- オンスクリーンメニューでリセット→全データを行うと、ビューワーのメニュー設定は工場出荷状態に戻ります。

4-2. プレゼンテーション資料の準備

1 プレゼンテーション資料をコンピューターで作成し、ビューワーで表示可能なファイル形式で保存する。

- ・ 表示可能なファイル形式は [85 ページ](#)をご覧ください。

2 コンピューターのファイルをドライブに保存する。

USB メモリーにデータを保存する場合

- ・ Windows のエクスプローラーなどを使って、ファイルを USB メモリーにコピーします。

コンピューターに共有フォルダーを作成しデータを入れる場合 ([101 ページ](#))

Windows Media Player 11 (または Windows Media Player 12) の [メディアの共有] を利用する場合 ([104 ページ](#))

4-3. ドライブに保存したファイルを投写する

ここでは、ビューワーの基本操作をUSBメモリーに保存したファイルで説明します。ビューワーの各メニューが工場出荷時の状態になっているときの操作手順です。

準備： コンピューターを使ってビューワーで表示可能な資料をUSBメモリーに保存してください。

ビューワーを起動する

1 本機の電源を入れる。(C34 ページ)

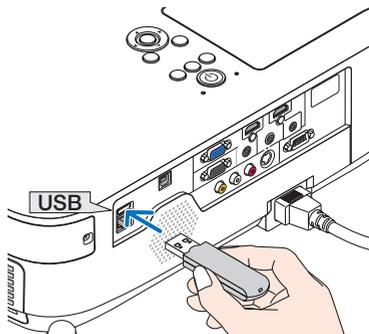
2 本機のUSBポートにUSBメモリーを差し込む。

注意

● USBメモリーのアクセシビリティゲーターが点滅しているときは、保存データが破損しますので取り外さないでください。

参考

● ドライブ一覧画面のときUSBメモリーを差し込むことも可能です。



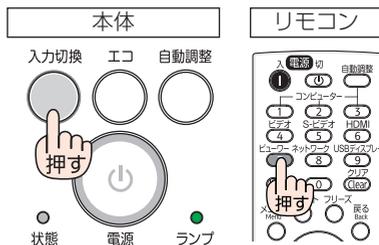
3 (入力切換) ボタンを押して「ビューワー」を選択する。

1回押すと入力選択画面を表示します。

さらに何回か押して「ビューワー」にカーソルを合わせます。

2. 3秒後にドライブ一覧画面を表示します。

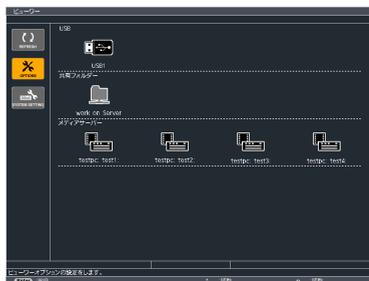
・リモコンの場合は(ビューワー)ボタンを押します。



参考

● ドライブ一覧画面については93 ページをご覧ください。

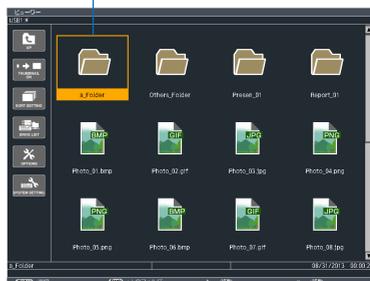
● 共有フォルダー内の画像などを表示させるには101 ページ、メディアサーバー内の画像(静止画、動画)を表示させるには104 ページをご覧ください。



4 ボタンを押してUSB1にカーソルを合わせて、**決定**ボタンを押す。

USB1のサムネイル画面に変わります。

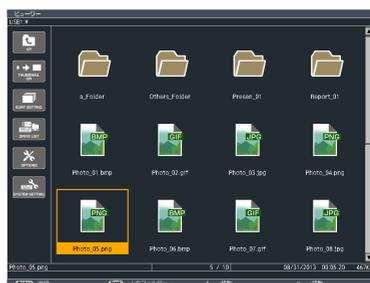
カーソル (黄色)



- 参考**
- サムネイル画面については95 ページをご覧ください。

5 ボタンを押して、カーソルを目的のアイコンに合わせる。

- フォルダーの中に画像などがある場合はフォルダーアイコンにカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押します。
- 右端にスクロールバーを表示している場合は、サムネイル画面が複数ページあることを示します。**ページ下**ボタン (ページダウン) ボタンで次ページへ、**ページ上**ボタン (ページアップ) ボタンで前ページに変わります。



- 参考**
- サムネイル画面のアイコン表示をサムネイル表示に変えるには95 ページをご覧ください。

6 **決定**ボタンを押す。

選んだファイルによって操作が異なります。

● 静止画ファイル

スライドが表示されます。

 ボタンは次のスライド、 ボタンは前のスライドに切り替わります (サムネイル画面の表示順に替わります)。

-  ボタン、 ボタンでもスライドが切り替わります。

- 決定** ボタンを押すと静止画のコントロールバーを表示します。スライド操作や静止画の回転などができます。 (96 ページ)

- 参考**
- 静止画ファイルは自動で順次切り替えることができます。 (98 ページ)

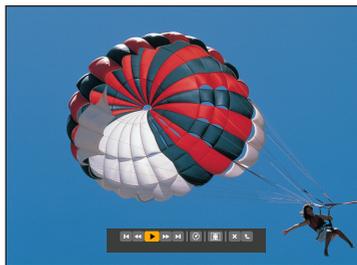


● 動画ファイル

動画の再生が始まります。

再生が終わると黒画面になります。(戻る)ボタンを押すとサムネイル画面に戻ります。

- ・ (決定)を押すと動画のコントロールバーを表示します。一時停止や早送りなどの操作ができます。
(▶ 97 ページ)



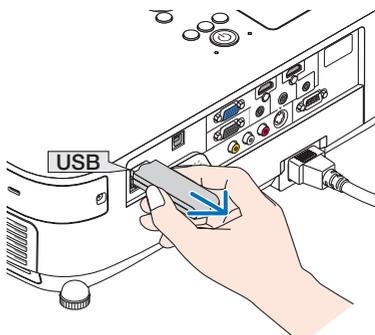
7 本機から USB メモリーを取り外す

ドライブ一覧画面に戻してください。

USBメモリーのアクセシビリティインジケータが点滅していないことを確認してから取り外してください。

注意

- スライドを表示中にUSBメモリーを取り外した場合、本機の動作が不安定になることがあります。その場合は、いったん本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。その後約3分待って、電源コードをコンセントに接続し、本機の電源を入れてください。



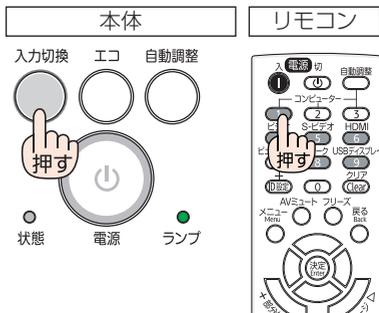
ビューワーを終了する

1 (入力切換)ボタンを押して「ビューワー」以外を選択する。

1回押すと入力選択画面を表示します。

さらに何回か押して「ビューワー」以外にカーソルを合わせます。

- ・ リモコンで操作する場合は「ビューワー」以外の入力を選択してください。



ビューワー画面の名称とはたらき

ビューワー画面には、ドライブ一覧画面、サムネイル画面、スライド画面があります。

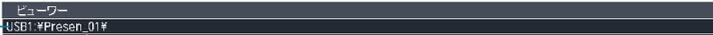


【ドライブ一覧画面】

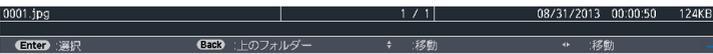


【サムネイル画面】

パス情報



ドライブ情報/ファイル情報



メニューガイド

操作ボタンガイド



【スライド画面】

コントロールバー

※静止画と動画では操作ボタンの内容が異なります。

● ドライブ一覧画面

本機に接続されているドライブを一覧表示します。

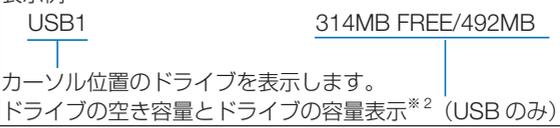
メニューの操作

- 1 (▼▲) ボタンで黄色のカーソルが上下移動します。目的のメニューで(決定) ボタンを押すとサブメニューを開きます。

ドライブ一覧の操作

- 1 (▶) ボタンを押すとカーソルがドライブ一覧へ移動し、黄色枠のカーソルに変わります。(◀▶) ボタンでメニューとドライブ一覧のカーソル移動を行います。(▼▲) ボタンでドライブの種類を選び、(◀▶) ボタンで接続ドライブを選択します。
- 2 目的のドライブにカーソルを合わせて、(決定) ボタンを押すと選択したドライブのサムネイル画面に変わります。

各部の働き

名称	説明
 REFRESH	新たに追加されたメディアサーバーをドライブ一覧に表示します。
 OPTIONS	オプションメニューを開きます。
 SLIDE SETTING	スライドの設定をします。(🔗 98 ページ)
 MOVIE SETTING	動画の設定をします。(🔗 99 ページ)
 AUTO PLAY SETTING	オートデモの設定をします。(🔗 99 ページ)
 SHARED FOLDER	共有フォルダーの設定をします。(🔗 101 ページ)
 MEDIA SERVER	メディアサーバーの設定をします。(🔗 106 ページ)
 RETURN	オプションメニューを閉じます。
 SYSTEM SETTING ※ 1	システム設定のメニュー画面に切り替わります。設定方法は「5-8. アプリケーションメニュー」(🔗 141 ページ)の有線 LAN、無線 LAN、WPS、ネットワーク情報、マウスの各項目をご覧ください。
 USB	本機の USB ポートに接続している USB メモリーをアイコン表示します。
 共有フォルダー	LAN に接続しているコンピューター（共有フォルダー設定済み）のドライブを表示します。最大 4 台まで表示します。 ・本機の共有フォルダーの接続設定は (🔗 101 ページ)
 メディアサーバー	LAN に接続しているコンピューター（メディアサーバー設定済み）のドライブを表示します。最大 4 台まで表示します。 ・本機のメディアサーバーの接続設定は (🔗 104 ページ)
パス情報	フォルダーやファイルのある場所を表示します。
ドライブ情報	表示例 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> USB1 314MB FREE/492MB </div>  カーソル位置のドライブを表示します。 ドライブの空き容量とドライブの容量表示※2 (USB のみ)
メニューガイド	カーソル位置のメニュー説明を表示します。
操作ボタンガイド	操作ボタンの補助説明です。

※ 1：管理者モードのメニューモードで「ベーシックメニュー」に設定しているときはネットワーク情報、マウスの項目を表示します。(🔗 159 ページ)

※ 2：3 桁（端数は切り上げ）で表示します。

注意

- オプションメニューを表示しているときは、ドライブ一覧画面やサムネイル画面は表示されません。表示するには  (RETURN) アイコンにカーソルを合わせて(決定)ボタンを押して、 (OPTIONS) ボタンに戻してください。

●サムネイル画面

ドライブ一覧画面で選択したドライブ内のフォルダーおよびサムネイル／アイコン一覧を表示します。

メニューの操作

(▼▲)ボタンで黄色のカーソルが上下移動します。目的のメニューで(決定)ボタンを押すとメニューまたは設定画面を開きます。

サムネイル画面の操作

- 1 オプションメニューを表示していない状態で(▶)ボタンを押すとカーソルがサムネイル画面へ移動し、黄色枠のカーソルに変わります。
- 2 (▼▲▶)ボタンで目的のファイルまたはフォルダーを選択します。
- 3 目的のファイルにカーソルを合わせて、(決定)ボタンを押すと選択したファイルのスライドの表示や再生を行います。フォルダーを選択したときはフォルダー内のサムネイル画面に変わります。

各部の働き

名称	説明
 UP	1つ上の階層のメニューに戻ります。
 THUMBNAIL ON/OFF	サムネイル表示とアイコン表示を切り替えます。 選択するごとにサムネイル表示とアイコン表示が切り替わります。
 SORT SETTING	フォルダーおよびファイルの並び順の設定をします。(▶ 100 ページ)
 DRIVE LIST	ドライブ一覧画面に戻ります。
 OPTIONS	ビューワのオプションメニューに変わります。
 SYSTEM SETTING	システム設定のメニュー画面を開きます。
スクロールバー	サムネイル画面には横4×縦3の12のファイルまたはフォルダーを画面に表示します。12以上のファイルまたはフォルダーがある場合は、スクロールバーを右に表示します。(ページ▼)または(ページ△)ボタンを押すと表示画面単位で下または上に切り替わります。
パス情報	フォルダーやファイルのある場所を表示します。
サムネイル情報	表示例 カーソル位置のフォルダー名またはファイル名 005jpg 5/200 11/03/2010 13:25:12 502KB フォルダー内のファイル数と順位 (フォルダー選択のみ表示) 作成／変更日時：月／日／年 時／分／秒 ファイル容量表示 (ファイルのみ表示)
メニューガイド	カーソル位置のメニュー説明を表示します。
操作ボタンガイド	操作ボタンの補助説明です。

参考

- サムネイル表示を設定していても画像の表示中はアイコン表示になります。また、画像が表示できないファイルは🔍アイコンで表示します。
- サムネイル画面の最大表示数は300枚です(フォルダー数を含み、表示はフォルダーを優先します)。

- ファイル名やフォルダーのパスが規定の文字数より長い場合は中央の文字やパスを省略して表示します。

例) 123456789.jpg は 123...789.jpg と表示します。



●スライド画面（静止画／動画）

サムネイル／アイコン一覧で選択したファイルを再生します。

- ・本体またはリモコンのボタンで操作します。

コントロールバーの操作

- ・コントロールバーは静止画と動画を選択したときのみ表示します。
- ・静止画と動画はコントロールバーが異なります。

1 スライド画面で(決定)ボタンを押すとコントロールバーを画面下部に表示します。

2 (◀▶)ボタンを押して黄色のカーソルを合わせて、(決定)ボタンを押します。
 選択したボタンの機能が実行されます。

静止画コントロールバー各部の働き



名称	説明	
 PREV	1 つ前の画像に戻ります。 自動切り替え設定をしているときは（以下スライドショーと記載します）、停止状態になります。 ・(▲)、(ページ△)ボタンは同じ動作をします。	
 PLAY	次の画像に進みます。 スライドショーの停止と開始を切り替えます。	
 NEXT	1 つ次の画像に進みます。 ・(▼)、(ページ▽)ボタンは同じ動作をします。	
 RIGHT	画像を 90 度単位で右へ回転します。 ・スライドショーが停止状態のときに選択できます。 ・回転設定はスライドを実行するフォルダーを替えると解除されます。	
 LEFT	画像を 90 度単位で左へ回転します。 ・スライドショーが停止状態のときに選択できます。 ・回転設定はスライドを実行するフォルダーを替えると解除されます。	
サイズ	 BEST FIT	本機の表示可能な最大サイズ（アスペクト比維持）で画像を表示します。
	 ACTUAL SIZE	実サイズで表示します。 ・本機の解像度より小さい画像のみ実サイズで表示されます。
 CLOSE	コントロールバーを閉じます。 ・(戻る)ボタンは同じ動作をします。	
 END	スライドまたはスライドショーを終了し、コントロールバーを閉じてサムネイル画面に戻ります。	

動画コントロールバー各部の働き



名称	説明	
 PREV	動画ファイルの先頭に戻ります。 ・再生してすぐ実行した場合は1つ前の動画ファイルの先頭に戻ります。	
 FR	約7秒間分を巻き戻します。	
再生/停止	 PLAY	動画を再生します。
	 PAUSE	再生を一時停止します。
 FF	約7秒間分を早送りします。	
 NEXT	次の動画ファイルの先頭へ移動します。	
 TIME	再生中または一時停止中に経過時間の表示を行います。 ・ボタンを選択することに表示/非表示を切り替えます。	
サイズ	 BEST FIT	本機の表示可能な最大サイズ（アスペクト比維持）で画像を表示します。
	 ACTUAL SIZE	実サイズで表示します。 ・本機の解像度より小さい画像のみ実サイズで表示されます。
 CLOSE	コントロールバーを閉じます。 ・ 戻る ボタンは同じ動作をします。	
 END	再生を終了し、コントロールバーを閉じてサムネイル画面に戻ります。	

ビューワーオプションの設定

●スライド設定

静止画のスライド画面の設定を行います。



項目名	内容	説明
スクリーンサイズ	最大サイズ	本機の表示可能な最大サイズで画像を表示します。
	実サイズ	実サイズで表示します。 ・ 本機の解像度より小さい画像のみ実サイズで表示されます。
再生モード	手動	スライド切り替えを手動で行います。
	自動	スライド切り替えを表示間隔で設定した時間で切り替えます。
表示間隔	5 秒～ 300 秒	オートデモするときのスライドの切り替え間隔を設定します。 5 秒～ 300 秒まで 1 秒刻みで設定できます。 ※スライド表示完了から次のスライド読み込み開始時間の設定です。たとえば 5 秒の設定でスライド表示に 4 秒かかると 9 秒後に切り替わります。
繰り返し	<input type="checkbox"/> (オフ)	—
	<input checked="" type="checkbox"/> (オン)	サムネイル画面内の画像ファイルを繰り返し再生します。 ※使用する画像を 1 つのフォルダーに保存しておくこと、フォルダー内の画像を繰り返し再生できます。

参考

- 複数のスライドを再生する場合は、ファイルをフォルダーに入れてください。また、スライドに表示の順番がある場合は、ファイル名を名前(昇順)にしてください。たとえば、001.jpg、002.jpg、……、010.jpg のようにファイル名を付けると 001 画面から順に切り替えていきます。

●動画設定

動画の再生設定を行います。



項目名	内容	説明
スクリーンサイズ	最大サイズ	本機の表示可能な最大サイズで画像を表示します。
	実サイズ	実サイズで表示します。 ・ 本機の解像度より小さい画像のみ実サイズで表示されます。
繰り返し	切	—
	1つのファイル	選択している動画ファイルを繰り返し再生します。
	すべて	フォルダー内（ドライブ内）すべての動画ファイルを順次再生して、再生を繰り返します。

参考 ● 動画を繰り返し設定しているとき、動画と動画の間は黒画面になります。

●自動再生設定

本機のUSBポートにUSBメモリーを挿したとき、または入力をビューワーに切り替えたときに、再生を自動で開始するための設定です。



項目名	内容	説明
自動再生	切	—
	静止画	ドライブ内で最初に見つけた静止画を再生します。 ※再生モードを自動に設定していると自動でスライドショーを開始します。
	動画	ドライブ内で最初に見つけた動画を再生します。

参考 ● USBメモリーを挿したときと、入力をビューワーに切り替えたときとで、オートデモの動作が異なります。
USBメモリーを挿したときは、自動再生設定と種類の一致するファイルをドライブのルート以下を検索して最初に見つけたファイルを自動再生します。
入力をビューワーに切り替えたときは、直前に表示/選択していたファイルが存在する場合は、当該ファイルを自動再生します。または直前に表示していたフォルダー内を検索して最初に見つけた種類の一致するファイルを自動再生します。

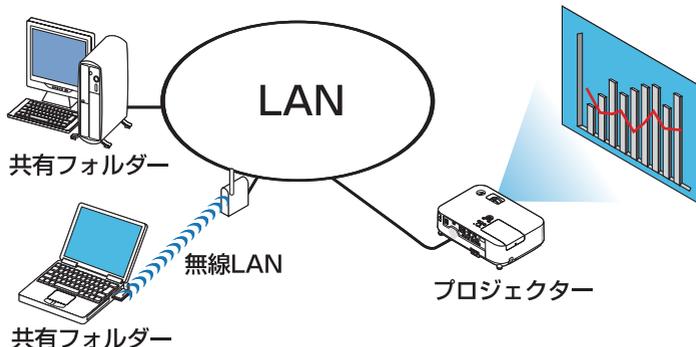
並び順設定

ドライブ内のサムネイル画面の表示順、およびスライド画面での画像の表示順を並び替えます。



項目名	内容	説明
並び順	名前 (ABC..)	ファイル名の昇順
	名前 (ZYX..)	ファイル名の降順
	種類 (ABC..)	拡張子の昇順
	種類 (ZYX..)	拡張子の降順
	日付 (新)	作成日時の新しい順
	日付 (旧)	作成日時の古い順
	サイズ (大)	ファイル容量に大きい順
	サイズ (小)	ファイル容量に小さい順

4-4. 共有フォルダーのファイルを投写する



準備：

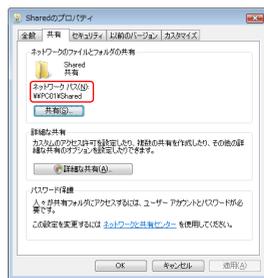
(本機の準備)

本機を LAN へ接続してください。

(コンピューターの準備)

投写する画像・動画を共有するフォルダーへ入れて、フォルダーのパスを確認してください。

- ・ フォルダの共有設定については、お使いの Windows の取扱説明書またはヘルプファイルをご覧ください。
- ・ 共有するフォルダーは英数字で名前を付けてください。本機の文字入力画面は、日本語入力に対応していません。
- ・ サブネットを越えた共有フォルダーへの接続は、[ネットワーク設定] の [WINS 設定] を行ってください。
- ・ 通信のデジタル署名 (SMB 署名) には対応していません。



●本機から共有フォルダーへ接続する

1 ビューワー入力に切り替える。

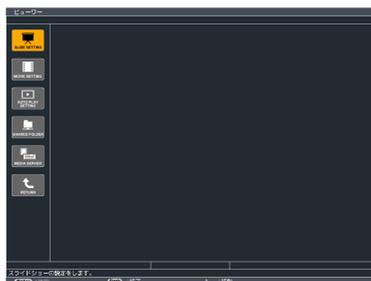
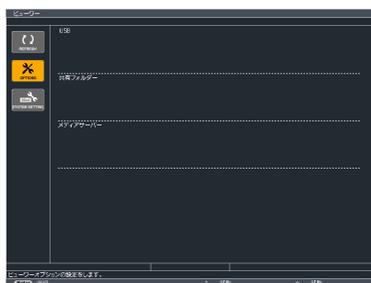
リモコンの**ビューワー**ボタンを押すとドライバー覧画面を表示します。

- ・ 本体で操作する場合は、**入力切換**ボタンを数回押して、「ビューワー」を選択してください。
(▶89 ページ)

2 OPTIONS メニューに切り替える。

▼ボタンを押して **OPTIONS** アイコンにカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押すと OPTIONS メニューに変わります。

- ・ OPTIONS メニューのときドライバー覧画面は表示されません。そのときは、[RETURN] アイコンにカーソルを合わせて、**決定**ボタンを押して上のメニューへ戻してください。



4

ビューワーを使う

3 共有フォルダー設定画面を開く。

▼ ボタンを押して  (SHARED FOLDER) アイコンにカーソルを合わせて、(決定)ボタンを押すと「共有フォルダー」設定画面が表示されます。



4 フォルダー番号を選び、有効に設定する。

◀▶ ボタンを押してフォルダー番号を選択し、▼ ボタンを押して有効欄にカーソルを合わせて、(決定)ボタンを押します。チェックボックスにチェックが入り接続が有効になります。



5 コンピューターの共有フォルダーのパス、ユーザー名、パスワードを入力する。

▼ ボタンを押して共有フォルダー欄にカーソルを合わせて、(決定)ボタンを押します。文字入力画面を表示します。

操作方法は111ページをご覧ください。

同じようにユーザー名欄およびパスワード欄も入力します。

- コンピューターにパスワードを設定していない場合はパスワードの入力は不要です。
- 最大で4つの共有フォルダーを追加できます。
- 共有フォルダーのパス（フォルダーのある位置）は、コンピューター名が15文字、フォルダー名が23文字までです（英文字のみ）。小文字や特殊文字はソフトウェアキーボードのMODEで切り替えます。



6 設定を終わる。

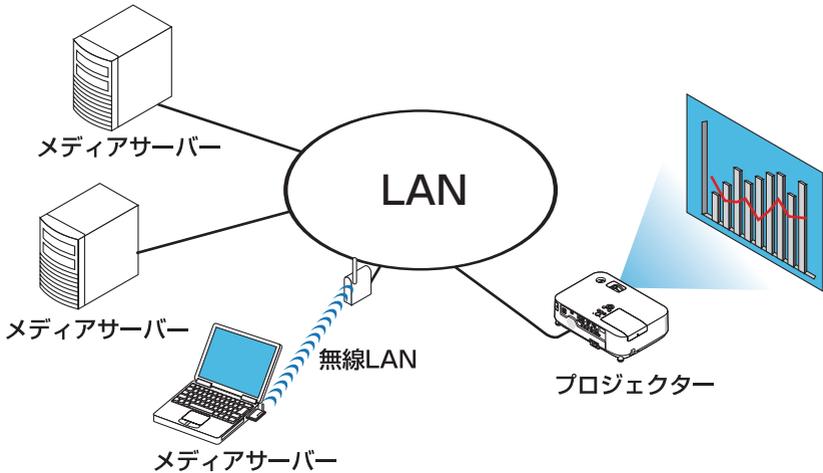
▼ ボタンを押して[確定]にカーソルを合わせて、(決定)ボタンを押します。共有フォルダー設定画面が閉じます。

- エラーメッセージを表示した場合は設定が間違っています。(決定)ボタンを押すと表示を閉じ、間違っている入力欄にカーソルが置かれます。入力しなおしてください。



ビューワー画面各部の名称および操作の詳細は「4-3. ドライブに保存したファイルを投写する」(89ページ)をご覧ください。

4-5. メディアサーバーの画像や動画を投写する



準備：

(本機の準備)

本機を LAN へ接続してください。

(コンピューターの準備)

投写する画像・動画を準備し、Windows Media Player 11 (または Windows Media Player 12) の [メディアの共有] を設定してください。

注意

- プロジェクターは、メディアサーバーと同一サブネット上にある必要があります。サブネットを越えたメディアサーバーへの接続はできません。
- 共有される静止画や動画の種類は Windows のバージョンによって異なる場合があります。

● Windows Media Player 11 で「メディアの共有」を設定する

1 Windows Media Player 11 を起動する。

2 [ライブラリ] から [メディアの共有(S)] を選択する。

[メディアの共有] 設定画面が表示されます。



3 [メディアを共有する(S)] にチェックマークを入れて [OK] を選択する。

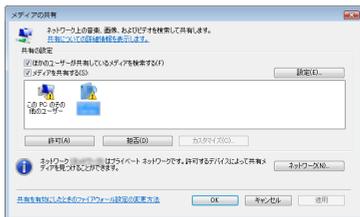
接続を許可する外部機器の選択画面が表示されます。



4 [X5371N/WX5361N] を選択して [許可(A)] を選択する。

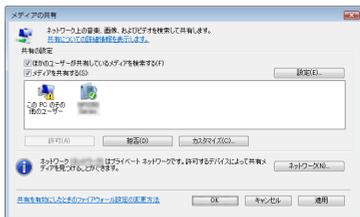
[X5371N/WX5361N] のアイコンにチェックマークが入ります。

・表示される [X5371N/WX5361N] は、[ネットワーク設定] の [プロジェクター名] です。



5 [OK] を選択する。

[ライブラリ] の画像や動画のファイルが本機から利用できるようになります。



● Windows Media Player 12でメディアの共有を設定する

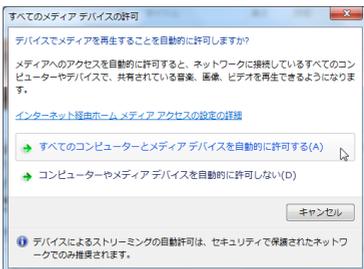
1 Windows Media Player 12 を起動する。

・ここでは例としてネットワーク設定が「ホームネットワーク」に設定されている場合にについて説明します。



2 [ストリーム] から [デバイスでのメディア再生を自動的に許可(A)] を選択する。

[すべてのメディアデバイスの許可] 設定画面が表示されます。



3 [すべてのコンピューターとメディアデバイスを自動的に許可する(A)] を選択する。

[ライブラリ] の画像や動画のファイルが本機から利用できるようになります。

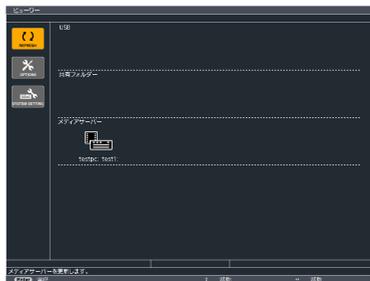


●本機からメディアサーバーへ接続する

1 リモコンの(ビューワー) ボタンを押す。

ビューワー画面が表示されます。

- 本体で操作する場合は、(入力切換) ボタンを数回押して、「ビューワー」を選択してください。
(▶89 ページ)
- ネットワーク内の「メディアの共有」を設定したコンピューターを検索して、ドライブ一覧画面のメディアサーバー欄へ追加します。メディアサーバーの接続を切断(無効)しているときは下記の手順3の操作で(決定) ボタンを押してください。チェックボックスにチェックが入り有効になります。その後、(リフレッシュ) (REFRESH) にカーソルを合わせて(決定) ボタンを押してください。



注意

- ネットワーク上で接続可能なメディアサーバーを自動検索して、検出された先着4サーバーまでを表示します。5台目以降は表示されません。

ビューワー画面各部の名称および操作の詳細は「4-3. ドライブに保存したファイルを投写する」(▶89 ページ) をご覧ください。

● 本機とネットワークのメディアサーバーを切断する

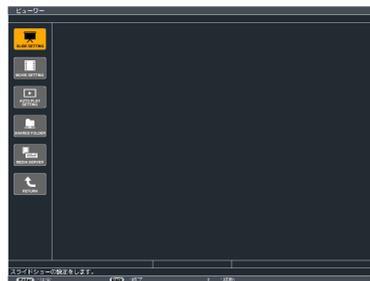
1 OPTIONS メニューに切り替える

(▼) ボタンを押して (OPTIONS) アイコンにカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押すと OPTIONS メニューに変わります。



2 メディアサーバー設定画面を開く

(▼) ボタンを押して (MEDIA SERVER) アイコンにカーソルを合わせて、(決定) ボタンを押すと「メディアサーバー」設定画面が表示されます。



3 接続を無効にする

(決定) ボタンを押すとチェックボックスのチェックが外れて無効に設定されます。

(▼) ボタンを押して [確定] にカーソルを合わせて、(決定) ボタンを押します。メディアサーバー設定画面が閉じます。



5. オンスクリーンメニュー

5-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

オンスクリーンメニュー画面の構成

メニューを表示するには(メニュー)ボタンを押します。また、メニューを消す場合は(戻る)ボタンを押します。

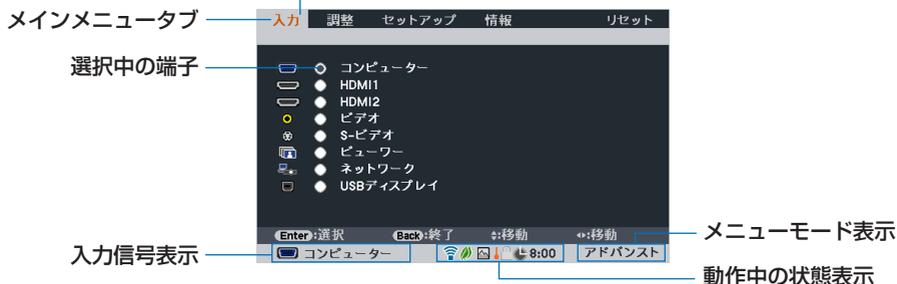
ここでは、メニューを操作しながら、メニュー画面の構成や各部の名称を説明します。

準備：本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

1 (メニュー)ボタンを押す。

ご購入後、はじめて操作したときは入力のメニューが表示されます。

カーソル(黄色の部分)



無線 LAN ユニットの動作中、ランプパワー設定、ファンモードの「高地」設定、強制エコモード、本体キーロック中、8:00 オフタイマーの残り時間のアイコン

2 (▶)ボタンを1回押す。

カーソルが「調整」に移動し、調整のメニューが表示されます。

カーソル

調整バー



3 (▼/▲) ボタンを押す。

カーソルが上下に移動し、調整項目を選択することができます。

4 「明るさ」にカーソルを合わせ、(◀/▶) ボタンを押す。

画面の明るさが調整されます。

- ・ 「 (選択可能マーク)」が付いている項目は (◀/▶) ボタンで設定を切り替えることができます。

「 (選択可能マーク)」が付いていない項目の設定を行う場合は、その項目にカーソルを合わせ (決定) ボタンを押します。

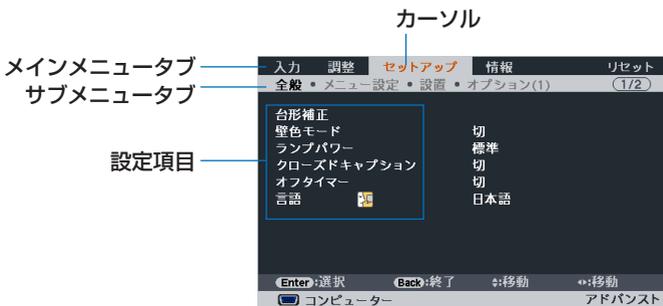
- ・ 調整項目内のリセットにカーソルを合わせ (決定) ボタンを押すと、映像の調整や設定を工場出荷状態に戻します。

5 (戻る) ボタンを 2 回押す。

カーソルがメインメニュータブの調整に移動します。

6 (▶) ボタンを 1 回押す。

カーソルがセットアップに移動し、セットアップのメニューが表示されます。



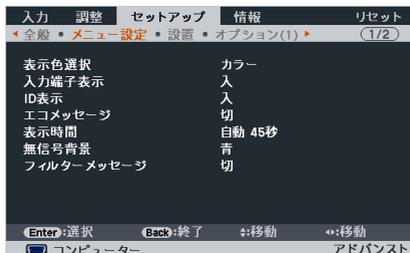
7 (決定) ボタンを押す。

全般にカーソルが移動します。

- ・ セットアップには全般、メニュー設定、設置、オプション (1)、オプション (2) という 5 つのサブメニュータブがあります。(◀/▶) ボタンで選択します。

8 (▶) ボタンを 1 回押して「メニュー設定」にカーソルを合わせる。

メニュー設定のメニューに切り替わります。



- 9 (▼) ボタンを押して「無信号背景」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。
無信号背景選択画面が表示されます。
- ・ 無信号背景とは、無信号時に表示される画面のことです。



- 10 (▼▲) ボタンを押して「青」、「なし」、「ロゴ」のいずれかにカーソルを合わせる。
- 11 選択したい項目にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。
無信号背景が設定されます。
- ・ 選択を取り消す場合は、(戻る) ボタンを押します。
- 12 (メニュー) ボタンを1回押す。
メニューが消えます。

注意 ● 入力信号や設定内容によっては、メニューの一部の情報が欠ける場合があります。

調整画面、設定画面の操作例

●ラジオボタンの選択

選択肢の中から1つ「」を選びます。

【例1】「壁色モード」の選択

セットアップ→全般→壁色モード



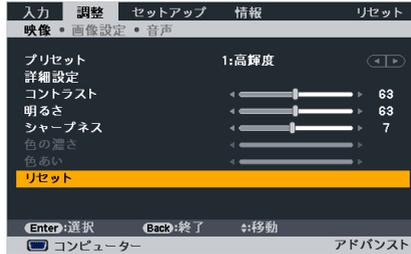
- 1 (▼▲) ボタンを押す。
選択されているマーク「」が移動します。
- 2 選択する項目に「」を移動したら、(決定) ボタンを押す。

●実行ボタン

機能を実行します。

実行ボタンを選択して機能を実行すると、サブメニュー画面で **戻る** ボタンを押しても実行を取り消すことができません。

【例 2】調整のリセット



- 1 「リセット」にカーソルが合っていることを確認する。
- 2 **決定** ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。
- 3 実行する場合は、**戻る** ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。
機能が実行されます。
 - 機能を実行しない場合は、確認メッセージで「いいえ」を選択し、**決定** ボタンを押します。

文字入力画面の使い方

入力する項目によって、入力画面が異なります。



【IP アドレスのとき】



【ユーザー名、プロジェクト名、
パスワード入力するとき】



【WEP キー入力するとき】

- 1 文字を入力する項目にカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押す。
文字入力画面を表示します。

文字以外の項目は、次のような動きをします。

- ・ [MODE] 英大文字、英小文字、特殊文字の切り替えを行います。
- ・ [SP] スペースを入力します。
- ・ [BS] カーソルの左側にある 1 文字を消します。
- ・ [<<>] 英数字入力欄のカーソルを左右に移動します。
- ・ [OK] 入力した文字を確認して、文字入力画面を閉じます。
- ・ [CANCEL] .. 入力した文字を取り消して、文字入力画面を閉じます。
- ・ [HEX] 16 進数が入力できる場合に表示され、16 進数入力ができます。

- 2 **▼▲▶◀**ボタンを押して、文字などにカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押す。
文字が入力されます。

- 3 入力が終わったら**▼▲▶◀**ボタンを押して [OK] にカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押す。
入力した文字を確認して、文字入力画面が閉じます。

5-2. オンスクリーンメニュー一覧

以下は、「アドバンスメニュー」の一覧です。「ベーシックメニュー」で表示される項目には「**B**」マークを付けています。

アドバンスメニューとベーシックメニューの選択はアプリケーションメニュー→ツール→管理者モードで選択します。(▶ 159 ページ)

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メニュー		サブメニュー		選択項目	参照ページ	
メインメニュー	入力	—		コンピューター B	115	
				HDMI1 B		
				HDMI2 B		
				ビデオ B		
				S-ビデオ B		
				ビューワー B		
				ネットワーク B		
USBディスプレイ B						
調整	映像	プリセット		1: 高輝度、2: プレゼンテーション、3: ビデオ、4: ムービー、5: グラフィック、6: sRGB、7: 簡易 DICOM	116	
		詳細設定	全般	参照	高輝度、プレゼンテーション、ビデオ、ムービー、グラフィック、sRGB、簡易 DICOM	117
				ガンマ補正※1	ダイナミック、ナチュラル、ソフト	
				スクリーンサイズ※2	大、中、小	
				色温度	5000、6500、7800、8500、9300、10500	
				ダイナミックコントラスト	切、入	
				画面モード	静止画、動画	
				カラーエンハンスメント	オフ、オン	
		ホワイトバランス	コントラスト 赤、コントラスト 緑、コントラスト 青、明るさ 赤、明るさ 緑、明るさ 青	118		
		コントラスト B	118			
		明るさ B				
		シャープネス B				
		色の濃さ B				
		色あい B				
		リセット B	118			
		画像設定	サンプリング周波数	119		
			サンプリング位相			
水平位置						
垂直位置						
オーバースキャン	ノーマル、0[%]、5[%]、10[%]		120			

※ 1: ガンマ補正は、参照で「簡易 DICOM」以外を選択しているときに表示されます。

※ 2: スクリーンサイズは、参照で「簡易 DICOM」を選択しているときに表示されます。

メニュー		選択項目	参照ページ		
メインメニュー	サブメニュー				
調整	画像設定	アスペクト	RICOH PJ X5371N : ノーマル、4:3、16:9、15:9、16:10、ワイドズーム、リアル RICOH PJ WX5361N : ノーマル、4:3、16:9、15:9、16:10、レターボックス、リアル	121	
		信号詳細設定*3		123	
	音声	音量 ^B			
セットアップ	全般	台形補正 ^B	台形補正 水平	-60 ~ +60	124
			台形補正 垂直	-60 ~ +60	
			ピンクッション補正 左端/右端	-20 ~ +20	
			ピンクッション補正 上端/下端	-20 ~ +20	
			4点補正 リセット		
	壁色モード ^B	切、ホワイトボード、黒板、グレー、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、スカイブルー、ライトローズ、ピンク	125		
	ランプパワー ^B	標準、オートエコ、エコ1、エコ2			
	クローズドキャプション	切、CC-1、CC-2、CC-3、CC-4、T-1、T-2、T-3、T-4			
	オフタイマー ^B	切、0:30、1:00、2:00、4:00、8:00、12:00、16:00			
	言語 ^B	ENGLISH、日本語、ESPANOL、РУССКИЙ、FRANÇAIS、PORTUGUÊS、DEUTSCH、ITALIANO、NEDERLANDS、POLSKI、ČEŠTINA、SVENSKA、SUOMI、MAGYAR、NORSK、DANSK、中文(简体字)、العربية、한국어	126		
	メニュー設定	表示色選択	カラー、モノクロ	127	
		入力端子表示	切、入		
		ID表示	切、入		
		エコメッセージ	切、入		
		表示時間	手動、自動5秒、自動15秒、自動45秒	128	
無信号背景		青、なし、ロゴ			
フィルターメッセージ		切、100[H]、500[H]、1000[H]、2000[H]			
設置	設置状態	標準、背面天吊り、背面、天吊り	129		
	本体キーロック	切、入	130		
	セキュリティー	切、入			
	通信速度	4800bps、9600bps、19200bps、38400bps			
	リモコン受光部設定	前側/後側、前側、後側	131		
	コントロールID	コントロールID 番号		1- 254	
		コントロールID		切、入	
	テストパターン		132		
	マイクゲイン	0、1、2、3	143		
	ネットワーク設定				

*3 : RICOH PJ WX5361N は表示されません。

メニュー		選択項目	参照ページ		
メインメニュー	サブメニュー				
セットアップ	オプション (1)	信号オートセット	切、ノーマル、ファイン	132	
		ファンモード	自動、高速、高地	133	
		信号選択	コンピューター		RGB/ コンポーネント、RGB、 コンポーネント
			ビデオ		自動判別、NTSC3.58、NTSC4.43、 PAL、PAL-M、PAL-N、PAL60、SECAM
		S-ビデオ	自動判別、NTSC3.58、NTSC4.43、 PAL、PAL-M、PAL-N、PAL60、SECAM		
		WXGA モード ^{※4}	切、入	134	
		デインターレース	切、入		
		HDMI1 設定	RGB 入力レンジ		自動、標準、フル
		HDMI2 設定	RGB 入力レンジ		自動、標準、フル
		音声入力 選択	HDMI1		HDMI1、コンピューター
	HDMI2		HDMI2、コンピューター		
	ネットワーク		ネットワーク、コンピューター		
	USB ディスプレイ	USB ディスプレイ、コンピューター			
	ビープ音	切、入	159		
	ツール				
	オプション (2)	スタンバイモード	ノーマル、省電力、ネットワークスタンバイ	135	
		電源オン方法	手動、自動	136	
		オートパワーオン (COMP.)	切、入		
		無信号電源オフ	切、5 分後、10 分後、20 分後、30 分後、60 分後		
		初期入力選択	ラスト、自動、コンピューター、HDMI1、 HDMI2、ビデオ、S-ビデオ、ビューワー、 ネットワーク、USB ディスプレイ		
CO ₂ 換算係数					
通貨選択		\$、€、JP ¥、RMB ¥			
電気料金換算係数					
情報	使用時間 [ⓑ]	ランプ残量、ランプ時間、 フィルター使用時間、総 CO ₂ 削減 量、総電気料金削減量	138		
	信号 (1) [ⓑ]	信号名、信号番号、水平同期周波数、 垂直同期周波数、同期形態、同期極 性、走査方式			
	信号 (2) [ⓑ]	信号形式、ビデオモード、色深度、 RGB 入力レンジ			
	有線 LAN	IP アドレス、サブネットマスク、 デフォルトゲートウェイ、MAC アドレス			
	無線 LAN	IP アドレス、サブネットマスク、 デフォルトゲートウェイ、MAC ア ドレス、SSID、通信モード、WEP/ WPA、チャンネル、信号レベル			
	VERSION (1) [ⓑ]	FIRMWARE、DATA			
	VERSION (2) [ⓑ]	FIRMWARE2			
	その他 [ⓑ]	プロジェクター名、MODEL NO.、 SERIAL NUMBER、 LAN UNIT TYPE、コントロール ID ^{※5}			
リセット	—	表示中の信号	140		
	—	全データ			
	—	ランプ時間クリア			
	—	フィルター時間クリア			

※4：RICOH PJ WX5361N は、「入」が工場出荷時の値です。

※5：コントロール ID はコントロール ID を設定しているときに表示されます。

5-3. 入力



入力端子を選択する

投写する入力端子を選択します。

現在選択されている入力端子には「●」(ドット)を表示します。

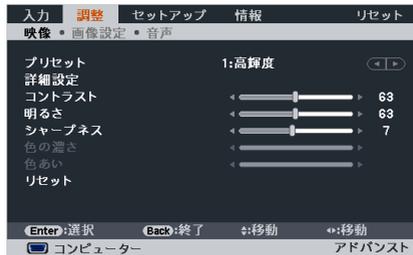
コンピューター	コンピューター映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDMI1	HDMI 1 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDMI2	HDMI 2 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
S-ビデオ	S-ビデオ映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
ビューワー	本機にセットした USB メモリーのデータを投写します。
ネットワーク	LAN ポート (RJ-45) または本体に装着している無線 LAN ユニットを介してコンピューターから送られてくるデータを投写します。
USB ディスプレイ	USB (PC) ディスプレイ端子に接続しているコンピューターの画面を投写します。

参考

- コンポーネント入力信号をコンピューター映像入力端子に接続している場合は、コンピューターを選択してください。
コンピューター映像入力端子の入力信号は、コンピューター信号とコンポーネント信号を自動的に判別します。

5-4. 調整

映像



●プリセット

投写した映像に最適な設定を選択します。

鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。本機の工場出荷時は、プリセット項目1～7に、あらかじめ次の設定がされています。また、詳細設定でお好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値をプリセット項目1～7に登録できます。

1：高輝度	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
2：プレゼンテーション	PowerPointなどでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
3：ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
4：ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
5：グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
6：sRGB	sRGBに準拠した色が再現されます。
7：簡易 DICOM	医療業界で用いられている DICOM 規格に近似した設定にします。

注意

- 本機の「簡易 DICOM」は、DICOM 規格に近似した映像に調整する設定であり正しく投写できない場合があります。そのため「簡易 DICOM」は教育用途のみに使用し、実際の診断には使用しないでください。

参考

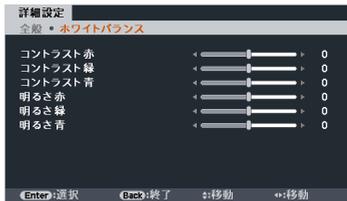
- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、コンピューターやディスプレイ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年に Hewlett-Packard社と Microsoft社が策定し、1999年に IECの国際規格となりました。
- 「簡易 DICOM」の DICOM（ダイコム）は、医療用画像の保存や通信に用いられている世界標準規格の名称です。コンピューター断層撮影（CT）、磁気共鳴映像法（MRI）や内視鏡などの診療で用いられています。

● 詳細設定

お客様のお好みに調整した設定にします。

調整値を登録するには、プリセット項目 1～7 のいずれかを選択し、「詳細設定」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押します。

ガンマ補正、スクリーンサイズ、色温度、ダイナミックコントラスト、画面モード、ホワイトバランスの項目について、細かな設定ができます。



全般 — 参照

詳細設定のもとになるモードを選択します。

全般 — ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ナチュラル	標準的な設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

注意

- 詳細設定で「簡易 DICOM」を選択した場合は、ガンマ補正は設定できません。

全般 — スクリーンサイズ

投写画面のサイズに応じた適切なガンマ補正を行います。

大	150 型前後のサイズのときに選択します。
中	100 型前後のサイズのときに選択します。
小	50 型前後のサイズのときに選択します。

注意

- 詳細設定で「簡易 DICOM」を選択した場合のみ設定できます。

全般 — 色温度

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。

高い数値の色温度は青みがかった白になり、低い数値の色温度は赤みがかった白になります。

注意

- 詳細設定で「高輝度」および「プレゼンテーション」を選択した場合、色温度は選択できません。

全般 — ダイナミックコントラスト

「入」に設定すると、最適なコントラスト比に調整します。

全般 — 画面モード

投写する映像が静止画の場合、またはアニメーションなどの動きのある映像の場合に応じて、最適な画面のモードに設定します。

注意

- 画面モードは、プリセット項目の「高輝度」を選択しているときのみ設定できます。

全般 — カラーエンハンスメント

「オン」に設定すると、色が鮮やかになります。

注意

- 参照で「プレゼンテーション」を選択した場合のみ設定できます。

ホワイトバランス

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

明るさ 赤 明るさ 緑 明るさ 青	映像の黒色を調整します。
コントラスト 赤 コントラスト 緑 コントラスト 青	映像の白色を調整します。

注意

- ホワイトバランスを操作した場合は、色温度の数値と実際の色合いが異なります。

● **コントラスト／明るさ／シャープネス／色の濃さ／色あい**
スクリーンに投写している映像の調整を行います。

コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
色の濃さ	色を濃くしたり、淡くします。
色あい	赤みがかかった映像にしたり、緑がかかった映像にします。

注意

- 各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

入力信号	コントラスト	明るさ	シャープネス	色の濃さ	色あい
コンピューター/HDMI (RGB)	○	○	○	×	×
コンピューター/HDMI (コンポネント)	○	○	○	○	○
USB ディスプレイ	○	○	○	×	×
ビデオ、S-ビデオ	○	○	○	○	○
ビューワー、ネットワーク	○	○	○	×	×

(○：調整可、×：調整不可)

●リセット

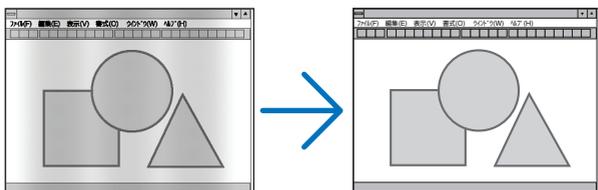
「映像」の調整および設定を工場出荷状態に戻します。プリセットの番号、およびそのプリセット内の参照はリセットされません。現在選択されていないプリセットの詳細設定もリセットされません。

画像設定



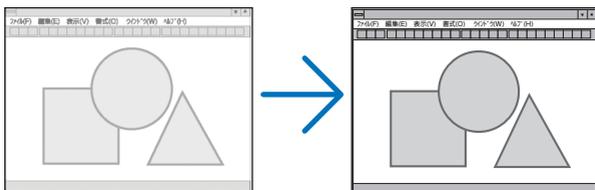
●サンプリング周波数

画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。



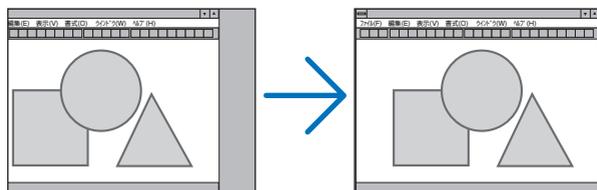
●サンプリング位相

画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。



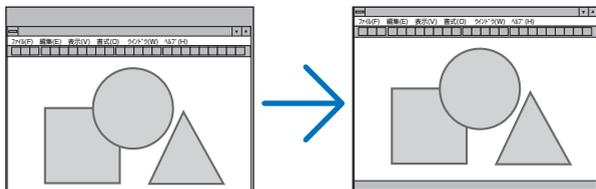
●水平位置

画面を水平方向に移動します。



●垂直位置

画面を垂直方向に移動します。

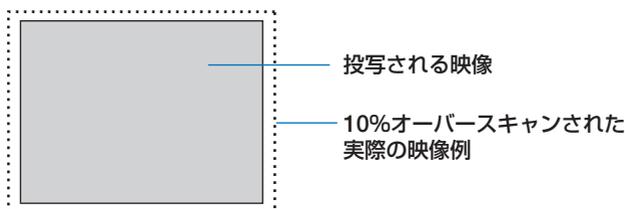


注意

- サンプル周波数、サンプル位相を調整中に画面が乱れることがありますが故障ではありません。
- サンプル周波数、サンプル位相、水平位置、垂直位置を調整すると、そのとき投写している信号に応じた調整値として本機に記憶します。そして、次回同じ信号(解像度、水平・垂直走査周波数)を投写したとき、本機に記憶している調整値を自動的に呼び出して設定します。
本機に記憶した調整値を消去する場合は、オンスクリーンメニューのリセット→「表示中の信号」または「全データ」を行ってください。
- 入力信号によっては、水平、垂直の調整ができない場合があります。

●オーバースキャン

オーバースキャン(画面周囲のフレーム部分をカットする処理)の割合を設定します。



注意

- アスペクトが「リアル」のときは選択できません。
- ビデオ入力およびS-ビデオ入力時は0[%]を選択できません。
- 入力信号によっては、オーバースキャン機能を使用できない場合があります。
- HDMI1またはHDMI2入力時、出力機器側での設定変更を正しく認識できないことがあります。
その場合は、本機においてHDMI 1またはHDMI 2入力端子を選択しなおしてください。

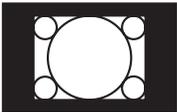
●アスペクト

画面の縦横の比率を選択します。

本機は、入力された信号を自動的に判別して最適なアスペクト比を選択します。

・コンピューターの主な解像度とアスペクト比は次のとおりです。

解像度	アスペクト比
VGA 640 × 480	4 : 3
SVGA 800 × 600	4 : 3
XGA 1024 × 768	4 : 3
WXGA 1280 × 768	15 : 9
WXGA 1280 × 800	16 : 10
WXGA+ 1440 × 900	16 : 10
SXGA 1280 × 1024	5 : 4
SXGA+ 1400 × 1050	4 : 3
UXGA 1600 × 1200	4 : 3
WUXGA 1920 × 1200	16 : 10

選択項目	説明
ノーマル	入力信号のアスペクト比を自動判別して投写します。(▶次ページ) 入力信号によっては、アスペクト比を誤判別することがあります。 誤判別したときは、以下の項目から適切なアスペクト比を選択してください。
4 : 3	4 : 3のサイズで投写します。
16 : 9	16 : 9のサイズで投写します。
15 : 9	15 : 9のサイズで投写します。
16 : 10	16 : 10のサイズで投写します。
ワイドズーム (RICOH PJ X5371N)	映像を左右に引き伸ばして投写します。映像の左端と右端は表示されません。
レターボックス (RICOH PJ WX5361N)	レターボックスの信号が適切に投写されるように縦方向、横方向を均等に拡大して投写します。映像の上端と下端は表示されません。
リアル	コンピューター入力信号の解像度が本機の解像度よりも小さいときに、コンピューター入力信号の解像度のまま投写します。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>【例 1】 RICOH PJ X5371N に、解像度が 800 × 600 の信号を入力したとき</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 60%;"> <p>【例 2】 RICOH PJ WX5361N に、解像度が 800 × 600 の信号を入力したとき</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  </div> </div> <div style="margin-top: 10px; background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コンピューター以外の信号を投写しているときは「リアル」は選択できません。 ● コンピューター入力信号の解像度が本機の解像度以上のときは「リアル」は選択できません。 </div>



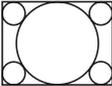
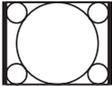
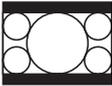
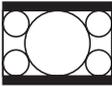
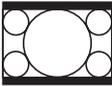
注意

- 入力信号によっては、アスペクトの機能が使用できない場合があります。

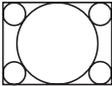
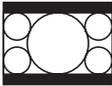
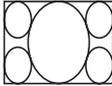
【例】アスペクト比を適切に自動判別したときの画面イメージ

RICOH PJ X5371N の場合

コンピューター信号のとき

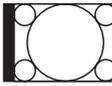
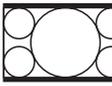
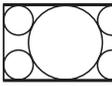
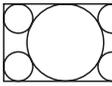
入力信号の アスペクト比	4:3	5:4	16:9	15:9	16:10
適切に自動判別した ときの画面イメージ					

ビデオ信号のとき

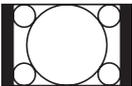
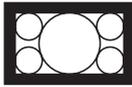
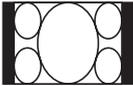
入力信号の アスペクト比	4:3	レターボックス	スクイーズ
自動判別したときの 画面イメージ			 (注) スクイーズを適切に投写する には「16:9」または「ワイドズーム」 を選択してください。

RICOH PJ WX5361N の場合

コンピューター信号のとき

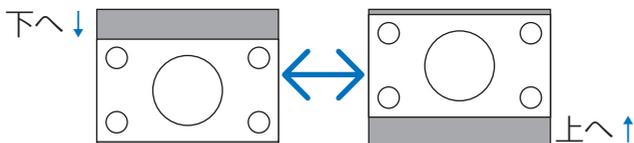
入力信号の アスペクト比	4:3	5:4	16:9	15:9	16:10
適切に自動判別した ときの画面イメージ					

ビデオ信号のとき

入力信号の アスペクト比	4:3	レターボックス	スクイーズ
自動判別したときの 画面イメージ		 (注) レターボックスを適切に投写するには「レターボックス」を選択してください。	 (注) スクイーズを適切に投写するには「16:9」を選択してください。

●信号詳細設定

アスペクトで「16:9」、「15:9」、または「16:10」を選択しているとき、表示領域の垂直位置を調整します。



注意

- RICOH PJ WX5361NIには、この機能はありません。

参考

- ビデオ映像の標準アスペクト比 4:3 より横長の映像を、「レターボックス」と呼びます。映画フィルムのビスタサイズ 1.85:1 やシネマスコープ 2.35:1 のアスペクト比があります。
- アスペクト比 16:9 の映像を横方向にスクイーズ(圧縮)して 4:3 にした映像を「スクイーズ」と呼びます。

音声



●音量

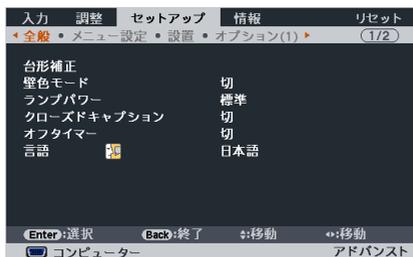
本機の内蔵スピーカーの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

参考

- 音量は、本体操作部の(◀▶)ボタン、およびリモコンの(音量 +/-)ボタンでも調整できます。

5-5. セットアップ

全般



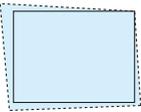
●台形補正

投写画面の歪みを補正するのが台形補正です。



補正は、台形補正 水平と台形補正 垂直（同時調整可）、ピンクッション補正 左端 / 右端、ピンクッション補正 上端 / 下端、4点補正のいずれかの補正が選択できます。選択すると調整できない補正はグレイ表示になります。他の補正を行うときはリセット操作を行ってください。

台形補正 水平	スクリーンに対してプロジェクターを斜横方向から投写しているときの調整です。 (▶ 44 ページ)	
台形補正 垂直	スクリーンに対してプロジェクターを上または下向きから投写しているときの調整です。 (▶ 44 ページ)	
ピンクッション補正 左端 / 右端	投写画面の左端と右端のわん曲歪みを調整します。(▶ 57 ページ)	
ピンクッション補正 上端 / 下端	投写画面の上端と下端のわん曲歪みを調整します。(▶ 57 ページ)	

4点補正	投写画面の四隅を選択してスクリーンに合わせる調整方法です。(🔗 57 ページ)	
リセット	上記全ての調整値がリセットされ、初期値に戻ります。(🔗 45, 57 ページ)	

注意

- 台形補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。
- 調整を行うと調整値は上書きされます。電源を切っても調整値を保持しています。

参考

- 4点補正および台形補正での調整範囲は次のとおりです。

	水平方向	垂直方向
4点補正	最大 ±約 30 度	最大 ±約 30 度
台形補正		

上記の最大調整範囲の条件（以下のすべてを満たす場合）

- レンズシフトの位置がセンターの場合。
レンズシフトを使用し、センターでない場合は調整範囲が増減します。
- ズームレバーをワイド側に最大にした場合。

●壁色モード



映像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。

注意

- 「ホワイトボード」を選択すると、明るさが低下します。

●ランプパワー

ランプパワーを設定すると、本機の CO₂ 排出量（消費電力削減量より換算）を削減することができます。ランプパワーは主にランプの輝度を下げて消費電力を削減します。このためにランプ交換時間（目安）*を延ばすことにもなります。(🔗 52, 139 ページ)

*保証時間ではありません。

●クローズドキャプション

ビデオ信号、S-ビデオ信号にクローズドキャプション信号が含まれている場合に字幕や文字を画面に表示します。

切	表示しません。
CC-1～4、T-1～4	選択した字幕や文字を表示します。

注意

- 次の状態のときクローズドキャプションは表示されません。
 - ・ オンスクリーンメニュー表示中
 - ・ メッセージ表示中
 - ・ (部分拡大 +/-) ボタンによる画面拡大中
 - ・ (フリーズ) ボタンによる静止画中
 - ・ (AVミュート) ボタンによる映像と音声の消去中
- 台形補正で極端に補正をかけた場合、補正の組み合わせによっては、クローズドキャプションの文字が画面からはみ出すことがあります。
はみ出したときは画面におさまるように調整してください。

参考

- クローズドキャプションは、アメリカで聴覚に障害を持つ人々のために、ビデオ信号などを画面に投写する際、音声情報を字幕や文字で表示する技術です。

●オフタイマー

オフタイマーを設定しておくで、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。設定した時間後に本機の電源が切れます (スタンバイ状態になります)。

オフタイマーを設定するとオンスクリーンメニュー下部には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。また、オフタイマー動作時は電源インジケータの青色が長い点滅になります。

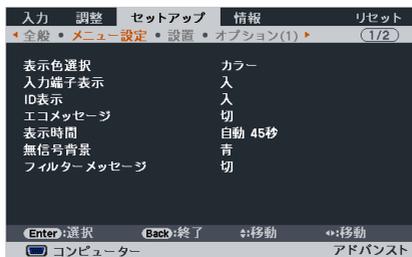
●言語

メニューに表示される言語を選択します。

参考

- 言語は、リセットを行っても変更されません。

メニュー設定



●表示色選択

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選択します。

●入力端子表示

画面右上に入力端子を表示するか、しないかを選択します。

「入」を選択した場合は、次の表示を行います。

- ・ 入力信号を切り替えたときに、画面右上に「コンピューター」などの入力端子名を表示します。
- ・ 信号が入力されていないときは、画面中央に入力端子の確認を促す無信号ガイダンスが表示されます。ただし、入力でビューワーまたはネットワークを選択しているときは、無信号ガイダンスを表示しません。

●ID表示

複数台のプロジェクターを本機のリモコンやコントロールID機能対応のリモコンを使って操作する場合、リモコンの(ID設定)ボタンを押したときに、コントロールID画面を表示するか、しないかを選択します。設定はコントロールID(▶131ページ)をご覧ください。

●エコメッセージ

本機の電源を入れたときに下の画面のようなエコメッセージを表示するか、しないかを選択します。

エコメッセージは、本機の利用者に省エネをすすめるためのメッセージで、ランプパワーが「標準」の場合はランプパワーを設定するように促します。

ランプパワーを設定しているときのエコメッセージ

表示を消すにはいずれかのボタンを押します。30秒間ボタン操作をしない場合は自動で消えます。



ランプパワーが「標準」のときのエコメッセージ

(決定)ボタンを押すとランプパワー選択画面を表示します。(▶52ページ)

表示を消すには(戻る)ボタンを押します。

- ・ 30秒間ボタン操作をしない場合は自動で消えます。



●表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。

●無信号背景

入力信号がないときの背景色を選択します。

青	背景色が青
なし	背景色が黒
ロゴ	背景に画像を表示

注意

- 無信号背景「ロゴ」を選択していても、入力がUSBディスプレイのときは「青」になります。
- 入力端子表示を「入」にしているときは、無信号背景の設定に関わらず、画面中央に入力端子の確認を促す無信号ガイダンスが表示されます。

参考

- 無信号背景は、リセットを行っても変更されません。

●フィルターメッセージ

本機には、フィルターの清掃時期をお知らせする機能があります。フィルターメッセージで設定した時間を超えると、画面上に「フィルター清掃時期です。」のメッセージが表示されます。

この場合はフィルターの清掃時期ですので、フィルターを清掃してください。清掃のしかたは「7-1. フィルターの清掃」(177 ページ)をご覧ください。

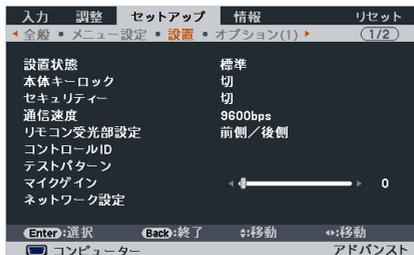
フィルターの汚れかたに応じて、工場出荷時の設定(切)を変更してください。たとえば、フィルターの汚れかたがひどい場合は、設定時間を短くしてこまめに清掃してください。

切	フィルター清掃のメッセージは表示されません。
100[H] / 500[H] / 1000[H] / 2000[H]	設定した時間 (100 時間 / 500 時間 / 1000 時間 / 2000 時間) を超えると、画面上にフィルター清掃のメッセージが表示されません。

参考

- フィルター清掃のメッセージは、電源投入時の1分間、および本機の Ⓢ ボタンまたはリモコンの電源(切)ボタンを押したときに表示されます。電源投入時にフィルター清掃のメッセージを消す場合は、本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。
- フィルターメッセージは、リセットを行っても変更されません。

設置



● 設置状態

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。



天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。
お客様による設置は絶対にしないでください。
落下してけがの原因となります。

標準	<p>テーブルに設置してスクリーンの前面から投写</p>
背面天吊り	<p>天井に設置してスクリーンの背面から投写</p>
背面	<p>テーブルに設置してスクリーンの背面から投写</p>
天吊り	<p>天井に設置してスクリーンの前面から投写</p>

●本体キーロック

プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

切	本体操作部のボタンが働きます。
入	本体操作部のボタンが利かなくなります（ロック）。

注意

- 本体キーロックの解除方法
本体の操作ボタンが「入」に設定されているときに、本体の(戻る)ボタンを約10秒間押しすと、本体キーロックの設定が解除されます。

参考

- 本体キーロック中は、メニュー画面右下に「」アイコンが表示されます。
- 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。

●セキュリティ

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ映像は投写されません。

セキュリティ設定のしかたは「3-6. セキュリティを設定して無断使用を防止する」(▶58 ページ) をご覧ください。

切	セキュリティを無効にします。
入	セキュリティキーワードを設定してセキュリティを有効にします。

参考

- セキュリティは、リセットを行っても解除されません。

●通信速度

PC コントロール端子のデータ転送速度の設定を行います。接続する機器と転送速度を合わせてください。

参考

- 通信速度は、リセットを行っても変更されません。

●リモコン受光部設定

本体前面と後面のリモコン受光部の設定を行います。

前側／後側	前面および後面のリモコン受光部を有効にします。
前側	前面のみのリモコン受光部を有効にします。
後側	後面のみのリモコン受光部を有効にします。

参考

- 本機を天井設置したときなどに、蛍光灯の影響でリモコンが利きづらくなる場合があります。その場合はリモコン受光部設定を変更してみてください。

●コントロール ID

複数台のプロジェクターに ID を割り振り、1 個のリモコンを使用して、ID を切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作することができます。

また、複数台のプロジェクターに同じ ID を設定し、1 個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。

コントロール ID 番号	割り当てる番号を 1 ～ 254 の中から選択します。	
コントロール ID	切	コントロール ID 機能が無効になります。
	入	コントロール ID 機能が有効になります。

注意

- コントロール ID を「入」にすると、コントロール ID 機能に対応していないリモコンからは操作できなくなります（本体操作ボタンは除く）。

参考

- コントロール ID は、リセットを行っても変更されません。
- 本体の **(決定)** ボタンを 10 秒間押し続けると、コントロール ID を解除するメニューが表示されます。

リモコンへの ID の設定／変更方法

- 1 プロジェクターの電源を入れる。
- 2 リモコンの **(ID 設定)** ボタンを押す。
コントロール ID 画面が表示されます。



このとき、現在のリモコン ID で操作できる場合は「動作」、操作できない場合は「非動作」画面が表示されます。

「非動作」になっているプロジェクターを操作したい場合は、手順 **3** でプロジェクターのコントロール ID 番号と同じ番号をリモコンに設定します。

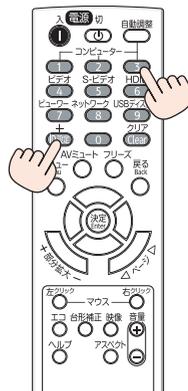
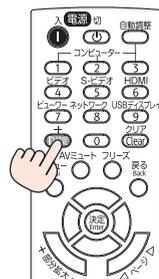
- 3 リモコンの **(ID 設定)** ボタンを押したまま数字ボタンを押して、リモコンの ID を設定する。

たとえば「3」に変更するには数字の 3 を押します。

ID なし（すべてのプロジェクターを一括操作）にするには、000 を入力するか、または **(Clear(クリア))** ボタンを押します。

参考

- リモコンの ID は 1 ～ 254 まで登録できます。



4 (ID設定) ボタンを離す。

コントロール ID 画面が表示されます。

このとき、変更されたリモコン ID で動作・非動作画面が更新されます。

注意

- リモコンの電池が消耗した場合や電池を抜いた場合、しばらくすると ID はクリアされることがあります。
- リモコンの電池を抜いた状態でいずれかのボタンを押してしまうと、設定している ID はクリアされます。

●テストパターン

プロジェクター設置時の画面の歪み状態を確認する際に表示します。

(決定) ボタンを押すとメニュー表示が消えテストパターンを表示します。(戻る) ボタンを押すとテストパターンが消えメニュー画面に戻ります。

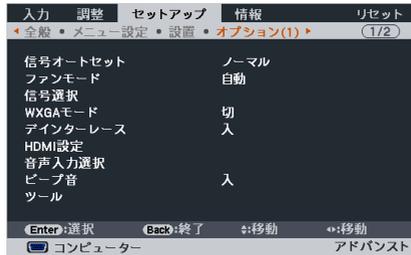
テストパターンを表示しているときはメニュー操作および台形補正 / 4 点補正またはピンクッション補正はできません。台形歪みやピンクッションを調整するときは、テストパターンを消してから行ってください。

●マイクゲイン

マイクを使用するときに、マイクの感度に合わせて調整します。

マイクの音量は、本体またはリモコンの音量調整ボタンで調整できます。

オプション (1)



●信号オートセット

調整されていないコンピューター入力信号に切り替わったときに、表示位置と画素のずれについて調整方法を設定します。

切	自動調整を行いません。 (自動調整) を押して表示を調整してください。 または、オンスクリーンメニューを表示して、サンプリング周波数やサンプリング位相を調整してください
ノーマル	簡易的な自動調整を行います。
ファイン	より精密な自動調整を行います。 「ノーマル」よりも処理時間がかかるため、信号を切り替えたあとと映像が表示されるまで時間がかかります。

参考

- 工場出荷時は「ノーマル」に設定されています。
- (自動調整) を押したときは、「ファイン」と同じ調整処理を行います。

●ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

自動	本機内部の温度センサーにより、適切な速度で回転します。
高速	常に高速で回転します。
高地	標高約 1700m 以上の高地など気圧の低い場所で本機を使用する場合には選びます。本機内部の温度センサーにより、気圧の低い場所での適切な速度で回転します。

注意

- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」に設定してください。
- 標高約 1700m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- ファンモードを「高地」に設定しないまま、標高約 1700m 以上の高地で本機を使用した場合、温度プロテクターが動き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、ランプ消灯後ランプの温度が上昇するため、温度プロテクターが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。
- 「高地」を選択した状態のまま本機を低地（標高約 1700m 未満）で使用すると、ランプが冷えすぎて画面がちらつくことがあります。
- 高地で使用すると、光学部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。
- ファンモードは、リセットを行っても変更されません。

参考

- 「高地」を選択するとオンスクリーンメニュー下部にアイコンが表示されます。

●信号選択

各映像入力端子について入力信号を設定します。

コンピューター	DVD プレーヤーなどのコンポーネント信号を、コンピューター映像入力端子に専用ケーブルで接続する場合には選択します。
ビデオ S-ビデオ	NTSC や PAL など、国によって異なるテレビジョン映像信号方式を選択します。 工場出荷状態は「自動判別」に設定されています。プロジェクターが自動的に判別できない信号のときに設定します。 注意 入力信号と異なる信号方式を手動で選択したときは、映像が表示されません。

●WXGA モード

「入」にすると、入力信号を認識する際、ワイド信号（WXGA:1280 × 768 ドット / WUXGA:1920 × 1200 ドット）を優先します。

WXGA モードを「入」に設定しているとき、XGA（1024 × 768 ドット）信号または UXGA（1600 × 1200 ドット）信号を入力すると、正しく認識されない場合があります。その場合は WXGA モードを「切」にしてください。

参考

- RICOH PJ WX5361N は、工場出荷時の設定が「入」になっています。
RICOH PJ X5371N は、工場出荷時の設定が「切」になっています。

● デインターレース

ビデオや DVD など標準画質映像 (480i または 575i 信号) および HDTV (1080i 信号) のときにインターレース信号の映像のちらつきを低減させます。

注意

- 動画信号によっては、映像にギザギザが目立つ場合があります。このようなときは「切」に設定してください。
- HDTV (プログレッシブ)、コンピューター入力信号のときは選択できません。
- 接続する機器によっては、選択できない場合があります。

● HDMI1/HDMI2 設定

本機の HDMI 1 入力端子および HDMI 2 入力端子と外部機器とを接続した場合の映像信号レベルの選択です。

HDMI1	RGB 入力レンジ	自動	信号を出力する機器の情報をもとにビデオレベルを自動的に切り替えます。 接続している機器によっては正しく設定できない場合があります。その場合は、メニューで「標準」または「フル」に切り替え最適状態状態で視聴してください。
		標準	拡張を無効にします。
		フル	映像のコントラストが向上し、暗部および明部がよりダイナミックに表現されます。
HDMI2	RGB 入力レンジ	自動	HDMI1 と同じ機能です。
		標準	
		フル	

注意

- HDMI1 または HDMI2 入力時、出力機器側での設定変更を正しく認識できないことがあります。その場合は、本機において HDMI 1 または HDMI 2 入力端子を選択しなおしてください。

● 音声入力選択

本機の HDMI 1 入力端子、HDMI 2 入力端子、USB(PC)ディスプレイ端子とネットワーク接続した場合の音声入力の選択です。

HDMI1	HDMI1	HDMI 1 入力端子のデジタル音声になります。
	コンピューター	コンピューター音声入力端子の音声になります。
HDMI2	HDMI2	HDMI 2 入力端子のデジタル音声になります。
	コンピューター	コンピューター音声入力端子の音声になります。
ネットワーク	ネットワーク	ネットワーク接続からの音声になります。
	コンピューター	コンピューター音声入力端子の音声になります。
USB ディスプレイ	USB ディスプレイ	USB (PC) ディスプレイ端子の音声になります。
	コンピューター	コンピューター音声入力端子の音声になります。

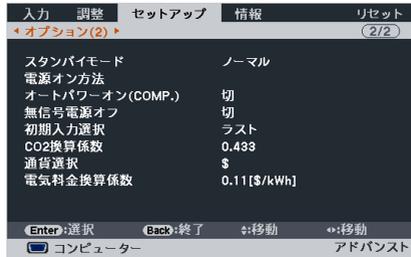
● ビープ音

電源の入/切や入力切り替えなどの操作をしたとき、また本機にエラーが発生したときなどに確認音を鳴らします。

参考

- ビープ音の音量は調整できません。また、(AVメニュー)ボタンを押しても消えません。ビープ音を出したくない場合は、ビープ音を「切」に設定してください。

オプション (2)



●スタンバイモード

本機がスタンバイ状態になったときの電力消費量の設定を行います。

ノーマル	スタンバイ状態のとき、状態インジケータが緑色で点灯します。 スタンバイ状態のときに、マイク端子から入力した音声はスピーカーから出力されません。
省電力	省電力状態になり、本機のスタンバイ状態のときの消費電力が下がります。 スタンバイ状態のとき、電源インジケータは赤色で点灯し、状態インジケータが消灯します。 スタンバイ状態のときに次の端子や機能が働きません。 モニター出力 (コンピューター) 端子、音声出力端子、マイク端子、LANポート、無線 LAN ユニット、オートパワーオン (COMP.)、本体の  ボタン以外の操作ボタン、リモコンの電源 () 以外の操作ボタン、電源入以外の PC コントロールコマンド、USB ディスプレイ
ネットワークスタンバイ	スタンバイ状態のとき、電源インジケータはオレンジ色で点灯しステータスインジケータが消灯します。 スタンバイ状態のとき、有線 LAN により本機の電源を入れることができます。 スタンバイ状態のときに次の端子や機能が働きません。 モニター出力 (コンピューター) 端子、音声出力端子、マイク端子、LANポート、無線 LAN ユニット、オートパワーオン (COMP.)、本体の  ボタン以外の操作ボタン、リモコンの電源 () 以外の操作ボタン、電源入以外の PC コントロールコマンド、USB ディスプレイ



- 本体キーロック、コントロール ID、オートパワーオン (COMP.) のいずれかを「切」に設定すると、スタンバイモードの設定は無効になります。
スタンバイ状態のとき、スタンバイモードを「ノーマル」に設定した場合と同じ動作になります。



- スタンバイモードは、リセットを行っても変更されません。
- スタンバイモードはカーボンメーターの CO2 削減量の計算から除外しています。

●電源オン方法

本機の電源プラグに AC 電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

手動	AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。
自動	AC 電源が供給されると電源が入ります。 初期入力選択 (🔵次ページ) で設定している信号が投写されます。

●オートパワーオン (COMP.)

本機がスタンバイ状態のとき、コンピューター信号が入力されると自動的に投写する設定です。

本機のコンピューター映像入力端子とコンピューターをコンピューターケーブルで接続し、本機をスタンバイ状態にします。

切	オートパワーオン (COMP.) 機能は動きません。
入	コンピューター信号を検知すると本機の電源を自動で入れてコンピューター画面を投写します。

注意

- コンピューター映像入力端子にコンポーネント信号を入力したときやシンクオングリーン (Sync on Green) またはコンジットシンク (Composite Sync) のコンピューター信号の場合は動きません。
- オートパワーオン (COMP.) を設定すると、スタンバイモードの設定は無効になります。スタンバイ状態のとき、スタンバイモードを「ノーマル」に設定した場合と同じ動作になります。
- 本機の電源を切ったあとにオートパワーオン (COMP.) を働かせたい場合は、電源を切ったあと 3 秒以上待ってから、コンピューター信号を入力してください。本機の電源を切りスタンバイ状態になるときに、コンピューター信号が本機に入力され続けていると、本機の電源は入らずスタンバイ状態を継続します。

●無信号電源オフ

設定した時間以上信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切ります。

切	無信号電源オフ機能は動きません。
5 分 後 / 10 分 後 / 20 分後 / 30 分後 / 60 分後	設定した時間 (5 分 / 10 分 / 20 分 / 30 分 / 60 分) 以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

●初期入力選択

本機の電源を入れたとき、どの入力信号（入力端子）にするかの設定を行います。

ラスト	最後に投写した入力信号を投写します。
自動	入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を投写します。
コンピューター	コンピューター映像入力端子の入力信号を投写します。
HDMI1	HDMI 1 入力端子の入力信号を投写します。
HDMI2	HDMI 2 入力端子の入力信号を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子の入力信号を投写します。
S-ビデオ	S-ビデオ映像入力端子の入力信号を投写します。
ビューワー	ビューワーを表示します。(85 ページ)
ネットワーク	LAN ポート (RJ-45) または本体に装着している無線 LAN ユニットを介してコンピューターから送られてくるデータを投写します。
USB ディスプレイ	USB (PC) ディスプレイ端子の入力信号を投写します。

●CO₂ 換算係数

カーボンメーターに表示する CO₂ 削減量を算出するための CO₂ 排出係数を設定します。

初期値は、OECD（経済協力開発機構）から出版されている“CO₂ Emissions from Fuel Combustion (2012 年 Edition)”にて公表されている 2008 年度世界平均係数の 0.433 [kg-CO₂/kWh] に設定しています。

●通貨選択

カーボンメーターに表示する電気料金削減量の通貨単位を選択します。

\$	米国ドル
€	欧州ユーロ
JP¥	日本円
RMB¥	中国元

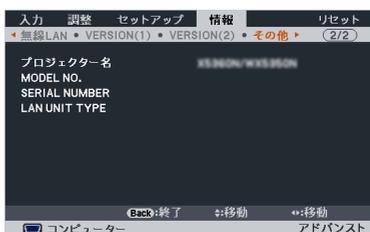
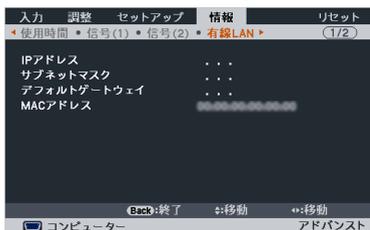
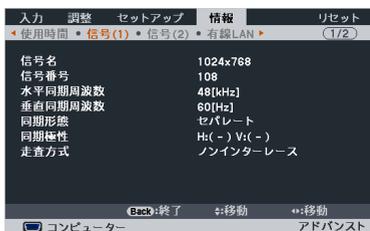
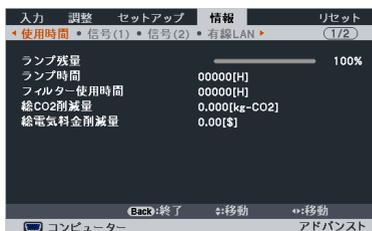
●電気料金換算係数

カーボンメーターに表示する電気料金削減量を算出するための係数として、1kWh あたりの電気料金を設定します。

初期値は、\$、€、JP¥ は OECD 出版の Energy Prices and Taxes (second quarter 2010)、RMB¥ はジェットロ（日本貿易振興機構）出版の中国データ・ファイル（2010 年度版）にて公表されている下記の値に設定しています。

\$	(米国ドル)	0.11
€	(欧州ユーロ)	0.19
JP¥	(日本円)	20
RMB¥	(中国元)	0.48

5-6. 情報



ランプ時間、総 CO2 削減量、有線 LAN や無線 LAN のアドレス情報、入力選択されている入力信号の詳細、製品の形名や製造番号、ファームウェアなどの情報を表示します。

- 使用時間ページの総 CO2 削減量、総電気料金削減量は、プロジェクターの省エネ効果を表示します。

(🔵 53 ページ)

- 信号ページは、色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が投写されない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使用します。「対応解像度一覧」(🔵 218 ページ)もあわせてご覧ください。

- ランプ残量／ランプ時間の表示について
 本機にはランプパワー機能があります。ランプパワーを「標準」または「オートエコ」で使用した場合と、「エコ 1」または「エコ 2」で使用した場合はランプの交換時間(目安)^{*}が異なります。
 ランプ時間はランプの通算使用時間を示し、ランプ残量はランプの使用時間に対する残量をパーセントで表示しています。
 - ・0%になると、電源オフ時の確認メッセージと同時に「ランプの交換時期です。新しいランプに交換してください。安全・性能維持のため指定ランプを使用してください。」のメッセージが表示されます。新しいランプと交換してください。交換のしかたは「7-4. ランプとフィルターの交換」(▶182 ページ)をご覧ください。
 - ・ランプ交換のメッセージは電源投入時の 1 分間および本機の Ⓞ ボタンまたはリモコンの電源 (切) ボタンを押したときに表示されます。
 電源投入時にランプ交換のメッセージを消す場合は本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。
 - ・ランプ交換時間 (目安)^{*}に到達 (ランプ残量 0%) 後、ランプ残量表示は赤色の時間表示に変わります。このとき、ランプ残量表示は「100 時間」と表示され、そのあとランプを投写しただけ時間がマイナスされていきます。そしてランプ残量表示が「0 時間」になると、本機の電源が入らなくなります。
 - ・ランプ時間は、ランプの個体差や使用条件によって差があり、下の表の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。

	ランプ時間			ランプ残量
	ランプパワー「標準」または「オートエコ」のみで使用 (最小)	ランプパワー「エコ 1」のみで使用	ランプパワー「エコ 2」のみで使用 (最大)	
工場出荷時	0000 時間			100%
ランプ交換時間 (目安) [*]	3500 時間	4000 時間	6000 時間	0%

※：保証時間ではありません。

5-7. リセット



本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。

リセットの処理には多少時間がかかります。

●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場出荷状態に戻ります。

●全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

【リセットされないデータ】

言語・無信号背景・フィルターメッセージ・セキュリティ・通信速度・コントロールID・スタンバイモード・ファンモード・CO2 換算係数・通貨選択・電気料金換算係数・ランプ残量・ランプ時間・フィルター使用時間・総 CO2 削減量・有線 LAN・無線 LAN

●ランプ時間クリア

ランプ交換を行ったときに「ランプ残量」と「ランプ時間」をクリアします。

注意 ● ランプ時間は、リセット→全データではクリアされません。

●フィルター時間クリア

フィルターの清掃または交換を行ったときに「フィルター使用時間」をクリアします。本機の工場出荷時、オンスクリーンメニューの「フィルターメッセージ」は「切」に設定されています。「切」の場合は「フィルター時間クリア」を行う必要はありません。

注意 ● フィルター使用時間は、リセット→全データではクリアされません。

5-8. アプリケーションメニュー

オンスクリーンメニューの入力画面で「ネットワーク」を選択した場合にアプリケーションメニューが表示されます。

アプリケーションメニューは添付の CD-ROM に収録しているユーザーサポートウェアの設定に必要な情報を表示したり、本機のネットワークやツールの設定を行います。管理者モードのメニューモードで「アドバンストメニュー」と「ベーシックメニュー」の選択ができます。(▶ 159 ページ)

「ベーシックメニュー」は項目を限定して表示します。

アプリケーションメニューの説明ではアドバンストメニューのみ表示する項目名には「アドバンストメニューのみ」と表記します。



ADVANCED NETWORK / PROJECTION UTILITY

Advanced Network Utility を使用する場合に必要なプロジェクター名、画面解像度、ネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）の情報を表示します。この画面に表示された情報を使用してコンピューターの設定を行います。



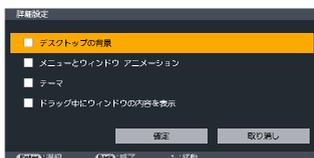
ネットワークプロジェクター

ネットワークプロジェクターを使用する場合に必要なプロジェクター名、画面解像度、パスワード、ネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）の情報を表示します。この画面に表示された情報を使用してコンピューターの設定を行います。



リモートデスクトップ接続

リモートデスクトップ接続を使用するコンピューター名の入力、およびリモートデスクトップ操作時の効果を設定します。



注意

- リモートデスクトップ接続の設定には USB キーボードが必要です。

ネットワーク設定



重要

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- 有線 LAN を使う場合は、本機の LAN ポート (LAN) に LAN ケーブル (Ethernet ケーブル) を接続してください。(👉 172 ページ)

参考

- ネットワーク設定で設定した内容は、「リセット」を行っても変更されません。

本機にLANの設定を行うヒント

● LAN の設定を行うには？ (設定を本機のメモリーに記憶するには？)

有線 LAN または無線 LAN ページを表示し、「プロファイル」のリストから、設定を記憶するプロファイル番号を選択します。

本機では、内蔵の LAN ポートを使用する設定を 2 とおり、また無線 LAN ユニットを使用する手動設定を 2 とおりと、WPS 機能を使用した自動設定を 1 とおり、メモリーに記憶することができます。

続いて、同じページで、「DHCP」の有効／無効、「IP アドレス」、「サブネットマスク」などの設定後、「確定」にカーソルを合わせ(決定) ボタンを押します。(👉 145 ページ)

● プロファイル番号に記憶した設定を呼び出すには？

有線 LAN または無線 LAN ページの「プロファイル」のリストから呼び出すプロファイル番号を選択します。続いて「確定」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押します。

(👉 145 ページ)

● DHCP サーバーに接続するには？

有線 LAN または無線 LAN ページで「DHCP」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押します。チェックマークが付きます。「DHCP」にカーソルを合わせ、もう一度(決定) ボタンを押すと、チェックマークが外れます。DHCP サーバーを使用せず直接 IP アドレスを設定する場合は、「DHCP」のチェックマークを外してください。(👉 145 ページ)

● **無線 LAN 特有の設定（通信モードや WEP(セキュリティ通信)）を行うには？**

無線 LAN ページの「プロファイル」で、「プロファイル 1」または「プロファイル 2」を選択します。

続いて、同じページの「詳細設定」にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押します。

「詳細設定」画面が表示されます。**(▶147 ~154 ページ)**

● **接続する SSID を選択するには？**

無線 LAN ページの「詳細設定」→「接続」ページで [サイトサーベイ] にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押します。リストの中から、接続する SSID にカーソルを合わせます。

(▶) ボタンを押して [確定] にカーソルを移動し **(決定)** ボタンを押します。

[サイトサーベイ] を使用しない場合は、同じ [接続] ページで、[SSID] を直接入力し、「インフラストラクチャー」または [アドホック] を選択します。**(▶147 ページ)**

● **プロジェクターのランプ交換時期や各種のエラーを Eメールで受け取るには？**

[アラートメール] ページで [メール通知] にカーソルを合わせ **(決定)** ボタンを押します。

チェックマークが付きます。続いて、[差出人アドレス] や [SMTP サーバー名]、[宛先アドレス]などを設定し、[確定]にカーソルを合わせ **(決定)** ボタンを押します。**(▶157 ページ)**

● **Projection Utility、Advanced Network Utility を使って “かんたん接続” を行うには？**

添付の CD-ROM に収録している Projection Utility、Advanced Network Utility では、無線 LAN を使ったコンピューターとプロジェクターの接続を少ない手順で行う “かんたん接続” モードがあります。

“かんたん接続” を行う場合は、無線 LAN ページの「プロファイル」のリストの中から「かんたん接続」を選択します。

(注) “かんたん接続” は、使用するソフトにより使用できる OS が異なりますので、それぞれのソフトのヘルプを参照してください。

有線 LAN または 無線 LAN (アドバンスメニューのみ)



<p>プロファイル</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本機に内蔵の LAN ポートを使用する場合の設定を 2 とおり、また無線 LAN ユニットを使用する場合の自動設定を 2 とおりと、WPS 機能を使用した自動設定を 1 とおりの合計 5 とおりを、本機のメモリーに記憶することができます。 「プロファイル 1」、「プロファイル 2」を選択し、「[DHCP]」以下の項目の設定を行います。設定が終わったら、画面下の「確定」にカーソルを合わせ（決定）ボタンを押します。設定内容が本機のメモリーに記憶されます。 本機のメモリーに記憶した設定を呼び出す場合は、「プロファイル」から選んで画面下の「確定」にカーソルを合わせ、（決定）ボタンを押します。 添付の CD-ROM に収録している Projection Utility, Advanced Network Utility を使って “かんたん接続” を行う場合は、無線 LAN ページのプロファイルのリストから「かんたん接続」を選択します。 無線 LAN ユニットから電波を出さないようにするには「無効」を選択します。 簡易アクセスポイントを選択すると、プロジェクターはインフラストラクチャネットワークを作成します。プロジェクターの IP アドレスは自動設定されます。接続するコンピューターの IP アドレス設定は「IP アドレスを自動的に取得する」を選択してください。 WPS を選択した場合は、WPS 機能を用いて自動的に記憶された設定を用いてネットワークに接続します。 	<p>—</p>
<p>DHCP</p>	<p>本機を接続するネットワークが、DHCP サーバーによって IP アドレスを自動的に割り当てる場合は、チェックマーク (☑) を付けます。自動的に割り当てられない場合は、チェックマークを付けずに、下の「IP アドレス」と「サブネットマスク」を設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ (チェックマークを付ける) ……DHCP サーバーによって IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが自動的に割り当てられます。 	<p>—</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスやサブネットマスクを設定します。 	
IP アドレス	「DHCP」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。	数字 12 文字
サブネットマスク	「DHCP」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のサブネットマスクを設定します。	数字 12 文字
デフォルトゲートウェイ	「DHCP」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。	数字 12 文字
WINS 設定	「DHCP」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークの WINS サーバーの IP アドレスを設定します。	数字 12 文字
自動 DNS	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) ……DHCP サーバーによって、本機を接続する DNS サーバーの IP アドレスを自動的に設定します。 <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……本機を接続するネットワークの DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 	—
DNS 設定	「自動 DNS」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークの DNS サーバーの IP アドレスを設定します。	数字 12 文字
詳細設定 (注)	無線 LAN に接続するための詳細設定 (通信モード、セキュリティ) を行います。	—
再接続	ネットワークの接続を試みます。「プロファイル」を変更したときなどに実行してください。	—

(注) [詳細設定] ボタンは、[無線] ページのときに表示されます。

注意

- プロファイルで「かんたん接続」を選択した場合は、DHCP、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、「自動 DNS」の項目の設定を変更できません。ただし、「チャンネル」の設定は変更できます。
- プロファイルで簡易アクセスポイントを選択したときの補足説明
 - ・ コンピューターの「ワイヤレスネットワークの接続先」で「接続範囲内に入ると自動的に接続する」を選択しておく、
 - ・ コンピューターもしくはプロジェクターの電源投入時
 - ・ ノート型コンピューターをプロジェクターの無線接続範囲内に近づけた場合などで、自動的に無線 LAN がつながるようになります。
 - ・ 無線 LAN と有線 LAN の間でデータ転送することはできません。
 - ・ 簡易アクセスポイントモードを使用して画像伝送を行う場合、接続するコンピューターの推奨台数は 1 台です。

詳細設定 (無線LANユニット使用時のみ設定が必要) (アドバンスメニューのみ)



<p>サイトサーベイ</p>	<p>その場所で接続可能な無線LANのSSIDをリスト表示し、リストの中から接続するSSIDを選択します。 SSIDを選択するには、SSIDにカーソルを合わせ、▶ ボタンを押して [確定] にカーソルを移動し、決定 ボタンを押します。 リストに表示されるアイコンは、次の意味を持っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> : 無線LANアクセスポイント : コンピューター (アドホック) : WEP または WPA の設定あり 	<p>—</p>
<p>セキュリティ</p>	<p>無線LANでセキュリティを設定するかしないかを選択します。 セキュリティを行う場合は、WEP キーまたは暗号キーを設定します。 お使いのコンピューターや無線LAN機器の機能にあわせて、どのセキュリティを使用するか選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効…暗号化を行いません。他人から通信内容を傍受されるおそれがあります。 • WEP (64bit) …WEP形式の暗号化を行い、秘密鍵に64bit長のデータを使います。 • WEP (128bit) …WEP形式の暗号化を行い、秘密鍵に128bit長のデータを使います。64bit長の秘密鍵に比べ、セキュリティが強化されます。 • WPA-PSK/WPA-EAP/WPA2-PSK/WPA2-EAP…これらはWEP形式よりもセキュリティが強化された形式です。 <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● セキュリティの種類、WEP キー、暗号キーは、通信を行う相手の機器 (コンピューターや無線LANアクセスポイント) と同じ設定にしてください。 ● セキュリティ設定をすると、画像転送速度が低下します。 ● 通信モードで「アドホック」を使用している場合、WPA-PSK、WPA-EAP、WPA2-PSK、およびWPA2-EAPは使用できません。 	<p>—</p>

SSID	無線 LAN の識別名 (SSID) を入力します。SSID が一致する機器とのみ、通信が行えます。	英数字 最大 32 文字 注：大文字と小文字は区別されます。
通信モード	無線 LAN を使用するときの通信方式を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> インフラストラクチャー……無線 LAN 端末と無線 LAN アクセスポイントを利用した形態の通信を行うときに選択します。 アドホック……無線 LAN アクセスポイントを使わず、無線 LAN 端末同士で通信を行うときに選択します。 	—
チャンネル	国によって使用できるチャンネルが異なります。インフラストラクチャーのときは、無線 LAN アクセスポイント、アドホックのときは相手のコンピューターと同じチャンネルに設定してください。	—

「セキュリティ」で「WEP(64bit)」または「WEP(128bit)」を選択したとき

キーインデックス	下のキー 1～キー 4 のどの WEP キーを使うかを選択します。		
キー 1/キー 2/ キー 3/キー 4	WEP キーを入力します。 ● 最大入力文字数		
	選択	英数文字 (ASCII)	16 進数 (HEX)
	WEP 64bit	5 文字	10 文字
	WEP 128bit	13 文字	26 文字

「セキュリティの種類」で「WPA-PSK」、「WPA-EAP」、「WPA2-PSK」、または「WPA2-EAP」を選択したとき

暗号化の種類	TKIP または AES を選択します。
キー	暗号キーを入力します。暗号キーは、8 文字以上、63 文字以下の英数文字を入力します。

「詳細設定(認証)」(WPA-EAPまたはWPA2-EAPを使用する場合に設定が必要)

設定前の準備

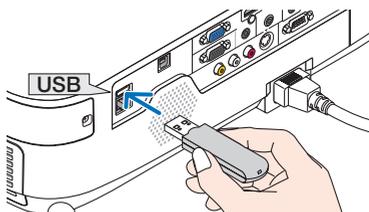
無線 LAN に対応した WPA-EAP, WPA2-EAP 認証を選択し、電子証明書を本機にインストールします。

- 1 本機の「日付と時刻」設定を行う。(🔗 163 ページ)
- 2 コンピューターを使って、WPA-EAP, WPA2-EAP の設定に必要な電子証明書 (ファイル) を USB メモリーに保存する。
必要なファイルを保存したら、コンピューターから USB メモリーを取り外してください。



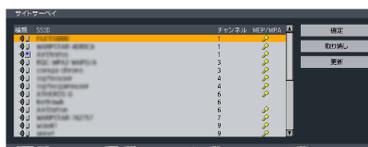
- 本機にインストールできる電子証明書のファイル形式は、DER 形式と PKCS#12 形式です。
- 電子証明書 (ファイル) は USB メモリーのルートフォルダーに保存してください。
- ファイル容量が 8 キロバイトを超える電子証明書は、本機で使用できません。
- CRL (失効リスト) はサポートしていません。
- クライアント証明書のチェーンはサポートしていません。

- 3 電子証明書を保存した USB メモリーを、本機の接続端子部にある USB ポートに差し込む。



設定方法

- 1 [ネットワーク設定] → [無線 LAN] を選択する。
- 2 プロファイル、DHCP のオン/オフや IP アドレス、サブネットマスクなど必要な設定を行う。
 - プロファイルは、「プロファイル 1」または「プロファイル 2」を選択してください。「かんたん接続」を選択すると WEP 以外のセキュリティは使用できません。
- 3 [詳細設定] にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押す。
詳細設定画面が表示されます。
- 4 [サイトサーベイ] にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押す。
SSID のリストが表示されます。
- 5 接続する SSID を選択し [確定] にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押す。
 - WPA-EAP または WPA2-EAP が設定されている SSID を選択してください。
 - [通信モード] は、「インフラストラクチャー ()」を選択してください。「アドホック ()」を選択しているときは、WEP 以外は使用できません。セキュリティ画面に切り替わります。
- 6 [セキュリティの種類] 欄にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押す。
プルダウンリストが表示されます。
- 7 [WPA-EAP] または [WPA2-EAP] にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押す。



- 8 [TKIP/AES] 欄にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

プルダウンリストが表示されます。



- 9 [TKIP] または [AES] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

・アクセスポイントの設定に合わせて、「TKIP」または「AES」を選択してください。

- 10 [認証] にカーソルを合わせて、(決定)ボタンを押す。

EAP タイプは、「EAP-TLS」または「PEAP-MSCHAPv2」を選択でき、EAP タイプによって設定項目が異なります。次の表を参照してください。



EAP タイプ	設定する項目	設定する内容
EAP-TLS	ユーザー名	1 文字以上、32 文字以下
	クライアント証明書	PKCS#12 形式のファイル
	ルート証明書	DER 形式のファイル
PEAP-MSCHAPv2	ユーザー名	1 文字以上、32 文字以下
	パスワード	1 文字以上、32 文字以下
	ルート証明書	DER 形式のファイル

EAP タイプで「EAP-TLS」を選択する場合は、[このページの手順11](#)へ

EAP タイプで「PEAP-MSCHAPv2」を選択する場合は、[152 ページの手順11](#)へ

① EAP タイプで「EAP-TLS」を選択する場合

ここからは「EAP-TLS」を選択する場合の操作です。

- 11 [ユーザー名] 欄にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

文字入力画面が表示されますので、ユーザー名を入力してください。

- ・ユーザー名は、1 文字以上、32 文字以下で入力してください。
- ・文字入力画面の操作については、[111 ページ](#)をご覧ください。



- 12 ユーザー名を設定したら、[クライアント証明書] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。ファイル一覧画面が表示されます

・「認証」ページに戻る場合は、(戻る)ボタンを押します。





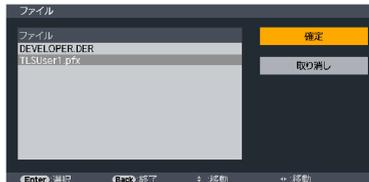
電子証明書のインストールについて

各電子証明書（クライアント証明書、ルート証明書）は、プロファイル（1、2）ごとに1ファイルずつインストールできます。

- ルート証明書には、ルート認証局証明書をインストールしてください。
- すでに電子証明書をインストール済みの項目に新たに電子証明書をインストールすると、新しい電子証明書に上書きされます。
- 電子証明書のインストールを実行すると、その後 WPA-EAP, WPA2-EAP の設定を中止しても、インストールした情報は消去されません。

- 13** ファイル一覧画面内の電子証明書（PKCS#12形式のファイル）にカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押す。

パスワード画面が表示されます。



- 14** パスワード入力欄にカーソルが合っていることを確認し、**決定**ボタンを押す。

文字入力画面が表示されますので、秘密鍵のパスワードを入力してください。

パスワードは、1文字以上、32文字以下で入力してください。

選択した電子証明書ファイルが本機にインストールされます。

- ・ 手順**13**で選択したファイルにルート認証局証明書が含まれていない場合は、手順**15**に進みます。ルート認証局証明書が含まれている場合は、手順**17**に進みます。



- 15** [ルート証明書] にカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押す。

ファイル一覧画面が表示されます。

- 16** ファイル一覧画面内の電子証明書（DER形式のファイル）にカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押す。

- ・ ここではルート認証局証明書を選択してください。選択した電子証明書ファイルが本機にインストールされます。

- 17** 必要な項目の設定が終わったら、[確定] にカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押す。

セキュリティーページに戻ります。

- 18** [確定] にカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押す。詳細ページに戻ります。

- 19** [確定] にカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押す。無線LANページに戻ります。

- 20** [再接続] にカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押す。

無線ページに戻ります。

21 [確定] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

これで WPA-EAP, WPA2-EAP の EAP タイプ「EAP-TLS」の設定が終わりました。

参考 ●本機にインストールした電子証明書をクリアする
本機にインストールした電子証明書をクリアするときは、次のように操作します。
表示中のプロファイルのすべての電子証明書がクリアされます。

1 [認証設定] 画面の左下にある[証明書のクリア] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。



確認メッセージが表示されます。

2 [はい] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
電子証明書がクリアされます。

参考 ●PKCS#12 形式の電子証明書に認証局証明書が含まれているときは、ルート認証局証明書としてインストールします。

② EAP タイプで「PEAP-MSCHAPv2」を選択する場合

11 [EAP タイプ] 欄にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
プルダウンリストが表示されます。



12 「PEAP-MSCHAPv2」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

13 [ユーザー名] 欄にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

文字入力画面が表示されますので、ユーザー名を入力してください。

- ユーザー名は 32 文字以下で入力してください。
- 文字入力画面の操作については、111 ページをご覧ください。



14 ユーザー名を設定したら、[パスワード] 欄にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

文字入力画面が表示されますので、パスワードを入力してください。

- パスワードは 32 文字以下で入力してください。
- PEAP-MSCHAPv2 では、証明書を使用する／使用しないを選択できます。証明書を使用する場合は、[証明書を使用] を有効にしてください。証明書を使用しない場合は、[証明書を使用] を無効にしてください。



- 15 パスワードを設定したら、[ルート証明書] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
ファイル画面が表示されます。
- ・「認証」ページに戻る場合は、(戻る)ボタンを押します。

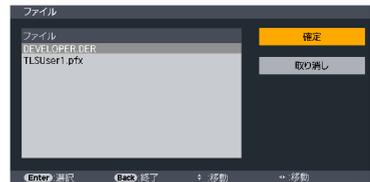


注意 電子証明書のインストールについて

各電子証明書（クライアント証明書、ルート証明書）は、プロファイル（1、2）ごとに1ファイルずつインストールできます。

- ルート証明書には、ルート認証局証明書をインストールしてください。
- すでに電子証明書をインストール済みの項目に新たに電子証明書をインストールすると、新しい電子証明書に上書きされます。
- 電子証明書のインストールを実行すると、その後 WPA-EAP、WPA2-EAP の設定を中止しても、インストールした情報は消去されません。

- 16 ファイル画面内の電子証明書（DER 形式のファイル）にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
選択した電子証明書ファイルが本機にインストールされます。



- 17 必要な項目の設定が終わったら、[確定] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
セキュリティーページに戻ります。

- 18 [確定] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
詳細ページに戻ります。

- 19 [確定] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
無線 LAN ページに戻ります。

- 20 [再接続] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

- 21 [確定] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

これで WPA-EAP、WPA2-EAP の EAP タイプ「PEAP-MSCHAPv2」の設定が完了しました。

参考

●本機にインストールした電子証明書をクリアする

本機にインストールした電子証明書をクリアするときには、次のように操作します。表示中のプロファイルのすべての電子証明書がクリアされます。

- 1 [認証設定] 画面の左下にある [証明書のクリア] にカーソルを合わせ、**[決定]** ボタンを押す。



確認メッセージが表示されます。

- 2 [はい] にカーソルを合わせ、**[決定]** ボタンを押す。
電子証明書がクリアされます。

参考

●WEP キーの入力（英数文字入力と 16 進数入力の切り替え）

[キー 1] ~ [キー 4] に WEP キーを入力する場合は、次のように操作します。

- 1 カーソルが [キー 1] ~ [キー 4] に合っているときに**[決定]** ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。



- 2 **[▼▲◀▶]** ボタンを押して、文字などにカーソルを合わせ、**[決定]** ボタンを押す。

文字が入力されます。

- 文字入力画面の操作については、[111 ページ](#)をご覧ください。
 - WEPキーまたはパスフレーズを入力する場合は、英数文字 (ASCII) と 16 進数 (HEX) の 2 とおり、PSKキーの場合は、英数文字 (ASCII) の入力が行えます。次のようにして切り替えます。
 - 文字入力画面の左下に「HEX」と表示されているときは、英数文字 (ASCII) が入力できます。
 - 16 進数を入力する場合は、「HEX」にカーソルを合わせ **[決定]** ボタンを押します。「HEX」表示が「ASCII」表示に変わります。
 - 文字入力画面の左下に「ASCII」と表示されているときは、16 進数が入力できます。
 - 16 進数入力の場合は、入力欄の先頭に自動的に「0x(ゼロエックス)」と表示されます。
- 3 WEPキーまたはパスフレーズを入力したら、**[▼▲◀▶]** ボタンを押して、**[OK]** にカーソルを合わせ、**[決定]** ボタンを押す。

入力した文字が確定して、文字入力画面が閉じます。

WPS

本機を接続する無線 LAN アクセスポイントが WPS (Wi-Fi Protected Setup™) に対応している場合は、PIN 方式またはプッシュボタン方式を使用して本機の無線 LAN 設定をすることができます。



PIN 方式	WPS 画面の [次へ] ボタンを押して表示される 8 桁の PIN コードをアクセスポイントに設定することで無線 LAN のセキュリティ設定が完了します。
プッシュボタン方式	WPS 画面の [次へ] ボタンを押して表示されるメッセージに従って、アクセスポイントの専用ボタンを押すことにより、無線 LAN の設定が完了します。

ネットワーク情報

本機をネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) に接続したとき以下の情報を表示します。



プロジェクトター名	
ホスト名	
ドメイン	
ネットワーク情報 (有線 LAN / 無線 LAN)	接続ステータス / IP アドレス / サブネットマスク / デフォルトゲートウェイ / WINS / DNS / MAC アドレス / SSID / 通信モード / WEP/WPA / チャンネル / 信号レベル / 認証※ / 認証期限
アプリケーションメニューに情報を表示する	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) ……ネットワークの簡易情報を表示する。 <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……ネットワークの簡易情報を表示しない。

※：認証状況の表示の意味は次ページをご覧ください。

表示	認証状況
認証完了	正常に認証されています。
認証失敗	何らかの原因で認証が失敗しています。
認証中	認証中です。
有効期限切れ	本機にインストールした電子証明書の有効期限が切れています。 または、本機の「日付と時刻設定」が正確ではありません。
時刻エラー	本機の「日付と時刻設定」がクリアされています。 正確な日付、時刻、およびタイムゾーンを設定してください。

プロジェクター名 (アドバンスメニューのみ)



プロジェクター名	本機のプロジェクター名を設定します。	半角英数記号 1～16文字
----------	--------------------	------------------

ドメイン (アドバンスメニューのみ)

本機のホスト名とドメイン名を設定します。

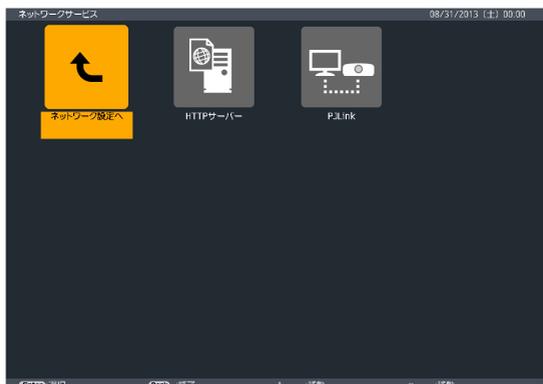


ホスト名	本機のホスト名を設定します。	英数字 最大 15 文字
ドメイン名	本機のドメイン名を設定します。	英数字 最大 60 文字

アラートメール (アドバンスメニューのみ)

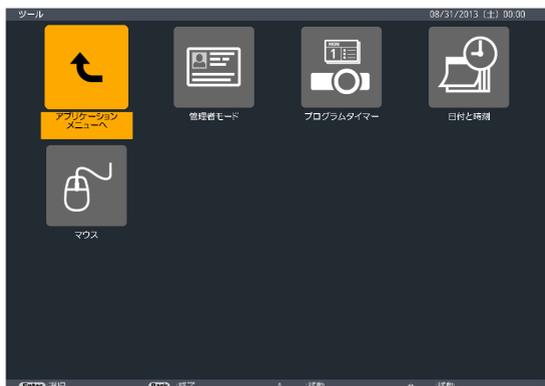
メール通知	<p>本機を LAN に接続して使用する場合、本機のランプ交換時期や各種エラーが発生したときに、本機の状態を E メールでコンピューターなどへ通知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) ……以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。 <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……メール通知機能は停止します。 <p>【本機から送信される Eメールの例】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ランプの交換時期です。新しいランプに交換してください。</p> <p>[情報]</p> <p>プロジェクター名：xxxx</p> <p>ランプ使用時間：xxxx [H]</p> </div>	—
ホスト名	本機のホスト名を設定します。	英数字 最大 15 文字
ドメイン名	本機のドメイン名を設定します。	英数字 最大 60 文字
差出人アドレス	本機から E メールを送信する際の差出人アドレスを設定します。Eメールの「from」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大 60 文字
SMTPサーバー名	本機が接続をするネットワークの SMTP サーバーを設定します。	最大 60 文字
宛先アドレス 1 宛先アドレス 2 宛先アドレス 3	本機からメールを送信する際の宛先のアドレスを設定します。宛先は 3 つまで設定できます。Eメールの「to」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大 60 文字
送信テスト	<p>Eメールの設定を確認するために、テストメールを送信します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 送信テストを行って、送信エラーになったりメールが届かない場合は、ネットワーク設定を確認してください。 ● 宛先アドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスの設定を確認してください。 </div>	—

ネットワークサービス (アドバンスメニューのみ)



HTTPサーバー	HTTP サーバーを使用する場合に、パスワードを設定します。	英数字 最大 10 文字
PJLink	<p>添付の CD-ROM に入っているプロジェクト管理ユーティリティーは、PJLink を使用しています。本ユーティリティーを使用するときは、必要に応じてパスワードを設定してください。</p> <p>.....</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ● PJLink (ピージェイリンク) とは社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 (略称 JBMIA) が制定したネットワーク (通信) インターフェイス規格です。 http://pjlink.jbmia.or.jp/index.html 本機は、PJLink class 1 のすべてのコマンドに対応しています。 ● 登録したパスワードを忘れてしまった場合は、お客様相談センターにご連絡ください。 ● パスワードは、「リセット」を行っても解除されません。 <p>.....</p>	英数字 最大 32 文字

ツール



管理者モード

本機のメニューモードの選択、プロジェクター全体の設定値の保存の有効／無効、管理者モードのパスワードの設定を行います。

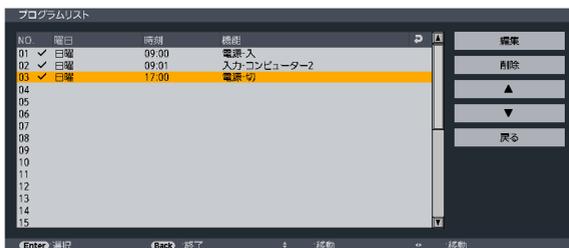


メニューモード	ベーシックメニューとアドバンストメニューを選択します。 それぞれのメニューで使用できる項目は 112 ページ をご覧ください。	—
設定値を保存しない	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) …オンスクリーンメニューで設定を行った項目の値を保存しない場合にチェックマークを付けます。 <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……オンスクリーンメニューで設定を行った項目の値を保存する場合にチェックマークを外します。	—
新規パスワード パスワード再確認	管理者モードにパスワードを設定します。	英数字 最大 10 文字

参考

- ベーシックメニューをアドバンストメニューに戻すには
 - 1 (入力切換)ボタンでネットワークを選択すると、アプリケーションメニューを表示します (リモコンでは(ネットワーク)ボタン)。
 - 2 ツール、管理者モードの順に選択すると、管理者モード画面を表示しますのでメニューモードの「アドバンスト」を選択してください。

プログラムタイマー



曜日や時刻を設定することにより、本機の電源オン／オフや映像信号の切り替え、およびランプパワーの切り替えを自動で行うことができます。たとえば、上の画面の設定では、日曜日の9時に電源がオンになり、9時1分にコンピューターの画面に切り替わり、17時に電源がオフになります。



重要

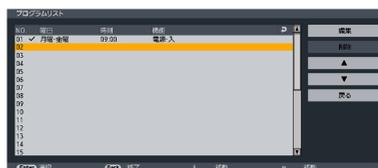
- 「プログラムタイマー」を使用するときは、必ず「日付と時刻設定」に現在の日付／時刻を設定してください（▶163ページ）。
また、本機をスタンバイ状態にしておいてください。本機の電源コードを外したあと、そのまま約2週間以上経過すると、日付・時刻が工場出荷状態に戻り、時計機能は停止します。時計機能が停止した場合は、「日付と時刻設定」を再度行ってください。
- プログラムタイマーを「有効」に設定すると、スタンバイモードを「省電力」に設定していても無効になります。

プログラムを新しく設定する

- 1 プログラムタイマー画面で (▼/▲) ボタンを押して [設定] にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。
プログラムリスト画面が表示されます。



- 2 予定が入っていない番号にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。
編集画面が表示されます。



- 3 編集画面で、各項目を設定したい内容に変更する。



動作	チェックマークを付けるとプログラムが有効になります。
曜日	プログラムを実行する曜日を設定します。「月 - 金」を選択すると月曜日から金曜日まで毎日、「月 - 土」を選択すると月曜日から土曜日まで毎日、「毎日」を選択すると毎日実行されます。
時刻	プログラムを実行する時刻を設定します。時刻は 24 時間表記で入力します。
機能	実行したい機能を設定します。「電源」を選択すると [詳細設定] で電源のオン/オフ、「入力」を選択すると [詳細設定] で映像信号、「ランプパワー」を選択すると [詳細設定] でランプパワーを選べるようになります。
詳細設定	[機能] で選択した内容に応じて、電源のオン/オフ、映像信号の種類、またはランプパワーのモードを選択します。
リピート	プログラムを継続して実行する場合はチェックマークを付けます。一度だけ実行する場合はチェックマークを付けません。

4 設定が終わったら「確定」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。

これで設定が終わり、プログラムリスト画面に戻ります。

5 「戻る」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。

プログラムタイマー画面に戻ります。

6 「確定」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。

ツール画面に戻ります。



注意

- プログラムは 30 個まで設定できます。
- [リピート] にチェックを付けていないプログラムは、一度実行すると自動的に [動作] のチェックが外されて無効になります。
- 電源オン時刻、および電源オフ時刻が同時刻に重なるときは、電源オフのプログラムが優先されます。
- 異なる入力端子の映像信号設定が同時刻に重なるときは、プログラム番号の大きいプログラムが優先されます。
- 冷却ファン回転中やエラー状態のときは、電源オンの時刻になっても電源オンは実行されません。
- 電源オフできない状態のときに電源オフの時刻になると、電源オフができる状態になったときに電源オフが実行されます。
- プログラムタイマーの [有効] にチェックが付いていても [動作] にチェックが付いていないプログラムは実行されません。
- 電源オンのプログラムを設定したときは、本機の電源が入ったままにならないように電源オフのプログラムを設定するか、手動で電源をオフにしてください。

プログラムタイマーを有効にする

- 1 プログラムタイマー画面で【プログラムタイマー】の項目の【有効】にチェックマークを付ける。

「有効」が選択されます。

- 2  ボタンを押して【確定】にカーソルを合わせて、 ボタンを押す。

プログラムタイマー画面から、ツール画面に戻ります。

注意

- プログラムタイマーの「有効」にチェックが付いていないときは、プログラムリストの【動作】の項目にチェックが付いていてもプログラムは実行されません。
- プログラムタイマーの「有効」にチェックが付いていても、プログラムタイマー画面を閉じるまではプログラムタイマーは動作しません。

プログラムを編集する

- 1 プログラムリスト画面で編集したい番号にカーソルを合わせ、 ボタンを押す。

- 2 編集画面で設定を変更する。

- 3 設定が終わったら【確定】にカーソルを合わせ、 ボタンを押す。

これで設定が終わり、プログラムリスト画面に戻ります。

プログラムの順番を変更する

プログラムタイマーは、設定時刻の早い順にプログラムを実行します。

- 1 プログラムリスト画面で順番を変更したい番号にカーソルを合わせ、 ボタンを押す。

- 2  ボタンを押して「▲」または「▼」を選択する。

- 3 希望の位置まで移動するまで  ボタンを数回押す。

これでプログラムの順番が変更されます。

プログラムを削除する

- 1 プログラムリスト画面で削除したい番号にカーソルを合わせ、 ボタンを押す。

- 2  ボタンを押して「削除」にカーソルを合わせ、 ボタンを押す。

確認画面が表示されます。

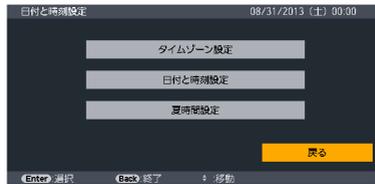
- 3 「はい」にカーソルを合わせ、 ボタンを押す。

削除されプログラムリスト画面に戻ります。

日付と時刻

本機に「日付と時刻」と「タイムゾーン」を設定します。

(注) 日本で使用する場合は「夏時間設定」は、設定しないでください。



タイムゾーン設定 (注)	<ul style="list-style-type: none">時刻を設定するときに必ず「タイムゾーン」も設定してください。日本の時刻の場合は「GMT +09:00」を選択します。
日付と時刻設定	現在の「月/日/年」、「時:分」を設定します。
インターネット時刻サーバー	<ul style="list-style-type: none">ネットワーク上のNTPサーバーと同期して、正しい時刻を取得するときに設定します。NTPサーバーのIPアドレス、またはホスト名を入力します。

注意

- 本機の時計機能を使用するときは、本機の未使用時にスタンバイ状態にしておいてください。
本機の電源コードを外したあと、そのまま約2週間以上経過すると、日付・時刻が工場出荷状態に戻り、時計機能は停止します。時計機能が停止した場合は、「日付と時刻設定」を再度行ってください。

マウス

市販のUSBマウスを本機と接続すると、マウスを使用してメニュー操作ができます。このときのマウスの設定です。

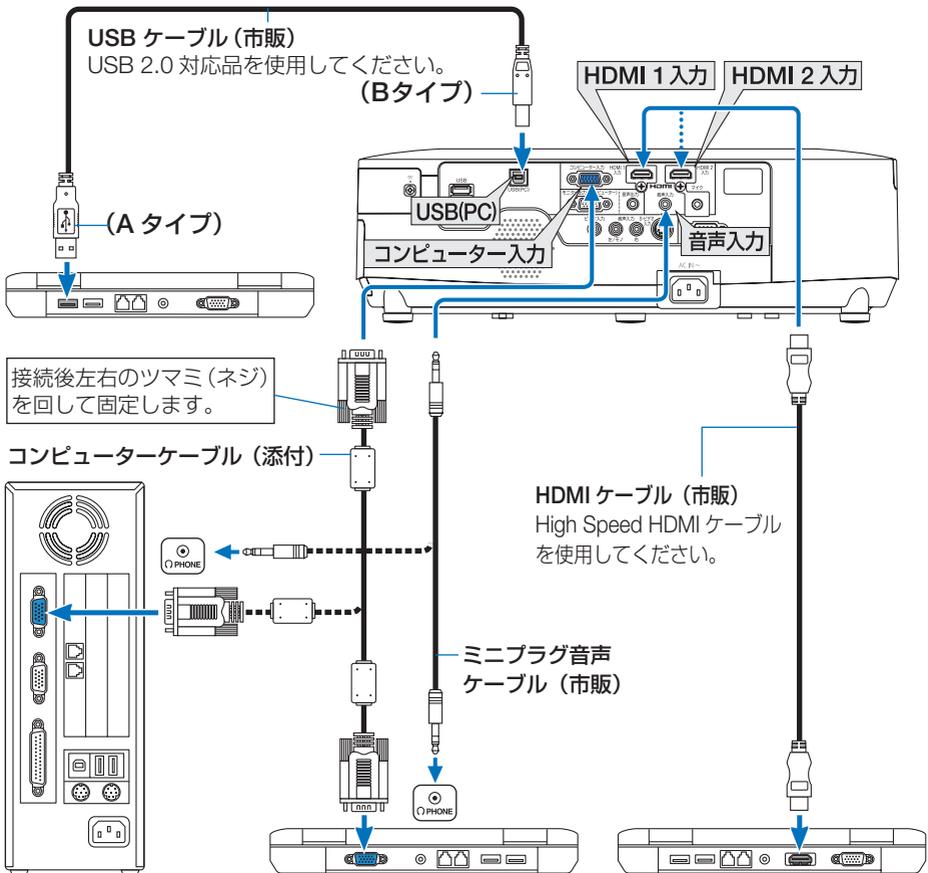
ボタン設定	マウスの左右ボタンの役割を入れ替えます。	
	右手用	マウスボタンが右手用の動作をします。
	左手用	マウスボタンが左手用の動作をします。
スピード設定	マウスを動かしたときのポインターの速度を3つのレベルから選択します。	

6. 機器と接続する

6-1. コンピューターと接続する

コンピューターとの接続は、コンピューターケーブル（添付）、HDMI ケーブル（市販）、および USB ケーブル（市販）を使用する方法があります。

- 添付のコンピューターケーブルは、コンピューター側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機のコンピューター映像入力端子を接続します。
- 市販の HDMI ケーブルは、コンピューターの HDMI 出力端子と本機の HDMI 1 入力端子または HDMI 2 入力端子を接続します。
- 市販の USB ケーブルはコンピューターの USB（タイプ A）と本機の USB（PC）ディスプレイ端子（タイプ B）を接続します。（▶ 62 ページ）



コンピューターによって、端子の名称、位置や向きが異なりますので、コンピューターの取扱説明書でご確認ください。

- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の(入力切換)ボタン	リモコンのボタン
コンピューター映像入力端子	 コンピューター	(コンピューター1)
HDMI 1 入力端子	 HDMI1	(HDMI)
HDMI 2 入力端子	 HDMI2	(HDMI)
USB (PC) ディスプレイ端子	 USB ディスプレイ	(USBディスプレイ)

注意

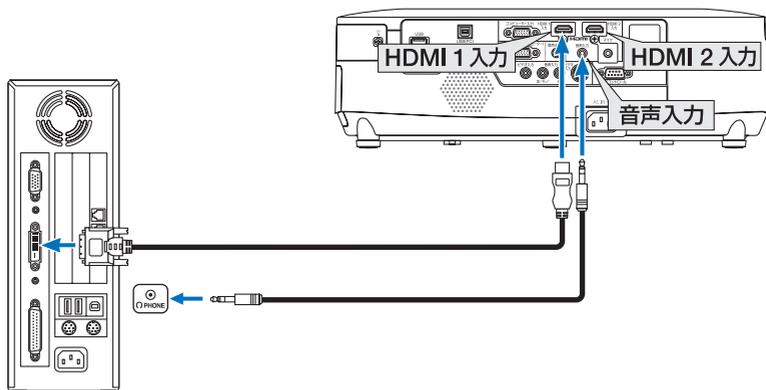
- コンピューターや本機の電源を切ってから接続してください。
- 音声ケーブルをヘッドフォン端子と接続する場合、接続する前にコンピューターの音量を低めに調整してください。そして、コンピューターと本機を接続して使用する際に、本機の音量とコンピューターの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
- コンピューターにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
- スキャンコンバータなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。
- 接続機器によっては、接続している HDMI ケーブルを抜き挿ししたときに HDMI 1 (または HDMI 2) 入力端子の映像が映らなくなることがあります。そのときは、HDMI 1 (または HDMI 2) 入力端子を再度選択してください。

【入力端子の再選択方法】

- ・リモコンで操作する場合は(HDMI)ボタンを押してください、押すごとに HDMI 1 入力と HDMI 2 入力が交互に切り替わります。
- ・プロジェクター本体で操作する場合は(メニュー)ボタンを押して入力画面で HDMI1 または HDMI2 を再選択してください。

参考

- コンピューター映像入力端子は、Windows のプラグ・アンド・プレイに対応しています。
- Macintosh との接続では、Macintosh 用信号アダプター（市販）が必要になる場合があります。
- コンピューター側が DVI 出力端子の場合は、市販の DVI-HDMI 変換ケーブルを使用して本機の HDMI 1 (または HDMI 2) 入力端子に接続します（デジタル映像信号のみ入力できます）。また、コンピューターの音声出力は、本機のコンピューター音声入力端子に接続してください。その場合は、本機のオンスクリーンメニューの音声入力選択 → HDMI1 (または HDMI2) を「コンピューター」に切り替えてください。(▶134 ページ)





● DVI (デジタル) 入力時の注意事項

- ・ DVI-HDMI 変換ケーブルは、DDWG Revision1.0 に準拠した 5 m以内のものを使用してください。
- ・ DVI-HDMI 変換ケーブルを接続するときは、本機とコンピューターの電源が切れた状態で行ってください。
- ・ DVI (デジタル) 信号を投写する際は、ケーブル接続後、まず本機の電源を入れ、接続している HDMI 入力を選択します。最後にコンピューターを起動してください。

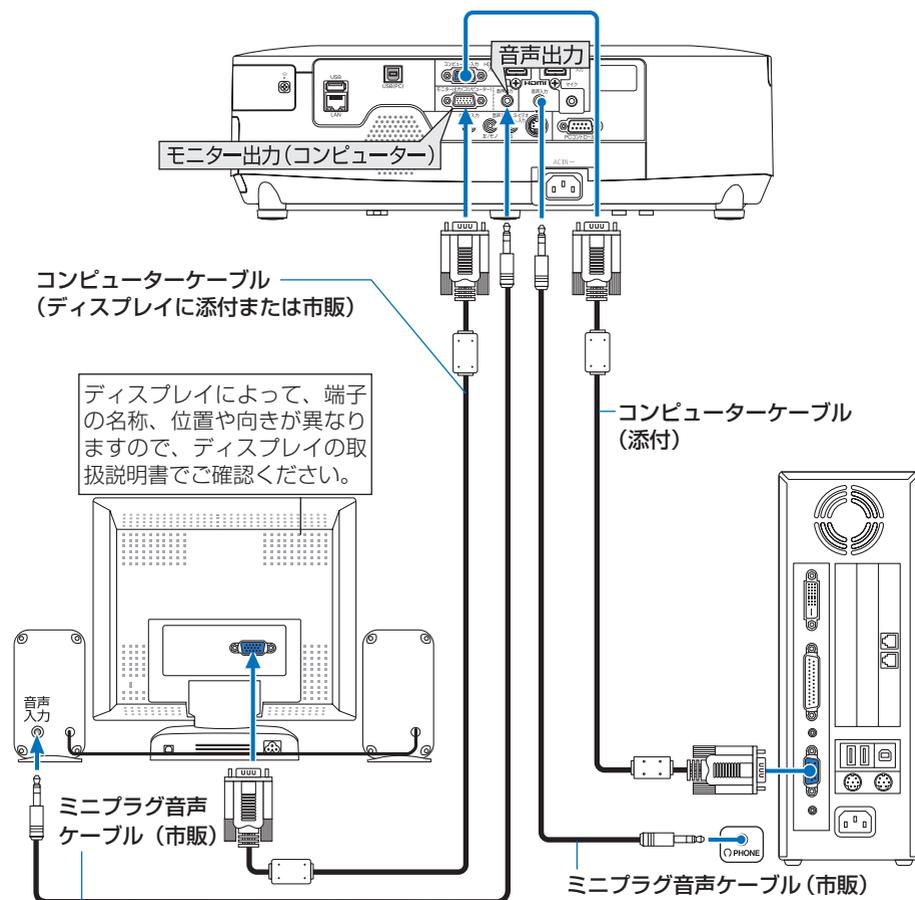
上記の手順どおりに操作しないと、映像が投写されないことがあります。映像が投写されない場合はコンピューターを再起動してください。

- ・ コンピューターのグラフィックカードによっては、アナログ RGB (D-Sub) と DVI (または DFP) の両端子を有するものがあります。この場合、D-Sub 端子に RGB 信号ケーブルを接続していると、DVI デジタル信号が出力されないものがあります。
- ・ 本機の電源が入っているときに信号ケーブルを抜かないでください。一度抜いて、再度接続した場合、映像が正常に投写されないことがあります。その場合はコンピューターを再起動してください。



6-2. ディスプレイと接続する

図のように、デスクトップコンピュータと本機を接続したときなど、本機で投写している画面と同じ画面を、手もとのディスプレイにも表示（モニター）して確認できます。コンピュータ映像入力端子に入力された信号だけがモニター出力（コンピュータ）端子から出力されます。



注意

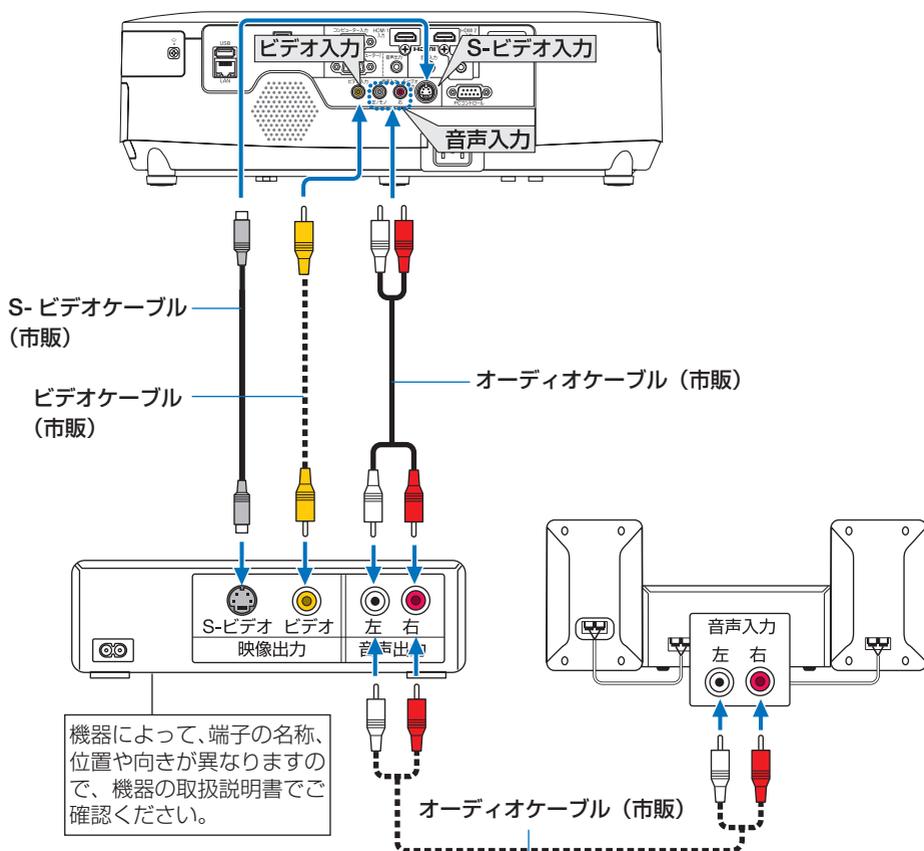
- 本機のモニター出力（コンピューター）端子は、1台のディスプレイへ映像信号を出力するためのものです。複数のディスプレイやプロジェクターを連続してつなぐような使いかたはできません。
- 本機の音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカーから音声がなくなります。
- 本機がスタンバイ状態のときは、本機の電源を切る前に投写されていた映像信号および音声信号がモニター出力（コンピューター）端子および音声出力端子から出力されます。また、音声信号の音量も本機の電源を切ったときと同じになります。なお、スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているときは出力しません。

6-3. DVD プレーヤーなどの AV 機器と接続する

ビデオ信号 / S-ビデオ信号の接続

DVD プレーヤー、テレビチューナーなどのビデオ機器の映像を投写する場合は、市販のケーブルを使用してください。

本機の内蔵スピーカーはモノラルですので、ビデオ機器の音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

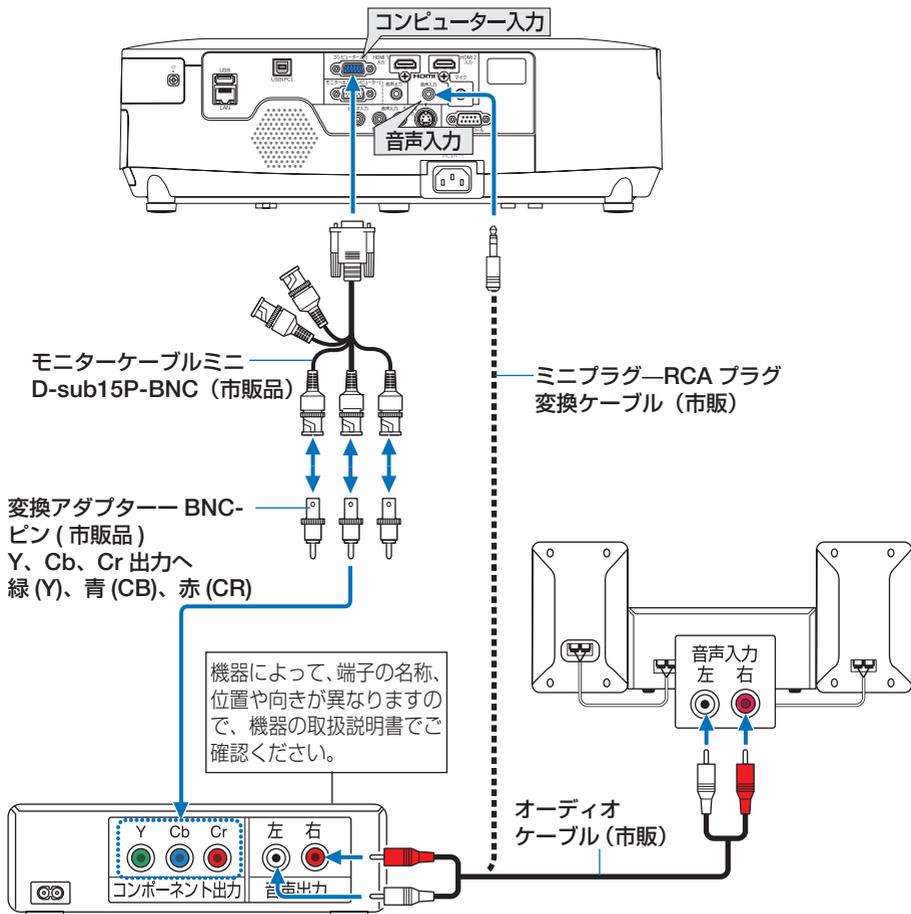
接続端子	本体の(入力切換)ボタン	リモコンのボタン
ビデオ映像入力端子	● ビデオ	(ビデオ)
S-ビデオ映像入力端子	● S-ビデオ	(S-ビデオ)



●ビデオとS-ビデオの音声入力端子は共用です。

コンポーネント信号の接続

DVD プレーヤーの色差出力端子（DVD 映像出力）やハイビジョンビデオなどの YPbPr 出力端子（HD 映像出力）を使って本機で投写することができます。DVD プレーヤーの音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

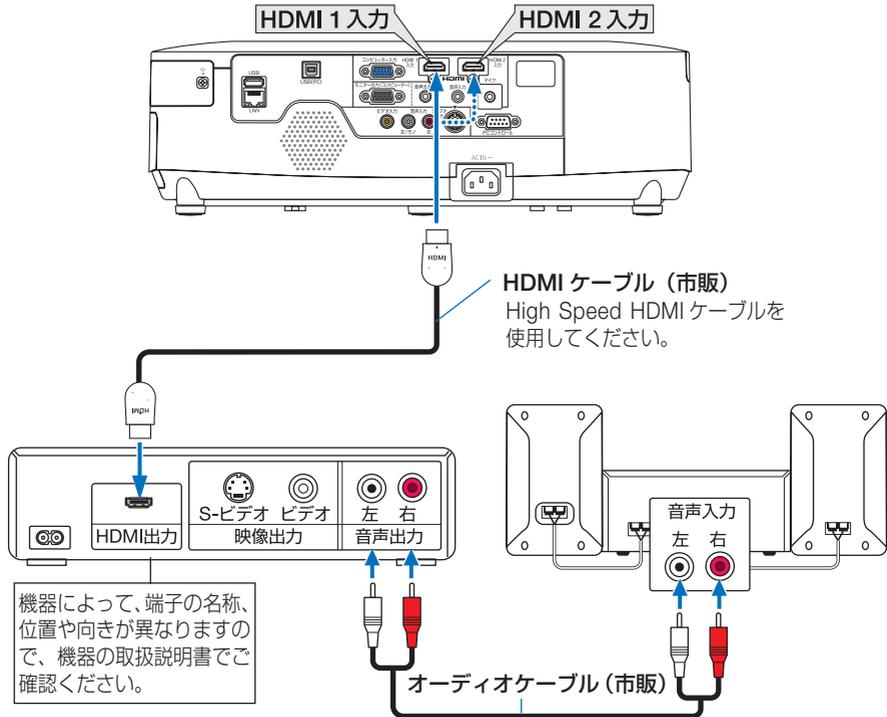
接続端子	本体の(入力切換)ボタン	リモコンのボタン
コンピューター映像入力端子	コンピューター	(コンピューター1)



- 通常は自動でコンピューター信号とコンポーネント信号を判別して切り替えますが、判別できない場合は、本機のオンスクリーンメニューからセットアップ→オプション(1)→信号選択→コンピューターの設定画面でコンピューター信号を「コンポーネント」に設定してください。(133 ページ)
- D 端子付きの映像機器と接続する場合は、市販の D 端子変換アダプターをお使いください。

デジタル映像・音声信号（HDMI）の接続

ブルーレイプレーヤーまたはデジタル放送チューナーなどの HDMI 出力端子を本機に接続してハイビジョン映像を投写することができます。本機の HDMI 1 および HDMI 2 入力端子はデジタル映像とデジタル音声を入力しますが、本機の内蔵スピーカーはモノラルですので、音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



●本機の電源を入れたあとに HDMI を選択してください。

接続端子	本体の(入力切換)ボタン	リモコンのボタン
HDMI 1 入力端子	HDMI1	(HDMI)
HDMI 2 入力端子	HDMI2	(HDMI)

※ (HDMI) ボタンを押すごとに HDMI 1 と HDMI 2 入力端子が交互に切り替わります。

なお、リモコンでの HDMI 入力端子選択は、常に HDMI 1 を優先します。

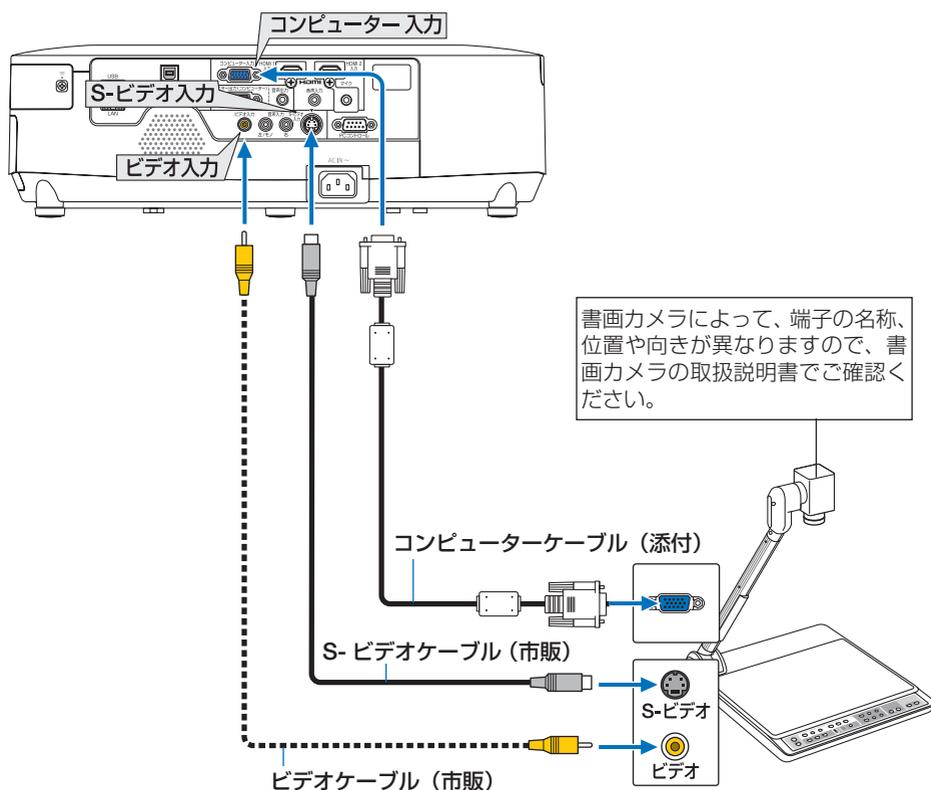
HDMI 入力端子を 1 個のみ使用する場合は、HDMI 1 入力端子に接続することをおすすめします。

参考

- 本機の HDMI 1 入力端子（または HDMI 2 入力端子）に DVD プレーヤーを接続している場合に、DVD プレーヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定できます。本機のオンスクリーンメニューの HDMI 設定 → HDMI1 または HDMI2 → RGB 入力レンジで設定します。DVD プレーヤーのビデオレベルの設定については DVD プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
- HDMI 1 入力（または HDMI 2 入力）の音声が出力されない場合は、本機のオンスクリーンメニューの音声入力選択 → HDMI1 または HDMI2 が「HDMI1」または「HDMI2」に設定されているか確認してください。 (134 ページ)

6-4. 書画カメラと接続する

本機に市販の書画カメラを接続すると、印刷された資料や立体をスクリーンに投写することができます。



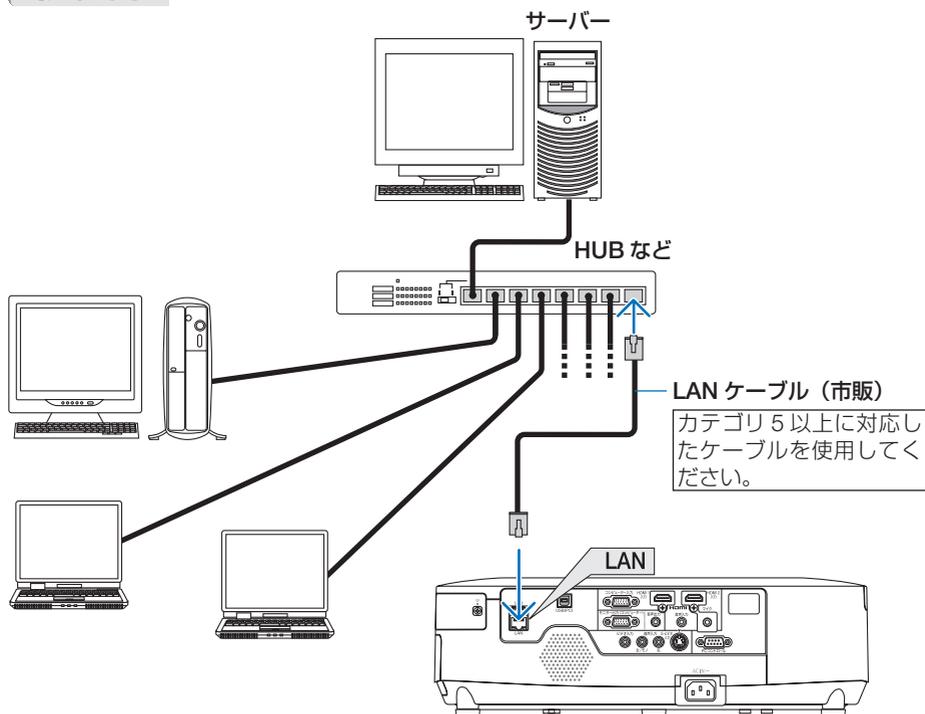
- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の(入力切換)ボタン	リモコンのボタン
コンピューター映像入力端子	コンピューター	(コンピューター1)
ビデオ映像入力端子	ビデオ	(ビデオ)
S-ビデオ映像入力端子	S-ビデオ	(S-ビデオ)

6-5. 有線 LAN と接続する

本機には LAN ポート (RJ-45) が標準装備されています。LAN ケーブルを接続すると LAN 環境を利用することができます。本機を LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります。本機への LAN の設定について詳しくは、本書のアプリケーションメニュー→ネットワーク設定→有線 LAN (▶145 ページ) をご覧ください。

接続例



6-6. 無線 LAN と接続する

本体に装着の無線 LAN ユニットにより、無線 LAN 環境を利用することができます。本機を無線 LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります。



- 本機を無線機器が禁止されている区域で使用する場合は、無線 LAN ユニットを取り外してください。



- 無線 LAN ユニットの動作中は、無線 LAN ユニットにある緑色 LED が点滅します。
- コンピューター側の無線 LAN アダプター (またはユニット) は、Wi-Fi (IEEE802.11b/g/n) 規格のものを使用してください。

無線 LAN 設定の流れ

ステップ 1

アプリケーションメニューの「ネットワーク設定」を表示する。

(🔍143 ページ)



ステップ 2

ネットワーク設定 → 無線 LAN ページで「かんたん接続」、「簡易アクセスポイント」、「プロファイル 1」、「プロファイル 2」の設定を行います。(🔍145 ページ)

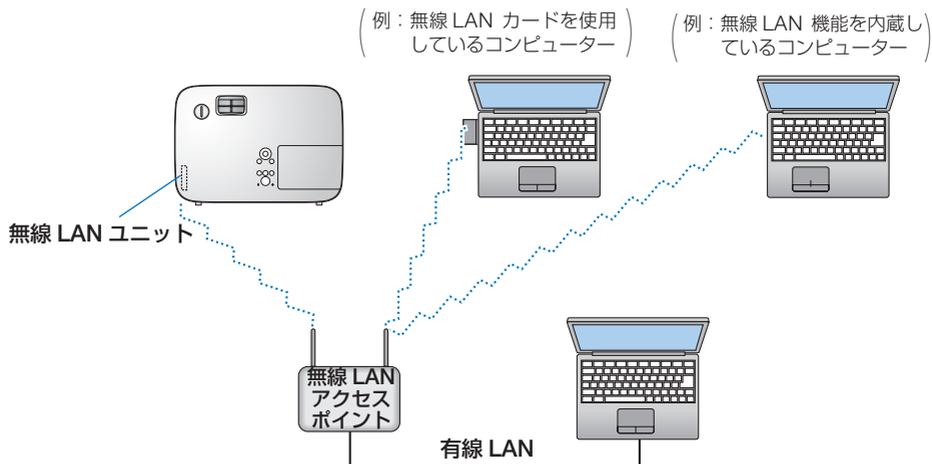


- HTTP サーバーから無線 LAN の設定を行う場合は、NETWORK SETTINGS → WIRELESS LAN ページで「EASY CONNECTION (かんたん接続)」、「SIMPLE ACCESS POINT (簡易アクセスポイント)」、「PROFILE 1 (プロファイル 1)」、「PROFILE 2 (プロファイル 2)」の設定を行います。

無線 LAN への接続例

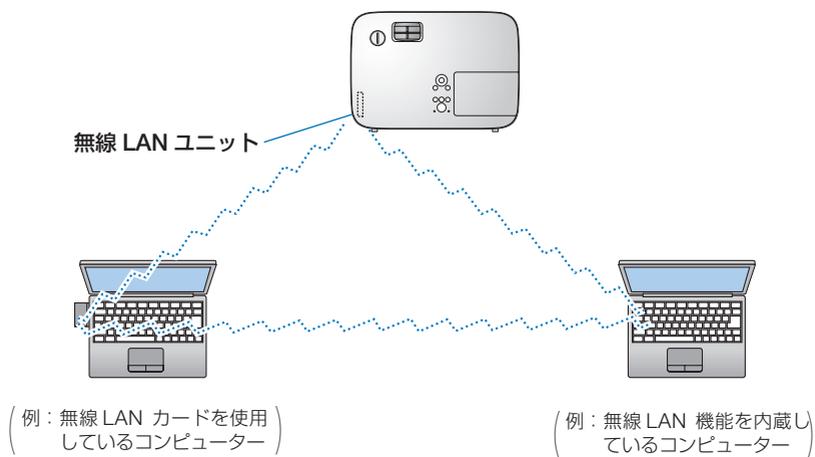
●通信モード：インフラストラクチャー

無線 LAN アクセスポイントを通じて有線/無線 LAN と接続する場合は、通信モードを「インフラストラクチャー」に設定します。(🔗 148 ページ)



●通信モード：アドホック

無線 LAN アクセスポイントを使わず、無線 LAN 端末同士で通信を行う場合は、通信モードを「アドホック」に設定します。(🔗 148 ページ)



無線 LAN ユニットを取り外す

ここでは無線 LAN ユニットの取り外しかたと取り付けかたと説明します。

注意

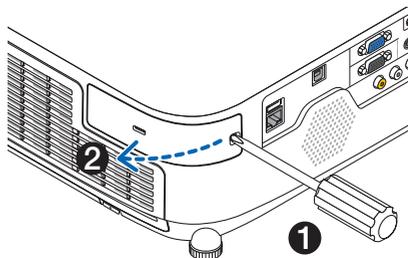
- 無線 LAN ユニットには表と裏があり、無線 LAN ユニット専用ポートに取り付ける向きが決まっています。逆に取り付けようとしてもできないようになっていますが、無理に押し込もうとすると、無線 LAN ユニット専用ポートが壊れます。
- 静電気による破損を防ぐため、無線 LAN ユニットに触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
- 無線 LAN ユニットの取り付け／取り外しは、電源コードを外して行ってください。本機の電源が入っているときやスタンバイ状態のときに無線 LAN ユニットの取り付け／取り外しを行うと、無線 LAN ユニットが壊れたり、本機が誤動作することがあります。万一本機が誤動作した場合は、本機の電源を切り、電源コードを抜いてください。その後電源コードを差し込んでください。
- USB (LAN) ポートには、無線 LAN ユニット以外の USB 機器を取り付けしないでください。また、USB ポートには無線 LAN ユニットを取り付けしないでください。

準備：プラスドライバーを用意してください。

1 電源ボタンを押して本機をスタンバイ状態にし、電源コードを抜く。

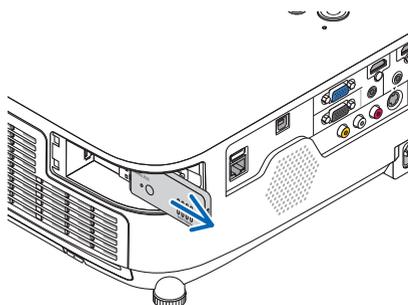
2 USB (LAN) ポートカバーを取り外す。

- 1 カバーを固定しているネジを左に空転するまでゆるめます。
・ネジは外れません。
- 2 カバーを開いて取り外します。



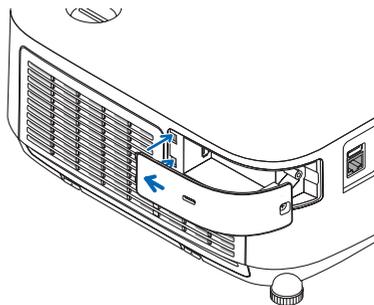
3 無線 LAN ユニートを USB (LAN) ポートからゆっくり引き抜く。

- ・取り外した無線 LAN ユニートは大切に保管してください。

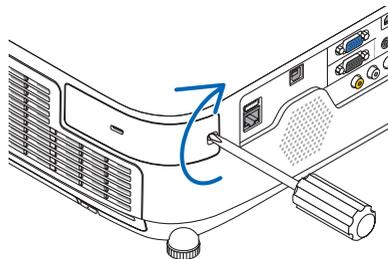


4 USB (LAN) ポートカバーを取り付ける

① USB (LAN) ポートカバーの先端のツメを本体のミゾに入れ、カバーを閉めます。



② ネジを右へ回してカバーを固定します。



※ 取り付けるときも電源コードを抜いてから同じ要領で行ってください。

・このとき、表面（インジケーターのある面）を外側にして差し込んでください。



- 挿入しづらい場合は、無理に押し込まないでください。
- 無線 LAN ユニットが動作中には、無線 LAN ユニットにある緑色 LED が点滅します。無線 LAN ユニットが正しく取り付けられていない場合、LED は点滅しません。
- 無線 LAN ユニットのボタンは押さないでください。本機では使用できません。

7. 本体のお手入れ／ランプの交換

7-1. フィルターの清掃

吸気口のフィルターはプロジェクター内部をほこりや汚れから守っています。フィルターにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、汚れが気になるときは清掃をしてください。

参考

● フィルター清掃時期の表示について

本機には、フィルターの清掃時期をお知らせする機能があります。あらかじめ設定した時間（工場出荷時は「切」）を超えて本機を使用すると、画面上に「フィルター清掃時期です。」のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、フィルターを清掃してください。

- ・ 設置する環境に合わせて、フィルター清掃のメッセージ表示間隔を変更することができます。設定についてはオンスクリーンメニューの「フィルターメッセージ」(▶ 128 ページ) をご覧ください。
- ・ フィルター清掃のメッセージは、電源投入時の1分間、および本機の \odot ボタンまたはリモコンの電源(切)ボタンを押したときに表示されます。
- ・ 「フィルター清掃時期です。」というメッセージは、本機またはリモコンのいずれかのボタンを押すと消えます。

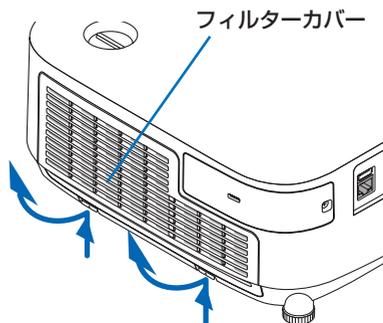
本機のフィルターは大型2層構造で冷却と防塵効果を向上させています。ほこりは1層目および2層目フィルターの外側(空気の入る方)で除去します。このためフィルターの清掃はフィルターユニットおよびフィルターカバーを取り外して清掃します。



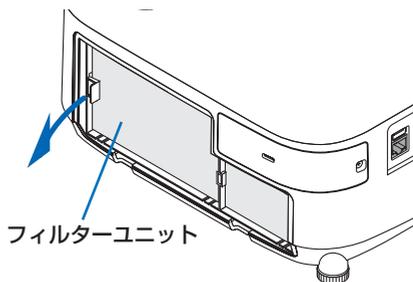
注意

フィルターの清掃は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分冷えてから行ってください。動作中にフィルターユニットを外すとやけどや内部に触れて感電のおそれがあります。

- 1 左右のボタンを上を押したまま手前に引いてフィルターカバーを取り外す。

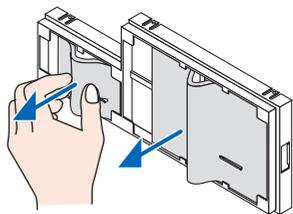


2 フィルターユニットのツマミを手前に引いて取り外す。

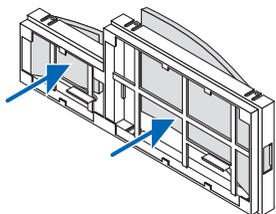


3 フィルター 4 枚を取り外す。

① フィルターユニットを裏返して、ジャバラ状のフィルター（大・小）をつまんで取り外します。



② ハニカム状のフィルターの中央付近を指で押してフィルター（大・小）を取り外します。
・大きい方のフィルターは右端を押しても外れません。

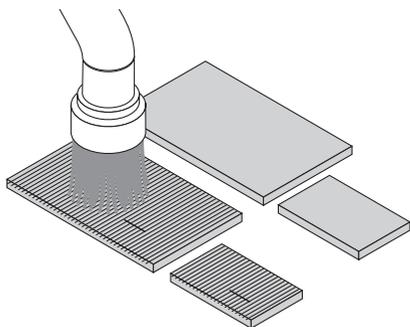


4 掃除機でフィルター 4 枚のほこりを吸い取る。

ジャバラ状のやわらかいフィルターのすき間のほこりもていねいに取り除いてください。

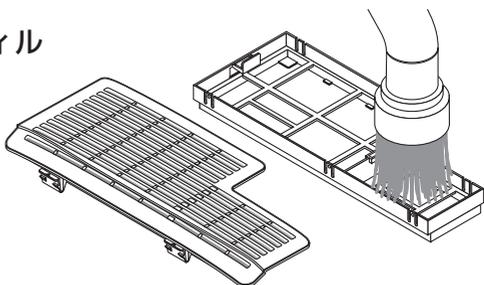
注意

- フィルターの清掃はブラシ付きアダプターを使用してください。アダプターを付けずに直接当てたり、ノズルアダプターを使用することは避けてください。
- 水洗いをしないでください。目づまりの原因となります。



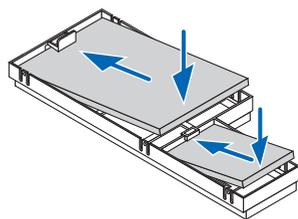
5 フィルターユニットおよびフィルターカバーのほこりを取り去る。

表側と裏側を清掃してください。

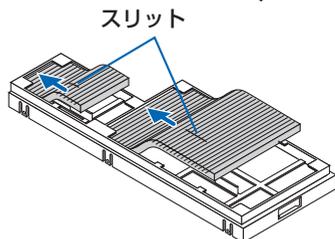


6 フィルターユニットにフィルター4枚を取り付ける。

- 1 ハニカム状の固いフィルター（大、小）を左端を先に入れ、右端を押して入れます。
 - ・大きい方のフィルターを右端から入れると入りません。

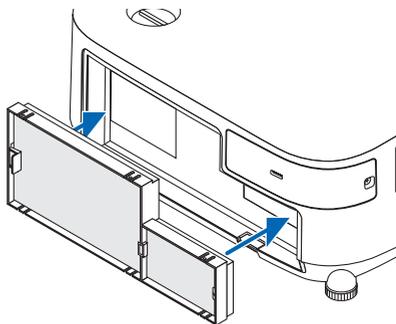


- 2 フィルターユニットを裏返します。ジャバラ状のやわらかいフィルター（大、小）を取り付けます。このフィルターにはスリット（切れ目）があります。フィルターのスリットをフィルターユニットの突起部に合わせてください。



7 フィルターユニットを本体に取り付ける。

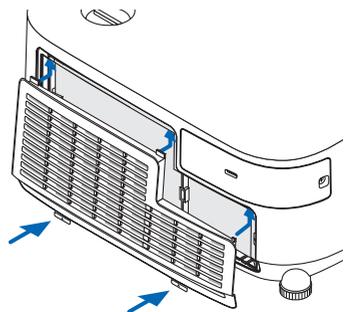
向きを合わせて押し込んでください。



8 フィルターカバーを本体に取り付ける。

フィルターカバーの上端にあるツメ2箇所を本体のミゾに入れ、左右のボタンを押して閉めます。

- ・「カチッ」と音がしてフィルターユニットが固定されます。



9 フィルター使用時間をクリアする。

電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。

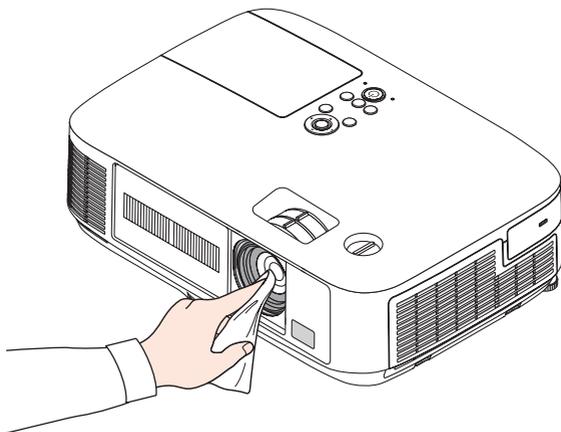
オンスクリーンメニューのリセットの「フィルター時間クリア」を選択してください。

(▶140 ページ)

7-2. レンズの清掃

本機のレンズはプラスチック製です。レンズを清掃する際は、プラスチックレンズ手拭専用洗浄液（推奨品：オリンパス製 EE-3310 または EE-3320）を使用して汚れをふき取ってください。

オリンパス製 EE-3310 または EE-3320 は、カメラ販売店等でお買い求めください。



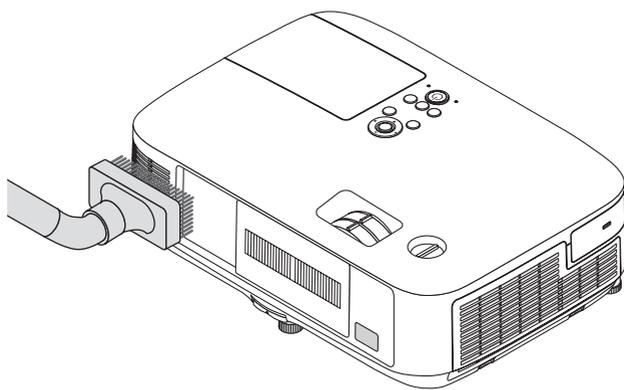
注意

- ガラス用クリーナーやアルコールなどは絶対に使用しないでください。プラスチックレンズの表面を侵食し、輝度低下や画質劣化の原因となります。

7-3. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風孔やスピーカー部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプターを使用して吸い取ってください。なお、アダプターを付けずに直接当てたり、ノズルアダプターを使用することは避けてください。



通風孔のほこりを吸い取ります。

- 通風孔にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、お客様相談センターにお問い合わせください。

注意

- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるとの原因となります。

7-4. ランプとフィルターの交換

光源に使われているランプの使用時間がランプ交換時間(目安)*¹ (🔵 139 ページ)を超えるとランプインジケーターが赤く点滅し、メッセージ「ランプの交換時期です。新しいランプに交換してください。安全・性能維持のため指定ランプを使用してください。」が画面上に表示されます*²。

この場合は光源ランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。

なお、エコモードで使用している割合が多いとランプ交換時間(目安)*¹が延びます。したがってこの場合ランプ使用時間は延びることになります。現在のランプ使用残量の目安はオンスクリーンメニューの「情報(使用時間)」(🔵 138 ページ)をご覧ください。

- 安全・性能維持のため指定ランプを使用してください。
- 交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際は RICOH PJ 交換用ランプタイプ12をご指定ください。
- 交換用ランプにはフィルターが添付されていますので、ランプを交換したあとにフィルターも交換してください。
- ランプには、ランプ保護のためガラスが付いています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。

また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。

- メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れるときには、大きな音をともなって破裂し、ランプの破片がランプユニット内に散らばります。この場合は、お客様相談センターに交換を依頼してください。
- 本機を天吊りで設置した状態でランプ交換を行う場合は、本機の下部に人が入らないように注意してください。ランプが破裂している場合に、ランプの破片が飛散するおそれがあります。
- ランプ交換時間(目安)*¹に到達後100時間を超えて使用すると、ランプインジケーターが赤く点灯するとともにスタンバイ状態になり電源が入らなくなります。

※1 保証時間ではありません。

※2 ランプ交換のメッセージは電源投入時の1分間、および本機のⓍボタンまたはリモコンの電源(切)ボタンを押したときに表示されます。

電源投入時にランプ交換のメッセージを消す場合は本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。



注意

ランプの交換は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、約1時間おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。



注意

天吊りされたプロジェクターの清掃や部品の交換は、販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

- ・天吊りされたプロジェクターを清掃したり、部品の交換をしたりしないでください。落下によるけがの原因になります。
- ・天吊りされたプロジェクターのランプカバーを開けないでください。ランプカバーが落下したり、また万一、ランプが破裂しているとガラス破片が落下してけがの原因になります。



注意

指定のネジ以外は外さないでください。



注意

ランプ交換には必ず新品の専用ランプを使用してください。専用ランプ以外を使用すると破損してけがの原因になります。



注意

ランプが割れたときの対処

- ・万一、ランプが破裂したときは、本機の電源プラグを抜き、本機のある部屋から退室し室内を十分に換気してください。
- ・ランプが破裂したときに、ガラスの粉じんや水銀ガスが目に入ったり、吸い込んだりしたと思われるときは、速やかに医師に相談してください。
- ・割れたガラス部品でけがをしないように注意しつつ本機の周囲を念入りに清掃してください。
- ・本機近くに置かれていた食品は捨ててください。
- ・販売店にランプの交換と本機の内部点検を依頼してください。

ランプとフィルター交換の流れ

ステップ 1

ランプを交換する (👉このページ)

ステップ 2

フィルターを交換する (👉187 ページ)

ステップ 3

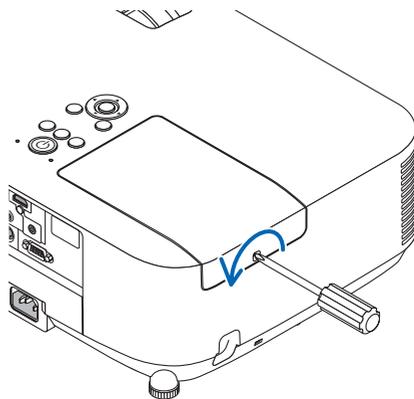
ランプ時間とフィルター使用時間をクリアする (👉189 ページ)

ランプを交換する

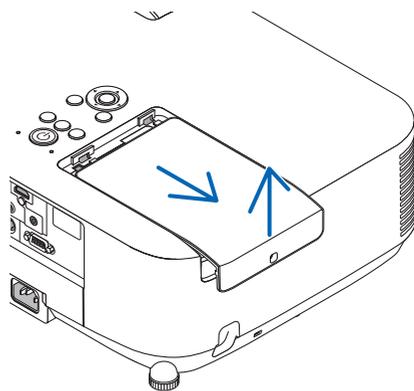
準備：プラスドライバーを用意してください。

1 ランプカバーを外す。

- 1 ランプカバーネジを空転するまで左にゆるめる。
 - ・ネジは外れません。

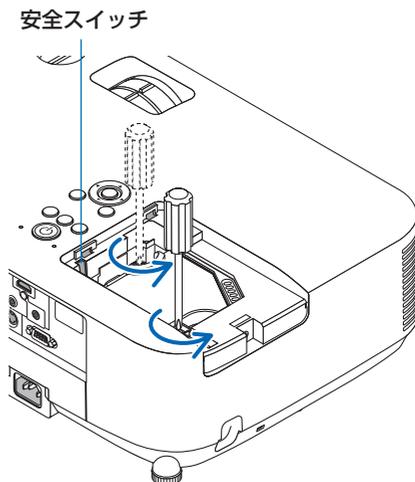


- 2 ランプカバーを手前にスライドさせ、持ち上げて取り外す。



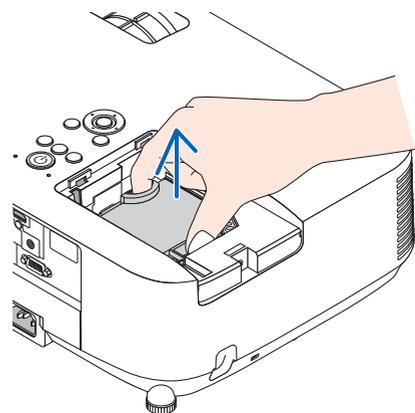
2 ランプを外す。

- 1 ランプ固定のネジ（2箇所）を左に空転するまでゆるめる。
 - ・ネジは外れません。
 - ・本機には安全スイッチが付いています。安全スイッチには触れないでください。



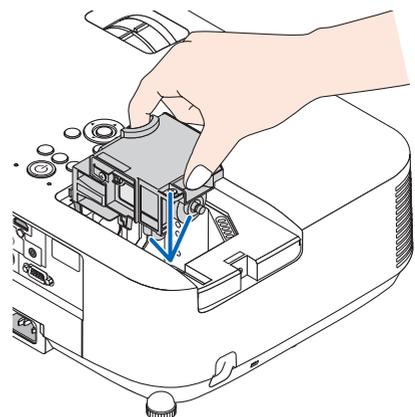
- 2 ランプのつまみを指で挟んで持ち上げる。

 注意	高温に注意してください。ランプが冷えていることを確認してから外してください。
---	--



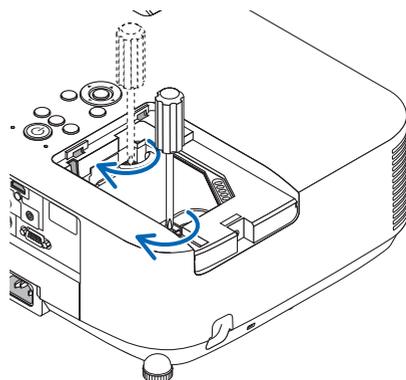
3 新しいランプを取り付ける。

- 1 ランプを静かに入れる。
 - ・奥まで押し込んでください。
- 2 ランプの中央部分を押し、ランプのプラグを本体のソケットへ確実に差し込む。



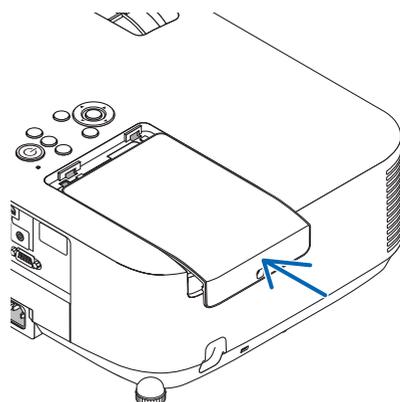
3 ランプ固定のネジ (2箇所) を右に回してしめる。

- ネジは確実にしめてください。



4 ランプカバーを取り付ける。

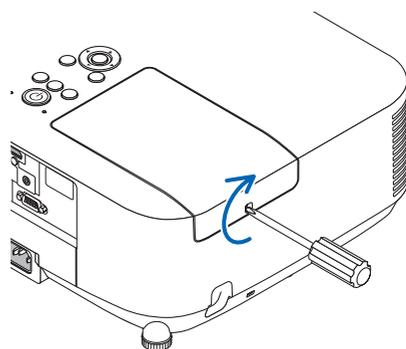
1 ランプカバーをスライドさせて取り付ける。



2 ランプカバーネジを右に回してしめる。

- ネジは確実にしめてください。

これで、ランプ交換が終わりました。
続いてフィルターを交換してください。



参考

- ランプ交換時間 (目安)* (▶139 ページ) に到達後 100 時間を超えて使用すると、電源が入らなくなります。その場合は、スタンバイ状態でリモコンの(ヘルプ)ボタンを 10 秒以上押すことでランプ残量とランプ時間をクリアできます。クリアされたかどうかは、ランプインジケーターが消灯することで確認できます。
※保証時間ではありません。

フィルターを交換する

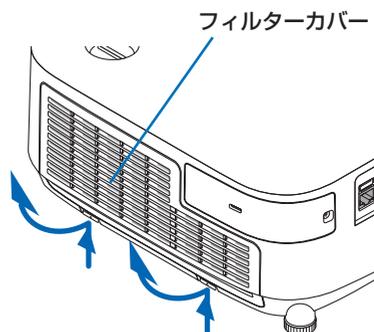
交換ランプに添付されているフィルターは4枚あります。
ハニカム状の目の粗いフィルター…大と小
ジャバラ状に折り畳んだ目の細かいフィルター…大と小
説明に従って間違わないように交換してください。

注意

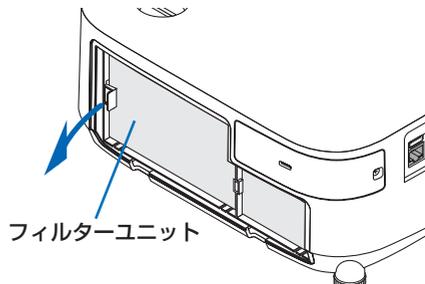
- フィルターは、4枚とも同時期に交換してください。
- フィルターを交換するときは、プロジェクター本体のほこりをよくふき取ってから行ってください。
- プロジェクターは精密機器ですので、内部にほこりが入らないようにご注意ください。
- フィルターは水洗いしないでください。目詰まりの原因となります。
- 必ずフィルターを正しく取り付けてください。フィルターを正しく取り付けていないと、内部にほこりなどが入り故障の原因となります。

準備：先にランプの交換を行ってください。(▶184 ページ)

- 1 左右のボタンを上を押したまま手前に引いてフィルターカバーを取り外す。

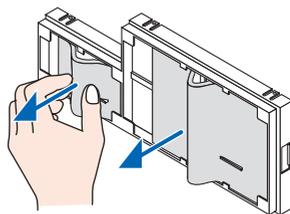


- 2 フィルターユニットのツマミを手前に引いて取り外す。

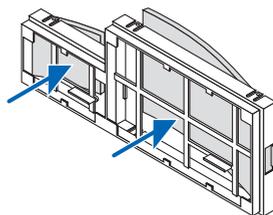


- 3 フィルター4枚を取り外す。

- 1 フィルターユニットを裏返して、ジャバラ状のフィルター（大・小）をつまんで取り外します。

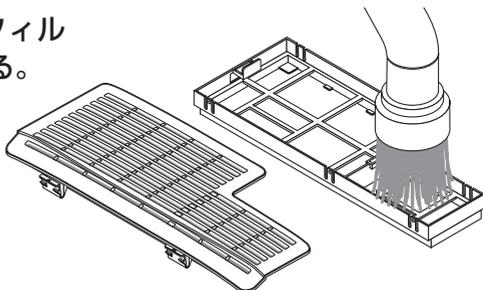


- ② ハニカム状のフィルターの中央付近を指で押しつけてフィルター(大・小)を取り外します。
- ・大きい方のフィルターは右端を押しつけても外れません。



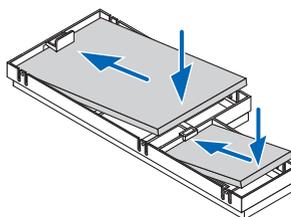
④ フィルターユニットおよびフィルターカバーのほこりを取り去る。

表側と裏側を清掃してください。

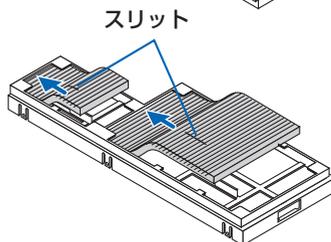


⑤ フィルターユニットに新しいフィルター4枚を取り付ける。

- ① ハニカム状の固いフィルター(大・小)を左端を先に入れ、右端を押しつけて入れます。
- ・大きい方のフィルターを右端から入れると入りません。

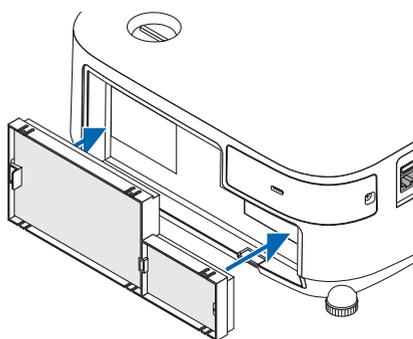


- ② フィルターユニットを裏返します。ジャバラ状のやわらかいフィルター(大・小)を取り付けます。このフィルターにはスリット(切れ目)があります。フィルターのスリットをフィルターユニットの突起部に合わせてください。



⑥ フィルターユニットを本体に取り付ける。

向きを合わせて押し込んでください。

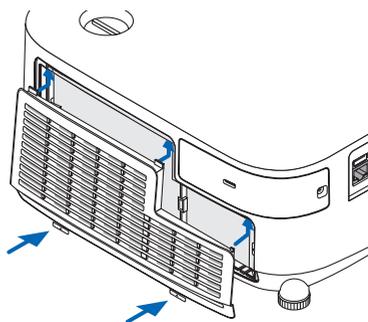


7 フィルターカバーを本体に取り付ける。

フィルターカバーの上端にあるツメ2箇所を本体のミゾに入れ、左右のボタンを押して閉めます。

- ・「カチッ」と音がしてフィルターユニットが固定されます。

これで、フィルター交換が終わりました。
続いてランプ時間とフィルター使用時間をクリアしてください。



ランプ時間とフィルター使用時間をクリアする

1 本機を投写する場所に設置する。

2 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。

3 ランプ時間やフィルター使用時間をクリアする。

- 1 オンスクリーンメニューのリセットで「ランプ時間クリア」を実行してください。(▶140 ページ)
- 2 続いて「フィルター時間クリア」を実行してください。(▶140 ページ)

8. ユーザーサポートウェア

8-1. インストール方法

Windows 用ソフトウェアのインストール

ソフトウェアは、Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows XP に対応しています。

- ・ Windows XP のサポートについて
マイクロソフト社の Windows XP のサポート終了に伴い、本機についても Windows XP のサポートを終了させていただきます。

注意

- ソフトウェアのインストール/アンインストールは、Windows 8/Windows 7/Windows Vista の場合「管理者」権限、Windows XP の場合「コンピュータの管理者」権限で行ってください。
- インストールを行う前に、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了してください。他のアプリケーションソフトが起動していると、インストールが正常に終了しない場合があります。
- Projection Utility は、システムドライブにインストールします。「インストール先の空き容量が不足しています」というエラーが表示された場合、十分な空き容量 (約 100 メガバイト程度) を確保してから、インストールしてください。

- 説明とコンピューターの画面は Windows 7 で行っています。

1 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

メニューウィンドウが表示されます。



参考

メニューウィンドウが表示されないときは、次の手順を行ってください。

(※ Windows 7 のときの例)

- 1 Windows の [スタート] をクリックする。
- 2 [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [ファイル名を指定して実行] をクリックする。
- 3 [名前(O)] に CD-ROM ドライブ名^(*) (例: [Q:¥]) と [LAUNCHER.EXE] を続けて入力する。(例: Q:¥LAUNCHER.EXE)
^(*) CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピューターによって異なります。
- 4 [OK] をクリックする。
メニューウィンドウが表示されます。

2 インストールするソフトウェアをクリックする。

インストールの準備が始まります。

- 以降は、画面のメッセージに従って操作してください。



●ソフトウェアのアンインストール方法

準備: アンインストールの前に、アンインストールするソフトウェアを終了してください。

アンインストールの際は、Windows 8/Windows 7/Windows Vista は「管理者」権限、Windows XP は「コンピュータの管理者」権限で行ってください。

◆Windows 7/Windows Vista の場合

- 1 「スタート」 → 「コントロールパネル」の順にクリックする。
コントロールパネル画面が表示されます。
- 2 「プログラム」の下の「プログラムのアンインストール」をクリックする。
プログラムと機能画面が表示されます。
- 3 一覧からアンインストールするプログラムをクリックする。
- 4 「アンインストールと変更」または「アンインストール」をクリックする。
 - ・ ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「続行 (C)」ボタンをクリックします。

以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

◆Windows XP の場合

- 1 「スタート」 → 「コントロールパネル」の順にクリックする。
コントロールパネル画面が表示されます。
- 2 「プログラムの追加と削除」をダブルクリックする。
プログラムの追加と削除画面が表示されます。
- 3 一覧からアンインストールするプログラムをクリックし、「削除」をクリックする。
以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

Mac 用ソフトウェアのインストール

Projection Utility for Mac OS は、Mac OS X に対応しています。

- 1** 添付の CD-ROM を Mac の CD-ROM ドライブにセットする。
- 2** CD-ROM アイコンをダブルクリックする。
CD-ROM のウィンドウが表示されます。
- 3** 「Mac OS X」フォルダーをダブルクリックする。
- 4** 「Projection Utility.dmg」をダブルクリックする。
「Projection Utility」フォルダーが表示されます。
- 5** このウィンドウ内の「Projection Utility」フォルダーを Mac OS の「アプリケーション」フォルダーにドラッグ・アンド・ドロップする。



参考

●ソフトウェアのアンインストール方法

- 1** 「Projection Utility」フォルダーをゴミ箱に入れる。
- 2** Projection Utility の環境設定ファイルをゴミ箱に入れる。
 - Projection Utility for Mac OS の環境設定ファイルは、「/ ユーザ / あなたのユーザー名 / ライブラリ / Preferences / jp.co.Ricoh.Projection-Utility.plist」にあります。

8-2. LAN を経由して画像や動画を投写する (Projection Utility)

Projection Utility (Windows 用) または Projection Utility for Mac OS (Mac OS 用) を使用すると、コンピューターから USB ケーブルやネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) を経由してプロジェクターへ画像を伝送し、投写することができます。

ここでは、本機を LAN に接続して、Projection Utility を使用するまでの流れを説明します。Projection Utility の詳しい操作については、Projection Utility のヘルプをご覧ください。

ステップ① : Projection Utility をコンピューターにインストールする (🔗 190 ページ)

ステップ② : 本機を LAN に接続する (🔗 194 ページ)

ステップ③ : Projection Utility を起動する (🔗 194, 197 ページ)

参考

- Projection Utility (Windows 用) は、コンピューターにインストールしなくても、市販の USB メモリーや SD カードなどのリムーバブルメディアから起動して使用することができます。(🔗 196 ページ)

Projection Utility (および for Mac OS) でできること

●画像伝送 (Windows 用 / Mac OS 用)

- コンピューターケーブルを接続する代わりに、ネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) を使ってコンピューターの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。
- ネットワーク設定を省略し自動的にコンピューターとプロジェクターを接続することができます (かんたん接続)。
- 同時に最大 4 台のプロジェクターへコンピューターの画面を伝送できます。

●音声伝送 (Windows 用のみ)

- コンピューターの画面に加えて、ネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) または USB ケーブルを使って、コンピューターの音声をプロジェクターへ伝送して出力することができます。
- コンピューターとプロジェクターが 1 対 1 で接続されている場合に利用できます。

●動画ストリーミング再生 (Windows 用のみ)

- コンピューター内の動画ファイルをネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) を使ってプロジェクター (1 台のみ) へ送信して再生することができます。
※再生可能な動画ファイルについては 🔗 86 ページをご覧ください。

●USB ディスプレイ (Windows 用のみ)

- コンピューターケーブルを接続する代わりに、USB ケーブルを接続して、コンピューターの画面と音声をプロジェクターへ伝送して投写することができます。
- USB ディスプレイは、Projection Utility をインストールしていなくても、コンピューター (Windows) とプロジェクターを USB ケーブルで接続するだけで働きます (プラグアンドプレイ)。(🔗 62 ページ)

●幾何学補正 (Geometric Correction Tool) (Windows 用のみ)

- 「8-3. スクリーンに斜め方向から投写する (Projection Utility の幾何学補正)」をご覧ください。(🔗 198 ページ)

本機を LAN に接続する

本書の「6-5. 有線 LAN と接続する」(172 ページ)、「6-6. 無線 LAN と接続する」(173 ページ)、および「5-8. アプリケーションメニュー」の「ネットワーク設定」(143 ページ)の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

Windows を使用する場合

- Windows XP のサポートについて
マイクロソフト社の Windows XP のサポート終了に伴い、本機についても Windows XP のサポートを終了させていただきます。

● Projection Utility を起動する

1 Windows の [スタート] → [すべてのプログラム] → [Ricoh Projector User Supportware] → [Projection Utility] → [Projection Utility] の順にクリックする。

Projection Utility が起動します。
ネットワーク接続の選択ウィンドウが表示されます。

2 使用するネットワークを選択し、[OK] をクリックする。

- コンピュータとプロジェクターを 1 対 1 で接続する場合は「かんたん接続」をおすすめします。
- 「かんたん接続」で使用されているネットワークが複数見つかった場合は、3 のウィンドウが表示されます。
- 接続するプロジェクターが使用しているネットワークを確認するには、プロジェクターのオンスクリーンメニューの [情報] → [無線 LAN] 画面を表示し、「SSID」の文字列を確認してください。



3 使用するネットワークを選択し、[選択(S)] をクリックする。

接続先選択ウィンドウが表示されます。

4 接続するプロジェクターにチェックマークを付け、[接続(C)] をクリックする。

- 複数のプロジェクターが表示された場合は、接続するプロジェクターのオンスクリーンメニューの [情報] → [無線 LAN] 画面を表示し、「IP アドレス」を確認してください。



プロジェクターと接続すると、コントロールウィンドウを操作してコンピューターをコントロールできるようになります。

注意

- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「省電力」または「ネットワークスタンバイ」に設定しているプロジェクターは、スタンバイ状態のときに接続先選択に表示されません。

5 コントロールウィンドウを操作する。



名称	説明
① (ストリーミング)	ストリーミングウィンドウが表示されます。 操作方法は、Projection Utility のヘルプの「動画ストリーミング再生機能」をご覧ください。
② (入力)	プロジェクターの入力信号を切り替えます。
③ (映像)	ブランク (映像消去)、フリーズ (静止画)、表示、GCT (幾何学補正) が行えます。 GCT (幾何学補正) については、 198 ページ をご覧ください。
④ (音声)	ミュート (音声消去)、再生、音量の調整が行えます。
⑤ (その他)	更新、HTTP サーバー (注)、設定、情報が行えます。 (注) HTTP サーバーは、USB ケーブル接続時は選択できません。
⑥ (終了)	Projection Utility を終了します。同時にプロジェクターの電源を切ることもできます。
⑦ (ヘルプ)	Projection Utility のヘルプを表示します。

参考

- **Projection Utility のヘルプ表示方法**
- ◆ **Projection Utility の起動中に表示する**
 - ① コントロールウィンドウの (ヘルプ) をクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。
- ◆ **GCT (幾何学補正) の起動中に表示する**
 - ① 編集ウィンドウの「ヘルプ」→「ヘルプ」をクリックする
ヘルプ画面が表示されます。
- ◆ **スタートメニューから表示する**
 - ① 「スタート」→「すべてのプログラム」→「Ricoh Projector User Supportware」
→「Projection Utility」→「Projection Utility Help」の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

● USB メモリーや SD カードから Projection Utility を起動する

市販の USB メモリーや SD カードなどのリムーバブルメディアに Projection Utility をコピーしておけば、コンピューターにインストールすることなく、Projection Utility を起動することができます。

1 リムーバブルメディアに Projection Utility をコピーする。

添付の CD-ROM 内の「Projection_Utility (removable-media)」フォルダー内の全てのフォルダーおよびファイル（ファイルサイズ合計約 6 MB）をリムーバブルメディアのルートディレクトリにコピーします。

2 コンピューターにリムーバブルメディアを挿入する。

「自動再生」ウィンドウが表示されます。



- 「自動再生」ウィンドウが表示されない場合は、「コンピュータ」(Windows XP の場合は「マイ コンピュータ」) からフォルダーを開いてください。

3 「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックする。

RPU.exe およびその他のフォルダーやファイルが表示されます。

4 RPU.exe アイコン (📁) をダブルクリックする。

Projection Utility が起動します。



- リムーバブルメディアから Projection Utility を起動した場合は、「かんたん接続」は使用できません。

Mac OS で使用する場合

● Projection Utility for Mac OS を起動する

- 1 Mac OS の「アプリケーションフォルダー」を開く。
- 2 「Projection Utility」フォルダーをダブルクリックする。
- 3 「Projection Utility」アイコンをダブルクリックする。

Projection Utility for Mac OS が起動すると、接続先選択ウィンドウが表示されます。

- 初回起動時には、接続先選択ウィンドウが表示される前に使用許諾契約ウィンドウが表示されます。使用許諾契約書の内容をお読みのうえ、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し [OK] をクリックしてください。



- 4 接続先選択ウィンドウで、プロジェクターを選択し、[接続] をクリックする。

デスクトップ画面がプロジェクターから投写されます。

参考

● Projection Utility for Mac OS のヘルプ表示方法

◆ Projection Utility for Mac OS の起動中に表示する

- 1 メニューバーの「ヘルプ」→「Projection Utility ヘルプ」の順にクリックする。ヘルプ画面が表示されます。

8-3. スクリーンに斜め方向から投写する (Projection Utility の幾何学補正)

Projection Utility の「GCT」(幾何学補正 / Geometric Correction Tool) を使用すると、スクリーンに対して斜め方向から投写したときなどの画面の歪みを調整できます。

幾何学補正 (GCT) でできること

- 幾何学補正 (GCT) には、以下の 3 つの機能があります。
 - ・ 4点補正 …………… 歪んだ投写画面の 4 つの角を移動してスクリーンの角に合わせることで、簡易な操作でスクリーンの枠内に投写画面を収めることができます。
 - ・ 多点補正 …………… 4点補正から、さらに画面を分割して補正を行うことにより、コーナーや複雑なスクリーンに投写画面を合わせることができます。
 - ・ パラメータ補正 …… あらかじめ用意した変形規則を組み合わせて補正を行います。

ここでは、4点補正について説明します。

多点補正とパラメータ補正については、Projection Utility のヘルプをご覧ください。

[\(▶ 195 ページ\)](#)

- 補正した情報をプロジェクター本体またはコンピューターに保存し、必要なときに呼び出すことができます。
- USB ケーブル、ネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN)、映像ケーブルでの接続時に使用できます。
- 動画のストリーミング再生時は使用できません。

スクリーンに斜め方向から投写する (4点補正)

ここでは、USB ディスプレイ (コンピューターとプロジェクターを USB ケーブルで接続) の場合で説明します。

- ・ USB ディスプレイ機能を使用すると、コントロールウィンドウが自動で表示されます。
- ・ 映像ケーブルやネットワーク接続の場合は、コンピューターに Projection Utility をインストールして起動し、コントロールウィンドウを表示してください。 [\(▶ 193 ページ\)](#)

準備 : スクリーン全体が入るように投写画面の向きや大きさ (ズーム) を調整してください。

1 (映像) アイコンをクリックし、

 ボタンをクリックする。

4点補正編集ウィンドウが表示されます。



2 4点補正編集ウィンドウの「補正開始」ボタンをクリックし、「4点補正開始」ボタンをクリックする。

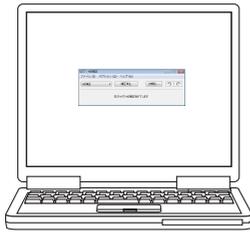
投写画面に緑色の枠とマウスポインター「

- 緑色の枠の4つの角には「●」が表示されます。

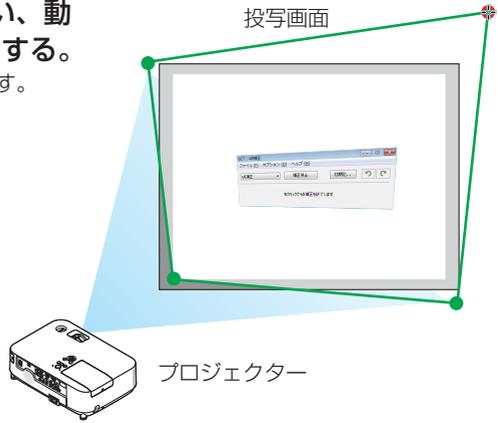


3 投写画面上でマウス操作を行い、動かしたい角の「●」をクリックする。

- 選択されている「●」は赤色になります。

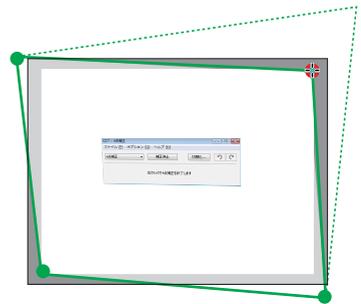


(Windows の画面は省略しています)

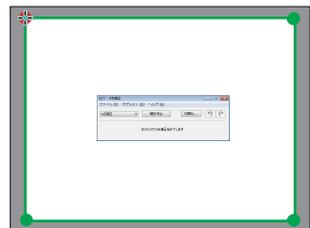


4 補正したいところまでドラッグ&ドロップする。

- 投写画面内でマウスクリックすると、最も近い角がマウスポインターの位置に動きます。



5 3、4の手順を繰り返し、画面の歪みを調整する。



6 調整が終わったら、マウスを右クリックする。

投写画面から緑色の枠とマウスポインターが消えて、調整が終了します。

7 4点補正編集ウィンドウのをクリックする。

4点補正編集ウィンドウが消え、4点補正の調整が確定されます。

8 コントロールウィンドウのをクリックして終了する。

参考

- 調整終了後、4点補正編集ウィンドウの「ファイル」→「プロジェクターに書き出し」をクリックすることで、4点補正の調整値を保存しておくことができます。
- 4点補正編集ウィンドウの詳細な操作については、Projection Utility のヘルプをご覧ください。[\(195 ページ\)](#)

8-4. LAN を経由して画像を投写する (Advanced Network Utility)

Advanced Network Utility を使用すると、ネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）を経由してプロジェクターへ画像を伝送し、投写することができます。Projection Utility との違いは複数のプロジェクターに同時に画像を伝送できることです。さらに「ミーティングモード」では、複数のコンピューター間で画像のやり取りができます。

Advanced Network Utility でできること

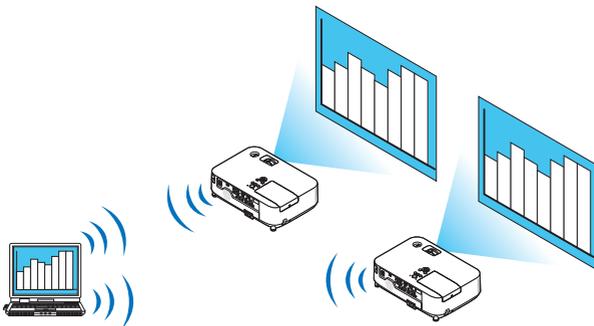
- 圧縮技術採用による高速、高品位な画像送信

圧縮技術の採用により、ほとんど画質を劣化させることなくコンピューターの画面をコンパクトに圧縮します。それにより、ネットワークを経由して、高速にプロジェクターへ送信することができます。



- 複数のプロジェクターで同時投写が可能

1台のコンピューターから、1台のプロジェクターへ画像を送信するだけでなく、複数のプロジェクターへ同時に送信し投写することができます。



- 簡単な設定で、無線 LAN 接続を行う「かんたん接続」機能

「かんたん接続」機能*1を使用すると、複雑な無線 LAN の設定を簡略化することができます。

*1 OS が Windows XP で「コンピュータの管理者」権限の場合に使用できます。OS が Windows 8/Windows 7/Windows Vista の場合は、「管理者」のログオンパスワードの入力を求められることがあります。

● プロジェクターで投写した画像を、コンピューターへ送信／保存可能

「ミーティングモード」を使用すると、プロジェクターで投写した画像を参加者のコンピューターへも送信できます。また、受信した画像は、メモ（テキストデータ）を付けて自分のコンピューターに保存できます。

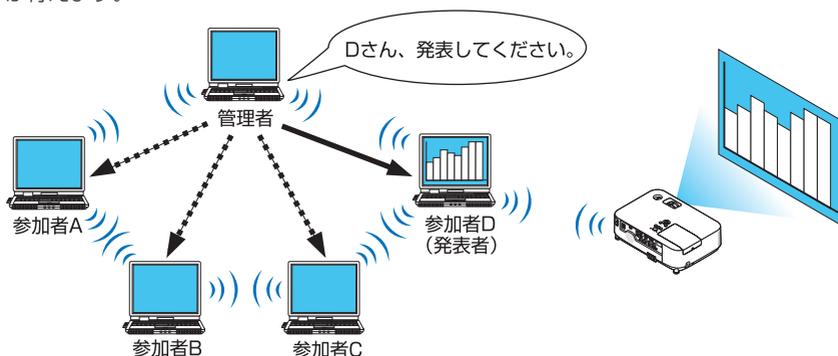


● 発表者の交代もワンクリックでOK

発表者を交代する場合でも、会議の参加者はボタンをクリックするだけで発表者の交代ができます。

● プロジェクターで投写するコンピューター（発表者）を1台のコンピューター（管理者）で集中管理可能

「プレゼンター指定モード」を使用すると、1台のコンピューター（管理者）からプロジェクターで投写するコンピューター（発表者と参加者）を管理できます。プロジェクターで投写するコンピューター（発表者）の切り替えや、プロジェクターとの通信の一時停止などの操作が行えます。



注意

- 「プレゼンター指定モード」は、Advanced Network Utility をインストールする際に、インストールタイプ「標準」を選択した場合にはインストールされません。「プレゼンター指定モード」を使用する場合は、Advanced Network Utility をインストールする途中に表示されるインストール選択画面で「拡張」を選択し、「プレゼンター指定モード（参加者）」または「プレゼンター指定モード（管理者）」を追加してインストールしてください。

本機を LAN に接続する

本書の「6-5. 有線 LAN と接続する」(172 ページ)、「6-6. 無線 LAN と接続する」(173 ページ)、および「5-8. アプリケーションメニュー」の「ネットワーク設定」(143 ページ)の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

Advanced Network Utility を操作する

ここでは、Advanced Network Utility の操作例として次の 3 つのケースについて説明します。

- (1) プロジェクターに画像を送信する
- (2) 会議を開催する
- (3) 会議に参加する

● プロジェクターに画像を送信する

プロジェクターに接続する

1 LAN の設定をしたプロジェクターの電源を入れる。

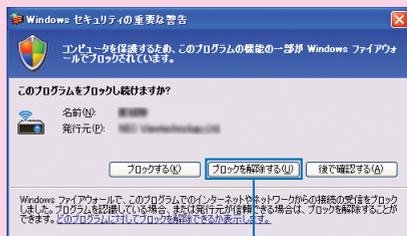
2 Windows の [スタート] → [すべてのプログラム] → [Ricoh Projector User Supportware] → [Advanced Network Utility] → [Advanced Network Utility] の順にクリックする。

「ネットワーク接続の選択」ウィンドウが表示されます。

お使いのコンピューターに接続されているネットワーク機器のリストが表示されます。



- Windows XP Service Pack 2 (SP2) 以降をインストールした環境で、ソフトウェアを起動した場合、次のような画面が表示されることがあります。この画面が表示された場合は [ブロックを解除する (U)] をクリックしてください。



クリック

3 使用するネットワーク機器を選択して、[OK] をクリックする。

プロジェクター側の LAN の設定で [かんたん接続] を設定している場合は、[かんたん接続] と表示されているネットワーク機器を選択してください。「接続先選択」ウィンドウが表示されず。

4 接続したいプロジェクターに (チェックマーク) を付け、[接続] をクリックする。

一覧に接続したいプロジェクター名が表示されていない場合、またはハイド表示されている場合は、[更新] をクリックしてください。

お使いのコンピューターの画面がプロジェクターから投写されます。

このとき、プロジェクターの入力信号が自動的に「ネットワーク」に切り替わります。

画像を送信する

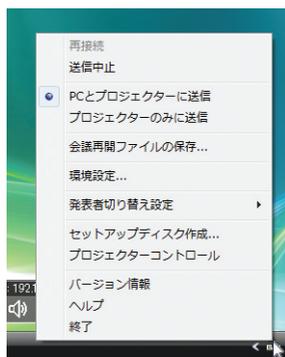
お使いのコンピューターがプロジェクターに接続すると、コンピューターの画面がそのままプロジェクターから投写されます。PowerPoint ファイルなどを使ってプレゼンテーションする場合は、この状態で PowerPoint ファイルを開き、プレゼンテーションを始めてください。

画像の送信を中止／再開する

コンピューターの画面をプロジェクターへ送信するのを一時的に中止し、その後再開します。

1 Windows のタスクトレイのプロジェクターアイコン () をクリックする。

ポップアップメニューが表示されます。



2 [送信中止] をクリックする。

タスクトレイのプロジェクターアイコンが変化
( → ) します。

注意

- この状態でコンピューターの画面を変えても、プロジェクターから投写される画像は変化しません。
公開したくない（プロジェクターで投写したくない）画面の操作を行う場合は、画像の送信を中止にしてください。

3 Windows のタスクトレイのプロジェクターアイコン () をクリックする。

ポップアップメニューが表示されます。

4 [送信開始] をクリックする。

タスクトレイのプロジェクターアイコンが変化
( → ) します。

コンピューターの画面の送信が再開され、現在のコンピューターの画面がプロジェクターから投写されます。

画像の送信を終了する

Advanced Network Utility を終了します。

1 Windows のタスクトレイのプロジェクターアイコン () をクリックする。

ポップアップメニューが表示されます。

2 [終了] をクリックする。

● 会議を開催する

会議を開催する

1 「プロジェクターに画像を送信する」の「プロジェクターに接続する」([203 ページ](#))の手順①～④と同様に操作する。

お使いのコンピューターの画面がプロジェクターから投写されます。

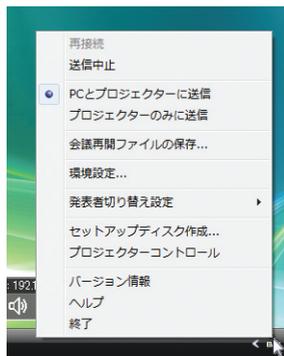
会議の参加者にファイルを公開する

注意

- 参加者にファイルを公開する場合は、フォルダー単位の選択になります。そのため、参加者に公開してもよいファイルだけを入れたフォルダーを事前に準備しておく必要があります。

1 Windows のタスクトレイのプロジェクターアイコン () をクリックする。

ポップアップメニューが表示されます。



2 [PC とプロジェクターに送信] の前に「・」マークが付いていることを確認する。

3 タスクバーの Advanced Network Utility アイコン () をクリックする。

発表者ウィンドウが開きます。



4 [フォルダを選択] ボタンをクリックする。

5 参加者に公開するファイルが保存されているフォルダを選択し、[OK] をクリックする。

選択したフォルダ内にあるファイルが、ファイル転送リストに表示されます。

6 [ダウンロード] ボタンをクリックする。

参加者にファイルが公開されます。

注意

- コンピューターがプロジェクターに接続されていると、コンピューターを操作中の画面でも、プロジェクターから投写されます。公開したくない（プロジェクターで投写したくない）画面の操作を行う場合は、画像の送信を一時的に中止してください。
( 204 ページ)

会議を終了する

1 発表者ウィンドウの [ファイル (F)] → [終了 (X)] の順にクリックする。

発表者ウィンドウの右上の [×] をクリックしても終了できます。

● 会議に参加する

会議に参加する

- 1 Windows の [スタート] → [すべてのプログラム] → [Ricoh Projector User Supportware] → [Advanced Network Utility] → [Advanced Network Utility] の順にクリックする。

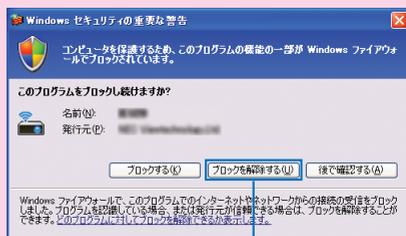
「ネットワーク接続の選択」ウィンドウが表示されます。

お使いのコンピューターに接続されているネットワーク機器のリストが表示されます。



重要

- Windows XP Service Pack 2 (SP2) 以降をインストールした環境で、ソフトウェアを起動した場合、次のような画面が表示されることがあります。この画面が表示された場合は [ブロックを解除する (U)] をクリックしてください。



クリック

- 2 使用するネットワーク機器を選択して、[OK] をクリックする。

プロジェクター側の LAN の設定で [かんたん接続] を設定している場合は、[かんたん接続] と表示されているネットワーク機器を選択してください。「会議選択」ウィンドウが表示されます。

- 3 接続したい会議をクリックして選択し、[接続] をクリックする。

選択した会議に接続し、参加者ウィンドウが表示されます。

発表者が [PC とプロジェクターに送信] を選択している場合は、プロジェクターから投写されている画像と同じものが参加者ウィンドウ内に表示されます。

受信した画像を保存する

1 参加者ウィンドウの [メモ] をクリックする。

メモペインが表示されます。

2 参加者ウィンドウの [画像保存] ボタンをクリックする。

参加者ウィンドウ内に表示されている画像が保存されます。

- ・ 保存した画像はメモ一覧に追加され、サムネイル表示されます。
- ・ 保存した画像には、メモを付けることができます。

参考

- 初期状態の保存先フォルダーは、Windows XP の場合「My Documents¥Advanced Network¥」です。
Windows 8/Windows 7/Windows Vista の場合は「Documents¥Advanced Network¥」です。
- 保存先フォルダーの下に、会議開催日時をもとにフォルダーを作成し、その下に保存します。
たとえば、2013年5月14日11時20分に会議が開催された場合、Windows XP のフォルダー名は「My Documents¥Advanced Network¥2013-05-14_11-20_会議記録」となり、その中に「会議記録」という HTML ファイルが作成されます。
また、保存した画像は「Image」フォルダー内に保存されます。

1 参加者ウィンドウの【ファイル転送】
ボタンをクリックする。

【ファイル転送】ウィンドウが表示されます。

2 ダウンロードするファイルを選択
し、【ダウンロード】ボタンをクリック
する。

ダウンロードが始まります。

ウィンドウの左下にダウンロードの経過が表示
されます。

3 ダウンロードが終了したら、【ファ
イル転送】ウィンドウの【ファイル
(F)】 → 【閉じる (C)】 の順にクリッ
クする。

【ファイル転送】ウィンドウが閉じます。



- [ダウンロード後開く] にチェックマークを付けた場合は、ダウンロード終了後、Windows で指定されたアプリケーションソフトでファイルを開きます。
- 初期状態の保存先フォルダーは、Windows XP の場合「My Documents¥Advanced Network¥」です。
Windows 8/Windows 7/Windows Vista の場合は「Documents¥Advanced Network¥」です。
- 保存先フォルダーの下に、会議開催日時をもとにフォルダーを作成し、その下に保存します。
たとえば、2013年5月14日11時20分に会議が開催された場合、Windows XP のフォルダー名は「My Documents¥Advanced Network¥2013-05-14_11-20_ 会議記録 ¥download」となります。

発表者を交代する

発表者を交代する設定には、「承認なし」、「承認あり」、「切り替え禁止」の3とおりがあります（発表者側でのみ切り替え可能）。ここでは、「承認なし」を設定している場合の操作を説明します。

1 参加者ウィンドウの【発表者になる】 ボタンをクリックする。

参加者から発表者に切り替わります。

会議から退出する

会議から退出して、Advanced Network Utility を終了します。

1 参加者ウィンドウの【ファイル(F)】 →【終了(X)】の順にクリックする。

発表者ウィンドウの右上の【×】をクリックしても終了できます。

8-5. JPEG 変換ツールでプレゼンテーションファイルを JPEG に変換する

Microsoft PowerPoint のプレゼンテーションファイルを、本機が対応している JPEG ファイルに変換できます。

変換した JPEG ファイルを USB メモリーに保存し本機でスライドを表示すると、パソコンがなくてもプレゼンテーションできます。

また、変換したファイルをサーバーへ転送することもできます。

動作環境

対応 OS	Windows XP Professional / Home Edition SP3 以降 (32bit 版) Windows XP Professional x64 Edition SP2 以降 (64bit 版) Windows Vista Ultimate / Business / Home Premium / Home Basic SP2 以降 (32bit / 64bit 版) Windows 7 Home Premium / Professional / Ultimate / Enterprise (32bit / 64bit 版) Windows 8 / Pro / Enterprise (32bit / 64bit 版)。
メモリーサイズ	使用している OS の推奨メモリーサイズに準拠

● Windows XP のサポートについて

マイクロソフト社の Windows XP のサポート終了に伴い、本機についても Windows XP のサポートを終了させていただきます。

JPEG 変換ツールのインストール

注意

- ソフトウェアのインストール／アンインストールは、Windows 8/Windows 7/Windows Vista の場合「管理者」権限、Windows XP の場合「コンピュータの管理者」権限で行ってください。
- インストールを行う前に、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了してください。他のアプリケーションソフトが起動していると、インストールが正常に終了しない場合があります。
- JPEG 変換ツールは、システムドライブにインストールします。「インストール先の空き容量が不足しています」というエラーが表示された場合、十分な空き容量 (約 100 メガバイト程度) を確保してから、インストールしてください。

1 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

メニューウィンドウが表示されます。



参考

メニューウィンドウが表示されないときは、次の手順を行ってください。

(※ Windows 7 のときの例)

- 1 Windows の [スタート] をクリックする。
- 2 [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [ファイル名を指定して実行] をクリックする。
- 3 [名前(O)] に CD-ROM ドライブ名^(*) (例 : [Q:¥]) と [LAUNCHER.EXE] を続けて入力する。(例 : Q:¥LAUNCHER.EXE)
(*) CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。
- 4 [OK] をクリックする。
メニューウィンドウが表示されます。

2 [JPEG 変換ツール] をクリックする。

インストールの準備が始まります。

- 以降は、画面のメッセージに従って操作してください。
- JPEG 変換ツールを起動するときは、デスクトップのショートカットまたは「RICOH JPEG Conversion Tool TypeA.exe」をダブルクリックします。
- JPEG 変換ツールの使用方法は、JPEG 変換ツールのヘルプを参照してください。

参考

- PowerPoint ファイルを変換するには、Microsoft PowerPoint 2003/2007/2010/2013 がインストールされている必要があります。
- JPEG 変換ツールは拡張子が「.ppt」または「.pptx」の静止画に対応しています。アニメーションや音声には対応していません。
- 拡張子が「.pptx」の PowerPoint ファイルを変換するには、Microsoft PowerPoint 2007 以上がインストールされている必要があります。
- スライドの枚数分の JPEG ファイルが作成されます。変換後のファイル名は「slideXXX.jpg」(XXX は連番の数字) です。
- 変換したファイルをサーバーに保存するときの設定方法は、JPEG 変換ツールのヘルプを参照してください。

8-6. プロジェクター管理ユーティリティで管理する

プロジェクター管理ユーティリティはPJLink クラス 1 の規格に適合し、クラス 1 のすべてのコマンドに対応しています。

1台のパソコンで、ネットワークに接続しているプロジェクターを100台まで管理できます。

動作環境

対応 OS	Windows XP Professional / Home Edition SP3 以降 (32bit 版) Windows Vista Ultimate / Business / Home Premium / Home Basic SP2 以降 (32bit / 64bit 版) Windows 7 Home Premium / Professional / Ultimate / Enterprise (32bit / 64bit 版) Windows 8 / Pro / Enterprise (32bit / 64bit 版) Windows Server 2008 Standard SP2 以降 (32bit / 64bit 版) Windows Server 2008 R2 Standard SP1 以降 (64bit 版)
メモリー	使用している OS の推奨メモリーサイズに準拠
解像度	800 × 600 ピクセル以上

プロジェクター管理ユーティリティのインストール

プロジェクター管理ユーティリティは付属の CD-ROM に格納されています。

注意

- 本ソフトウェアは、当社のプロジェクターを管理するためのソフトウェアです。当社のプロジェクター以外の製品を管理すると動作を保証できないことがあります。
- ソフトウェアのインストール／アンインストールは、Windows 8/Windows 7/Windows Vista の場合「管理者」権限、Windows XP の場合「コンピュータの管理者」権限で行ってください。
- インストールを行う前に、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了してください。他のアプリケーションソフトが起動していると、インストールが正常に終了しない場合があります。
- 本ソフトウェアは、システムドライブにインストールします。「インストール先の空き容量が不足しています」というエラーが表示された場合、十分な空き容量 (約 100 メガバイト程度) を確保してから、インストールしてください。

- 1 すべてのアプリケーションを閉じます。
- 2 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
選択画面が表示されます。
- 3 [プロジェクター管理ユーティリティ] をクリックします。
- 4 画面の指示に従って、インストールを実行します。
- 5 インストールが完了したら、[完了] をクリックします。
デスクトップにショートカットアイコンが作成されます。

- ・ プロジェクター管理ユーティリティの使用方法は、プロジェクター管理ユーティリティのヘルプを参照してください。

参考

- プロジェクター管理ユーティリティをアンインストールするときは、[コントロールパネル]にあるプログラム削除機能を使用して、「Projector Management Utility」を削除してください。

9. 付 録

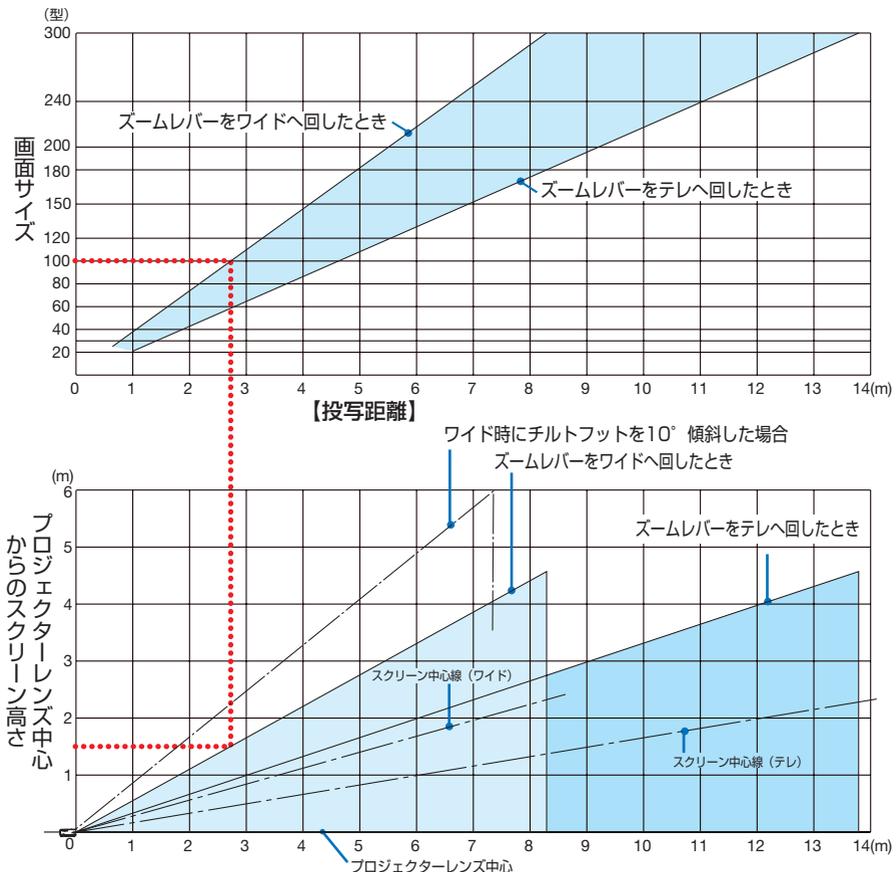
投写距離とスクリーンサイズ

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいか、また、目的の大きさで投写するにはどのくらいの距離が必要かを知りたいときの目安にしてください。

※投写距離表の「プロジェクターレンズ中心からスクリーンの高さ」は RICOH PJ X5371N はレンズシフト 0.5V、RICOH PJ WX5361N はレンズシフト 0.6V のときを表しています。

RICOH PJ X5371N の場合

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 0.6m（25 型の場合）～ 13.8m（300 型の場合）です。この範囲で設置してください。



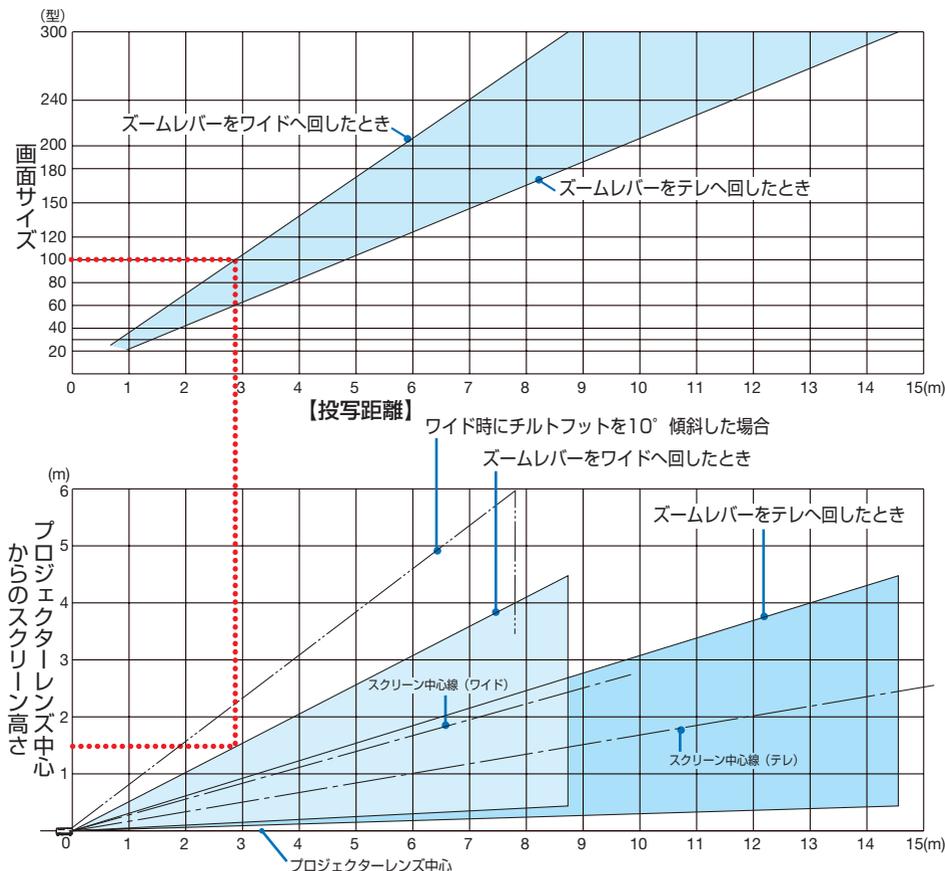
【表のみかた】

前ページの上の表より 100 型スクリーンにワイドで投写するには表より、2.7m 付近に設置することになります。

また、前ページの下表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端までが約 1.5m 必要となりますので、プロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。チルトフットにより上へ最大約 10° 上げることができます。

RICOH PJ WX5361N の場合

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 0.7m（25 型の場合）～ 14.6m（300 型の場合）です。この範囲で設置してください。



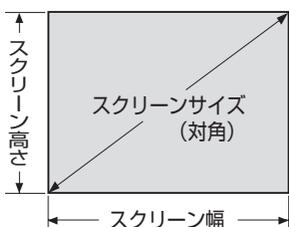
【表のみかた】

上の表より 100 型スクリーンにワイドで投写するには表より、2.9m 付近に設置することになります。

また、下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端までが約 1.5m 必要となりますので、プロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。チルトフットにより上へ最大約 10° 上げることができます。

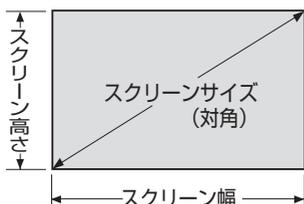
スクリーンサイズと寸法表

RICOH PJ X5371N の場合



サイズ (型)	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
30	61.0	45.7
40	81.3	61.0
60	121.9	91.4
80	162.6	121.9
100	203.2	152.4
120	243.8	182.9
150	304.8	228.6
200	406.4	304.8
240	487.7	365.8
300	609.6	457.2

RICOH PJ WX5361N の場合



サイズ (型)	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
30	64.6	40.4
40	86.2	53.8
60	129.2	80.8
80	172.3	107.7
100	215.4	134.6
120	258.5	161.5
150	323.1	201.9
200	430.8	269.2
240	516.9	323.1
300	646.2	403.9

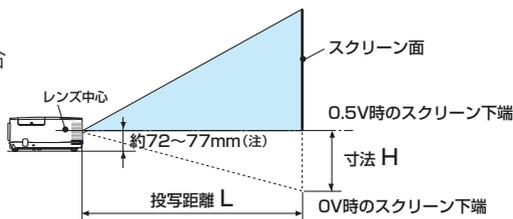
デスクトップの例

下の図はデスクトップで使用するときの例です。

水平投写位置……レンズを中心に左右均等

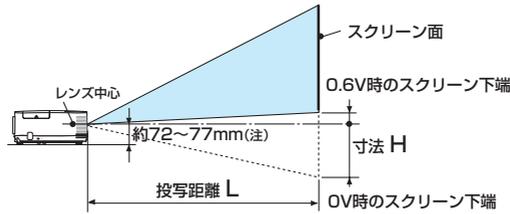
垂直投写位置……(下表参照)

RICOH PJ X5371N の場合



(注) レンズ中心から設置面までの高さ
(チルトフットを縮めた状態)

スクリーン サイズ (型)	投写距離 L (m)		寸法 H (cm)
	ワイド時	テレ時	
25	0.64	1.10	-19.1 ~ 0
30	0.78	1.33	-22.9 ~ 0
40	1.06	1.79	-30.5 ~ 0
60	1.62	2.71	-45.7 ~ 0
80	2.17	3.64	-61.0 ~ 0
100	2.73	4.56	-76.2 ~ 0
120	3.29	5.49	-91.4 ~ 0
150	4.12	6.87	-114.3 ~ 0
180	4.95	8.26	-137.2 ~ 0
200	5.51	9.18	-152.4 ~ 0
240	6.62	11.03	-182.9 ~ 0
300	8.30	13.80	-228.6 ~ 0

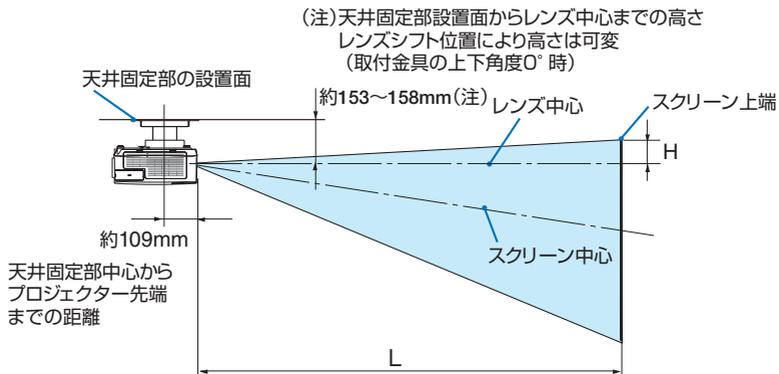


(注) レンズ中心から設置面までの高さ (チルトフットを縮めた状態)

スクリーン サイズ (型)	投写距離 L (m)		寸法 H (cm)
	ワイド時	テレ時	0V ~ 0.6V
25	0.68	1.17	-16.8 ~ +3.4
30	0.83	1.41	-20.2 ~ +4.0
40	1.12	1.90	-26.9 ~ +5.4
60	1.71	2.83	-40.4 ~ +8.1
80	2.30	3.85	-53.8 ~ +10.8
100	2.89	4.82	-67.3 ~ +13.5
120	3.47	5.80	-80.8 ~ +16.2
150	4.35	7.26	-101.0 ~ +20.2
180	5.24	8.72	-121.2 ~ +24.2
200	5.82	9.70	-134.6 ~ +26.9
240	7.00	11.65	-161.5 ~ +32.3
300	8.76	14.58	-201.9 ~ +40.4

参考

- 天吊り金具 (別売) 設置時の投写距離について
 投写距離 (L)、寸法 (H) はデスクトップの例と同じです。
 レンズシフトについては [40 ページ](#) の参考をご覧ください。
 天井固定部の寸法およびプロジェクター取り付け時の寸法は [224 ページ](#) をご覧ください。



- 記載の数値は設計値のため誤差が生じることがあります。

対応解像度一覧

アナログ RGB

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60/72/75/85/iMac
SVGA	800 × 600	4 : 3	56/60/70/75/85/iMac
XGA	1024 × 768 ^{*1}	4 : 3	60/70/75/85/iMac
XGA+	1152 × 864	4 : 3	60/70/75/85
WXGA	1280 × 768 ^{*2}	15 : 9	60
	1280 × 800 ^{*2}	16 : 10	60
	1360 × 768 ^{*3}	16 : 9	60
	1366 × 768 ^{*3}	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60/75
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60/75
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900 ^{*3}	16 : 9	60
UXGA	1600 × 1200 ^{*4}	4 : 3	60/65/70/75
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
WUXGA	1920 × 1200 ^{*5}	16 : 10	60 ^{*6}
HD	1280 × 720	16 : 9	60
Full HD	1920 × 1080	16 : 9	60
MAC 13"	640 × 480	4 : 3	67
MAC 16"	832 × 624	4 : 3	75
MAC 19"	1024 × 768	4 : 3	75
MAC 21"	1152 × 870	4 : 3 ^{*3}	75
MAC 23"	1280 × 1024	5 : 4	65

HDMI

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60
SVGA	800 × 600	4 : 3	60
XGA	1024 × 768 ^{*1}	4 : 3	60
WXGA	1280 × 768 ^{*2}	15 : 9	60
	1280 × 800 ^{*2}	16 : 10	60
	1366 × 768	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
WUXGA	1920 × 1200	16 : 10	60 ^{*6}
HDTV (1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV (480i)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576i)	720 × 576	4:3 / 16:9	60

コンポーネント

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
HDTV (1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV (480i)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576i)	720 × 576	4:3 / 16:9	50

コンポジット ビデオ / S-ビデオ

信号名	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
NTSC	4 : 3	60
PAL	4 : 3	50
PAL60	4 : 3	60
SECAM	4 : 3	50

*1: RICOH PJ X5371N はリアル表示

*2: RICOH PJ WX5361N はリアル表示

*3: オンスクリーンメニューのアスペクトを「ノーマル」に設定しているときは正しく表示できないことがあります。本機の工場出荷時は「ノーマル」に設定しています。該当する解像度の信号を投写するときは、アスペクトを「16 : 9」に設定してください。

*4: WXGA モードがオフの時

*5: WXGA モードがオンの時

*6: リデュースドブランキング信号は154MHz以上

- ・ 出荷時はその表示解像度 / 周波数の標準的な信号に合わせていますが、コンピューターの種類によっては調整が必要な場合があります。
- ・ コンピューター信号は、セパレート同期信号のみ対応しています。

仕様

●プロジェクター本体の仕様

形式		RICOH PJ X5371N	RICOH PJ WX5361N
方式		三原色液晶シャッタ投影方式	
主要 部品 仕様	液晶パネル	サイズ	0.63 型 MLA 付き (アスペクト比 4 : 3)
		画素数 (*1)	786,432 画素 (1024 ドット× 768 ライン)
	投写レンズ	ズーム	マニュアル (1 ~ 1.7 倍、f=17.4 ~ 29.0mm)
		フォーカス	マニュアル
		レンズシフト	マニュアル
	光源	270W AC ランプ (エコ1 モード時 214W、エコ2 モード時 163W (*2))	
	光学装置	ダイクロイックミラーによる光分離・クロスダイクロプリズムによる合成方式	
明るさ (*2) (*3)	5000lm	4500lm	
コントラスト比 (*2) (全白/全黒)	4000:1 (ダイナミックコントラスト オン時)		
画面サイズ (投写距離)	25 ~ 300 型 (0.6 ~ 13.8m)	25 ~ 300 型 (0.7 ~ 14.6m)	
色再現性	10 ビット カラープロセッシング (約 10 億 7000 万色) (*4)		
音声出力	16W モノラルスピーカー内蔵		
走査周波数 (*5)	水平	15 ~ 100kHz 未満 (RGB 入力は 24kHz 以上)	
	垂直	50 ~ 120Hz (HDMI 入力は 50 ~ 85Hz)	
主な調整機能	マニュアルズーム、マニュアルフォーカス、マニュアルレンズシフト、入力信号切替 (コンピューター /HDMI/ ビデオ /S-ビデオ /ビューワー /USB ディスプレイ /ネットワーク)、画像自動調整、画面拡大、画面位置調整、ミュート (映像 / 音声とも)、電源オン / オフ、オンスクリーン表示 / 選択など		
最大表示解像度 (横×縦)	1920 × 1200		
入力 信号	R,G,B,H,V	RGB:0.7Vp-p / 75 Ω 正極性 H/V Sync:4.0Vp-p/TTL 正極性 / 負極性	
	コンポジットビデオ	1.0Vp-p / 75 Ω	
	S-ビデオ	Y:1.0Vp-p / 75 Ω C:0.286Vp-p / 75 Ω	
入力 信号	コンポーネント	Y:1.0Vp-p / 75 Ω (With Sync) Cb,Cr (Pb,Pr) :0.7Vp-p / 75 Ω DTV: 480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p (60Hz) 576i, 576p, 720p, 1080i (50Hz)	
		DVD: プログレッシブ信号 (50/60Hz)	
		音声	
	音声	0.5Vrms / 22k Ω以上	

形名		RICOH PJ X5371N	RICOH PJ WX5361N
入出力端子	コンピューター/ コンポーネント	映像入力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1
		映像出力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1
		音声入力	ステレオミニジャック× 1
		音声出力	ステレオミニジャック× 1 (全信号共通)
	HDMI	映像入力	HDMI タイプ A × 2 (DeepColor、LipSync、HDCP 対応 ^(*)6))
		音声入力	HDMI (LPCM サンプリング周波数 32/44.1/48KHz)
	ビデオ	映像入力	RCA × 1
		音声入力	RCA (RCA L/R) × 1
	S-ビデオ	映像入力	ミニ DIN4 ピン× 1
		音声入力	(ビデオの音声入力端子と共通)
PC コントロール端子		D-Sub 9ピン× 1	
USB ポート		USB タイプ A × 1、USB タイプ B × 1	
無線 LAN 用 USB ポート		USB タイプ A × 1	
LAN ポート		RJ-45 × 1、10BASE-T/100 BASE-TX	
使用環境		動作温度 :5 ~ 40℃ ^(*)7) 動作湿度 :20 ~ 80% (ただし、結露しないこと) 保存温度 : - 10 ~ 50℃ 保存湿度 :20 ~ 80% (ただし、結露しないこと) 動作高度 :0 ~ 2700m(1700 ~ 2700m はファンモード「高地」)	
電源		AC 100V 50/60Hz ^(*)8)	
消費電力 (数値は 標準値)	エコモード切り時	374W	
	エコ1モード時	304W	
	エコ2モード時	260W	
	ノーマルスタンバイ時	10W	
	ネットワークスタンバイ時	2.4W	
	省電力時	0.21W	
定格入力電流		4.2A	
外形寸法		398 (幅) × 115 (高) × 276 (奥行) mm (突起部含まず)	
質量		4.1kg	

(*)1) : 有効画素数は 99.99% です。

(*)2) : 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 2 に基づいています。

(*)3) : ランプパワーが「標準」、プリセットが高輝度のときの明るさです。
エコ1モードにすると、明るさが約 80% に低下します。エコ2モードにすると、明るさが約 60% に低下します。また、プリセットで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。

(*)4) : 入力で、ビューワー、ネットワークを選択しているときは、フルカラー (約 1677 万色以上) となります。

(*)5) : 入力信号の解像度によっては対応しない場合があります。

(*)6) : HDCP/HDCP 技術とは？

HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本機には、HDMI 入力端子を 2 系統装備しています。

本機の HDMI 1/HDMI 2 入力端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。

ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、HDMI 1/HDMI 2 入力端子の映像が表示されないことがあります。

映像 : DeepColor (ディープカラー : 色深度) : 8/10/12 ビット、LipSync

音声 : LPCM; チャンネル数 : 2ch、サンプリング周波数 : 32/44.1/48KHz、サンプリングビット : 16/20/24 ビット

(*)7) : 35 ~ 40℃ は「強制エコモード」になります。

(*)8) : 高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。

・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

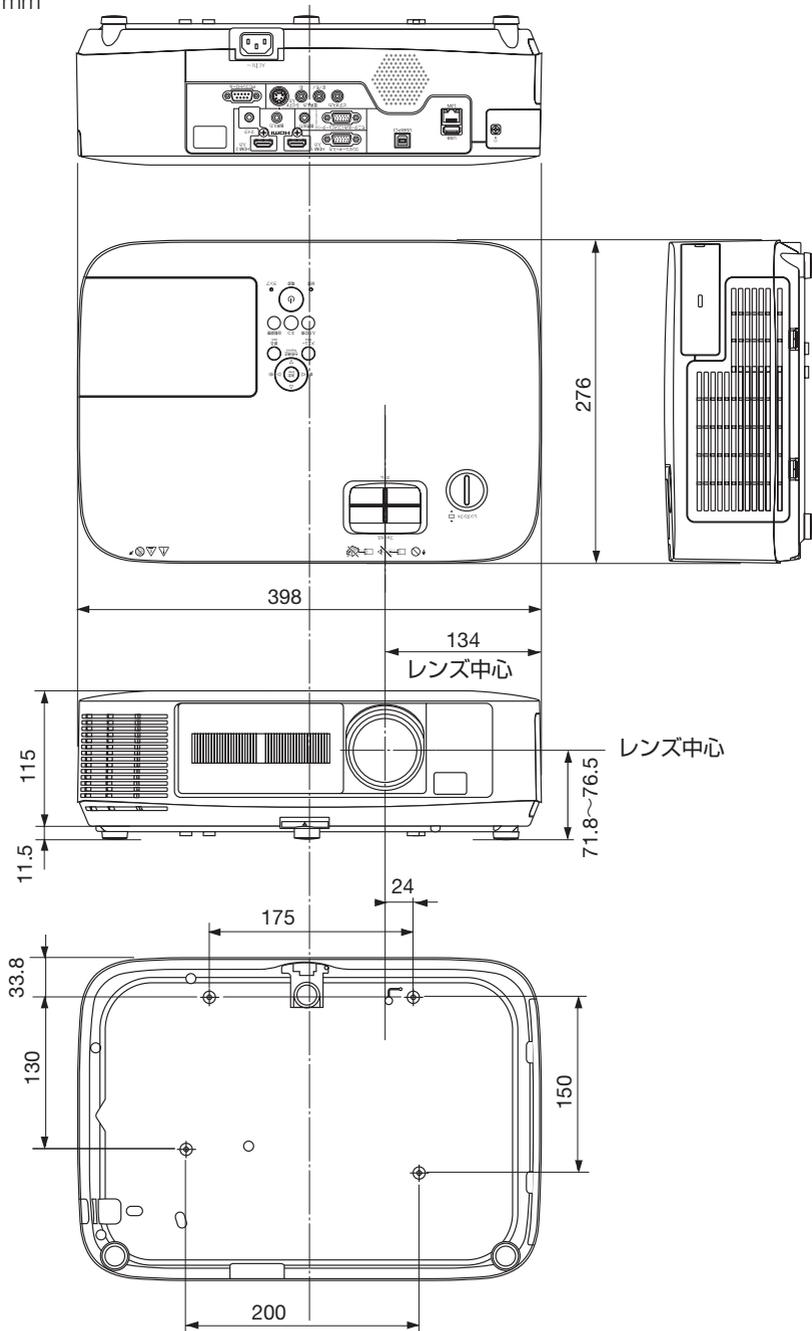
●無線 LAN ユニット (NP02LM2) の仕様

動作電源電圧	5V (プロジェクター本体から供給)	
消費電流 (最大)	460 mA	
規格	IEEE802.11b / IEEE802.11g / IEEE802.11n	
変調方式	CCK/DQPSK/DBPSK/OFDM/DS-SS	
ホストインターフェイス	USB 2.0 (プロジェクター本体の無線 LAN ユニット 専用ポートで使用)	
LED 表示 (緑色)	通信時：点滅 通信待機時：ゆっくりとした点滅 非動作時：消灯	
外形寸法	28 (幅) × 11 (高さ) × 81 (奥行) mm	
質量	22g	
使用環境	動作温度：5 ~ 40℃ 動作湿度：20 ~ 80% (ただし、結露しないこと) 保存温度：-10 ~ 50℃ 保存湿度：20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)	
IEEE802.11b	周波数帯域 / チャンネル	2412 ~ 2472 MHz 1 ~ 13 ch
	伝送方式	直接スペクトラム拡散方式 (DS-SS 方式)
	伝送速度	11/5.5/2/1 Mbps
IEEE802.11g	周波数帯域 / チャンネル	2412 ~ 2472 MHz 1 ~ 13 ch
	伝送方式	直交周波数分割多重方式 (OFDM 方式)
	伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps
IEEE802.11n	周波数帯域 / チャンネル	2412 ~ 2472 MHz 1 ~ 13 ch
	伝送方式	直交周波数分割多重方式 (OFDM 方式) / 空間多重方式 (MIMO 方式)
	伝送速度 *	デュアルチャネル通信無効時 130/117/104/78/52/39/26/19.5/13 Mbps デュアルチャネル通信有効時 300/270/243/216/162/108/81/54/40.5/27/13.5 Mbps

* ご利用環境により、デュアルチャネル通信無効 / 有効モードが自動で切り替わります。

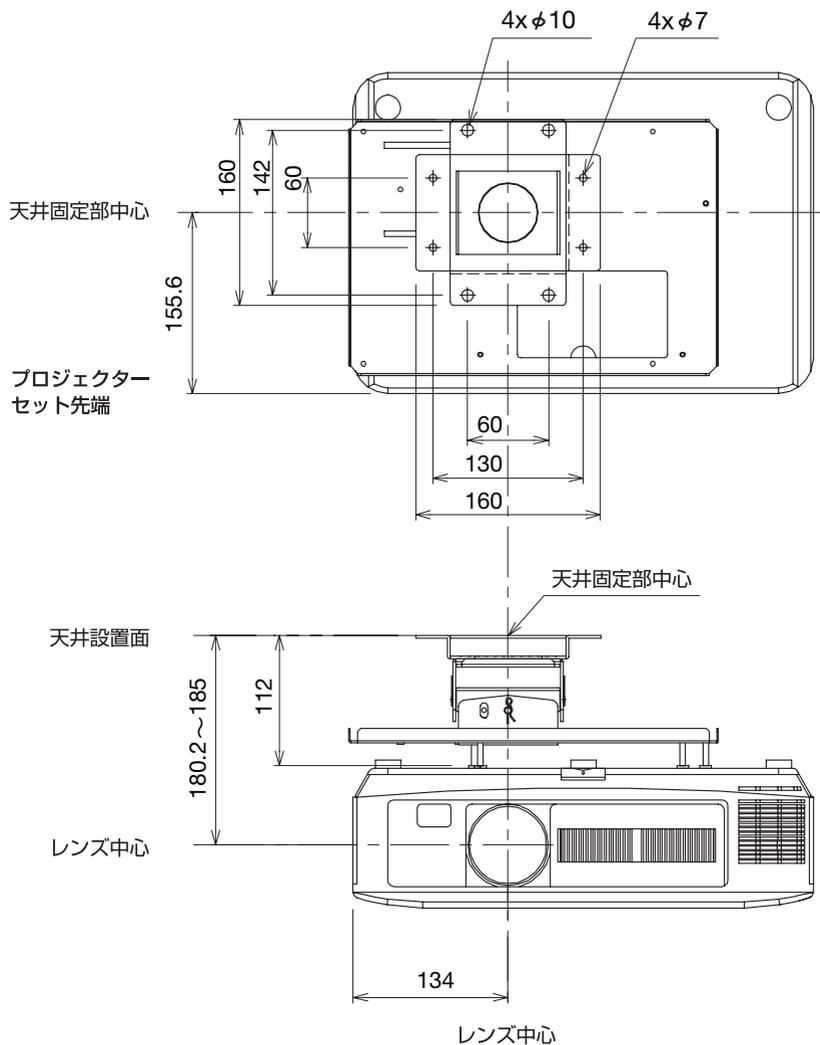
外觀圖

単位：mm



天吊り金具（別売）取り付け図

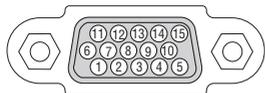
天井設置面寸法図（単位：mm）



注) 左右0度、上下0度、傾き0度時の寸法です。

コンピューター映像入力端子のピン配列と信号名

各ピンの接続と信号レベル



信号レベル

ビデオ信号：0.7Vp-p（アナログ）

同期信号：TTLレベル

ピン番号	RGB 信号（アナログ）	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接 地	
5	接 地	
6	赤 接 地	Cr 接 地
7	緑 接 地	Y 接 地
8	青 接 地	Cb 接 地
9	非接続	
10	同期信号 接 地	
11	非接続	
12	Bi-directional DATA（SDA）	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock	

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときはお客様相談センターにお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	33
	ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	186
	ランプユニット固定のネジがゆるんでいませんか。	186
	ランプ交換時間（目安）*を超えて使用していませんか。 新しいランプに交換してください。 交換後、本機をスタンバイ状態にして、リモコンの（ヘルプ）ボタンを10秒以上押し続けてください。本機内部で管理しているランプ時間の値がクリアされ電源が入るようになります。 ※保証時間ではありません。	139
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	232
	標高約1700m以上の高地で本機を使用していませんか。 高地で使用する場合はオンスクリーンメニューのファンモードで「高地」を選択してください。 高地で本機を使用する場合にファンモードで「高地」を選択していないと、温度プロテクターが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、ランプ消灯後ランプの温度が上昇するため、温度プロテクターが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。	133
	上記の電源コードの接続、ランプ交換時間、本機の内部温度上昇などが原因として考えられない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約5分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	48
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューのオフタイマーまたは無信号電源オフを「入（時間を選択）」にいませんか。	126, 136

映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。本体の入力切換ボタンまたはリモコンの入力を選択するボタンを再度押してください。	36
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	164～171
	調整のコントラスト、明るさが最小になっていませんか。	118
	コンピューター信号 (RGB) の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。コンピューターの解像度を確認してください。	218
	コンピューター信号 (RGB) の場合、画面調整を正しく行っていますか。	46
	コンピューターの画面がうまく投写できない場合は、 229 ページ をご覧ください。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	112
	それでも解決しない場合は、リセットを行ってみてください。	140
	セキュリティーが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたセキュリティーキーワードを入力しないと映像は投写されません。	59
	ランプの消灯直後に電源を入れたときは、冷却のためにファンのみが回転し、映像が出るまでに時間がかかります。しばらくお待ちください。	—
	標高約 1700m 未満であっても高地で使用している場合、温度プロテクターが働いて、自動的に消灯することがあります。そのときはファンモードを「高地」に設定してください。	133
映像が歪む	正しく設置されていますか。	39
	台形状に歪む場合は台形補正または 4 点補正を行ってください。	44, 55
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	41
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	39
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	214
	レンズなどが結露していませんか。気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像の画質が悪い	コンピューター信号 (RGB) の場合、 (自動調整) ボタンを押してください。	46
画面がちらつく	オンスクリーンメニューのファンモードで「高地」を選択した状態のまま本機を低地（標高約 1700m 未満）で使用すると、ランプが冷えずで画面がちらつくことがあります。ファンモードで「高地」以外を選択してください。	133
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	—

映像が突然暗くなった	室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。 空調の温度設定を下げるなど、室温が低くなるようにして、 本機内部の温度が下がるようにしてください。	53
水平または垂直方向に 映像がずれて正常に表示 されない	コンピューター信号（RGB）の場合、水平位置、垂直位置 を正しく調整しましたか。	119, 120
	コンピューター信号（RGB）の場合、入力信号が対応して いる解像度、周波数になっていますか。 コンピューターの解像度を確認してください。	218
コンピューター信号 （RGB）で文字がちら ついたり色がずれてい る	（自動調整） ボタンを押してください。改善されない場合は、 オンスクリーンメニューのサンプリング周波数とサンプリ ング位相を調整してください。	46, 119
リモコンで操作できな い	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向け ていますか。	27
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換 してください。	27
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありま せんか。	28
	リモコンの有効範囲（7m）を超えていませんか。	27
	コントロールID 機能を設定している場合、リモコンのID 番号とプロジェクターのID番号は一致していますか。 コントロールIDを「入」にすると、本機のリモコンから 本機を操作できなくなります。	131
	本機のリモコンを使って、コンピューターのマウス操作を 行う場合は、本機のUSB（PC）ディスプレイ端子とコン ピューターを市販のUSBケーブル（USB 2.0対応）で接 続してください。	61
マイクの音が出ない	マイクのケーブルがマイク端子に正しく接続されています か。	84
	プラグインパワー方式のマイクを使っていませんか。	
マイクの音が大き過ぎ るまたは小さ過ぎる	オンスクリーンメニューの「マイクゲイン」を調整してく ださい。	132
インジケーターが点滅 する	インジケーター表示一覧をご覧ください。	231, 232
本機の動作が不安定に なる	電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してくださ い。	48

コンピューターの画面がうまく投写できない場合

コンピューターを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●コンピューターの起動のタイミング

コンピューターと本機をコンピューターケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、コンピューターを起動してください。特にノートブックコンピューターの場合、接続してからコンピューターを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

参考

- 本機のオンスクリーンメニューを表示して、情報→信号の水平同期周波数を確認してください。
水平同期周波数が表示されていないときは、コンピューターから外部出力信号が出力されていません。(▶ 138 ページ)

●コンピューターの起動後に操作が必要な場合

ノートブックコンピューターの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートブックコンピューター自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

参考

- Windows のノートブックコンピューターの場合は、ファンクションキーを使って「外部」に切り替えます。
[Fn] キーを押したまま (■/□) などの絵表示や (LCD/VGA) の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく（プロジェクターが認識する時間）すると投写されます。
通常、キーを押すごとに「外部出力」→「コンピューター画面と外部の同時出力」→「コンピューター画面」…と繰り返します。
- Windows 7 の場合は、Windows キーを押したまま [P] キーを押すと、外部出力（モニター出力）にすることができます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

[Fn] + [F2]	MSI
[Fn] + [F3]	NEC, Panasonic, SOTEC, MITSUBISHI, Everex
[Fn] + [F4]	HP, Gateway
[Fn] + [F5]	ACER, TOSHIBA, SHARP, SOTEC
[Fn] + [F7]	SONY, IBM, Lenovo, HITACHI
[Fn] + [F8]	DELL, ASUS, EPSON, HITACHI
[Fn] + [F10]	FUJITSU

※詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
表に記載されていないメーカーのノートブックコンピューターをお使いの場合は、ノートブックコンピューターのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。

- Macintosh PowerBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。

● ノートブックコンピューターの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートブックコンピューターの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートブックコンピューターの制限（コンピューター自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノートブックコンピューターの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

● Macintosh を起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Macintosh 用信号アダプター（市販）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Macintosh および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを 13 インチ固定モードに設定し、Macintosh を再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

● PowerBook と本機を同時に表示させる場合

PowerBook ディスプレイのビデオミラーリングを「切」にしないと外部出力を 1024 × 768 ドットに設定できないことがあります。

● Macintosh の投写画面からフォルダーなどが切れている場合

Macintosh に接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、Macintosh の Finder 画面で option キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

インジケータ表示一覧

本体操作部の3つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



●電源インジケータ

インジケータ表示	本機の状態	行ってください	
消灯	主電源が切れている	—	
点滅	青色（短い点滅）	電源オン準備中	しばらくお待ちください。
	青色（長い点滅）	オフタイマー（有効状態） プログラムタイマー （オフ時刻有効状態）	—
	オレンジ色（短い点滅）	本体冷却中	しばらくお待ちください。
	オレンジ色（長い点滅）	プログラムタイマー （オン時刻有効状態）	—
点灯	青色	電源オン状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態（スタンバイモードが「ノーマル」または「ネットワークスタンバイ」）	—
	赤色	スタンバイ状態 （スタンバイモードが「省電力」）	—

●状態インジケータ

インジケータ表示	本機の状態	行ってください	
消灯	異常なし、またはスタンバイ状態（スタンバイモードが「省電力」または「ネットワークスタンバイ」）	—	
点滅	赤色（1回周期）	カバー異常	ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。 (● 186 ページ)
	赤色（2回周期）	温度異常	温度プロテクターが動作しています。室温が高い場合は、本機を涼しい場所へ移動してください。 (● 次ページ)
	赤色（3回周期）	電源異常	電源が正常に動作していません。お客様相談センターへ修理を依頼してください。
	赤色（4回周期）	ファン異常	冷却ファンの回転が停止しています。お客様相談センターへ修理を依頼してください。
	赤色（6回周期）	ランプ不点灯	ランプが点灯しません。1分以上待って再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合はお客様相談センターにご相談ください。

点滅	緑色	ランプ点灯失敗後の再点灯準備中	しばらくお待ちください。
	オレンジ色	ネットワークの競合	本機の内蔵 LAN と無線 LAN を同時に同じネットワークに接続することはできません。本機の内蔵 LAN と無線 LAN を同時にネットワークに接続する場合は、異なるネットワークに接続してください。
点灯	緑色	スタンバイ状態 (スタンバイモードが「ノーマル」)	—
	オレンジ色	本体キーロック中にボタンを押したとき プロジェクターの ID 番号とリモコンの ID 番号が一致しないとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。(🔗 130 ページ) コントロール ID を確認してください。(🔗 131 ページ)

●ランプインジケーター

インジケーター表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし	—
点滅	赤色	ランプ交換猶予時間中	ランプ残量が 0% になり、ランプ交換の猶予時間 (100 時間) 中です。すみやかにランプを交換してください。(🔗 182 ページ)
点灯	赤色	ランプ時間超過	ランプ時間を超過しています。ランプを交換するまで本機の電源は入りません。(🔗 182 ページ)
	緑色	ランプパワー「エコ 1, エコ 2」時	—

●温度プロテクターが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、ランプが消灯し、状態インジケーターが点滅します (2 回点滅の繰り返し)。

同時に本機の温度プロテクター機能が働いて、本機の電源が切れることがあります。

このようなときは、以下のことを行ってください。

- ・電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- ・通風孔にほこりがたまっていたら、清掃してください。(🔗 177, 181 ページ)
- ・本機内部の温度が下がるまで、約 1 時間そのままにしてください。

索引

数字／アルファベット

4点補正	55,	125,	198
AC IN 端子	22,	33	
Advanced Network Utility	29,	201	
AV ミュート	21,	50	
CD-ROM	20,	29	
CO2 換算係数		137	
CRESTRON ROOMVIEW	18,	72	
DHCP	68,	145	
DNS	68,	146	
GCT (Geometric Correction Tool)		198	
HDCP		221	
HDMI1/HDMI2 設定		134	
HTTP		65	
ID 表示		127	
IP アドレス	68,	138,	146
JPEG 変換ツール	29,	211	
LAN	193,	201	
MAC アドレス		138	
PJLink		158	
Projection Utility	29,	193,	198
Projection Utility for Mac OS	29,	193,	197
sRGB		116	
SSID	69,	148	
USB (LAN) ポートカバー	22,	175	
USB ディスプレイ	62,	164,	193
USB メモリー	85,	86,	89
WEP		148	
WPA		148	
WPS		155	
WXGA モード		133	

五十音

【ア行】

明るさ	118	
アスペクト	121	
アドバンストメニュー	112,	159
アプリケーションメニュー	141	
アラートメール	157	
位置	123	
色あい	118	
色温度	117	

色の濃さ	118	
インジケータ表示	231	
インストール	190	
映像	116	
エコメッセージ	127	
オートパワーオン (COMP.)	136	
オーバースキャン	120	
オプション (1)	132	
オプション (2)	135	
オフタイマー	107,	126
オンスクリーンメニュー	107,	112
音声入力選択	134	
温度プロテクター	232	
音量	47,	123

【カ行】

カーボンメーター	53			
解像度	218			
画像設定	119			
壁色補正モード	125			
画面モード	118			
カラーエンハンスメント	118			
簡易 DICOM	116			
ガンマ補正	117			
管理者モード	159			
キーワード	58			
幾何学補正	198			
吸気口	21,	177		
強制エコモード	53,	107		
共有フォルダー	101			
クイックスタート	16			
クイックパワーオフ	16			
クロースドキャプション	126			
言語	34,	126		
コントラスト	118			
コントロール ID	131			
コントロールウィンドウ	64,	195		
コンピューターケーブル	19,	33,	164,	171

【サ行】

サブネットマスク	68,	138,	146
サムネイル画面	93,	95	
参照	117		
サンプリング位相	119		
サンプリング周波数	119		

自動調整	46,	132		
シャープネス		118		
詳細設定		117		
状態インジケーター	23,	231		
情報		138		
初期入力選択	37,	137		
信号選択	36,	133		
垂直位置		120		
水平位置		119		
ズームレバー	21,	42		
スクリーンサイズ (映像)		117		
スクリーンサイズ (投写距離)		214		
スタンバイモード		135		
ストリーミング	29,	193,	195	
スピーカー		22,	47	
スライド画面		93,	96	
静止			50	
静止画 (画面モード)			118	
静止画コントロールバー (ビューワー)			96	
セキュリティ	58,	69,	130,	147
セキュリティバー			22	
接続端子部		22,	24	
設置		129,	214	
設置状態			129	
セットアップ			124	
全般			124	
ソフトケース		19,	49	

【タ行】

台形歪み		44		
台形補正	44,	124		
台形補正 垂直		124		
台形補正 水平		124		
ダイナミックコントラスト		117		
ダイレクトパワーオフ	16,	35		
調整		116		
チルトフット	21,	42		
チルトレバー	21,	42		
通貨選択		137		
通信速度		130		
ツール		159		
デインターレース		134		
テストパターン		132		
デフォルトゲートウェイ	68,	138,	146	
電気料金換算係数			137	
電源		34,	48	
電源インジケーター	23,	231		
電源オン方法			136	
電源コード	4,	19,	33,	49
動画コントロールバー (ビューワー)			97	

動画ストリーミング	29,	193,	195
投写距離			214
盗難防止用ロック			22
ドメイン	69,	155,	156
ドライブ一覧画面			93

【ナ行】

入力信号	36,	64,	107
入力端子	24,	67,	115
入力端子表示			127
ネットワークサービス			158
ネットワーク情報			155
ネットワーク設定		68,	143
ネットワークプロジェクター		73,	142

【ハ行】

ビープ音			134	
日付と時刻			163	
ビューワー			85	
ビューワーオプションの設定			98	
表示色選択			127	
表示時間			128	
ピンクッション上端 / 下端		57,	124	
ピンクッション左端 / 右端		57,	124	
ファンモード		107,	133	
フィルター	21,	177,	187	
フィルターカバー		177,	187	
フィルター時間クリア	140,	179,	189	
フィルター使用時間			138	
フィルターの交換			187	
フィルターメッセージ			128	
フィルターユニット		178,	187	
フォーカスレバー		21,	41	
部分拡大			51	
プリセット			116	
プログラムタイマー			160	
プロジェクター管理ユーティリティ			30,	213
プロジェクター名		70,	156	
プロファイル			145	
ベーシックメニュー		112,	159	
ホワイトバランス			118	
本体キーロック		107,	130	
本体操作部		21,	23	

【マ行】

マイク			84
マイクゲイン			132
マウス	61,	77,	163
無信号ガイダンス			127

無信号電源オフ				136
無信号背景				128
無線 LAN	11,	65,	68, 72,	138, 145, 173
無線 LAN ユニット		11,	19,	107, 175, 222
メール通知			71,	157
メディアサーバー			94,	104
メニュー設定				127
メニューモード				159
文字入力画面				111

【ヤ行】

有線 LAN	65,	68,	72,	138, 145, 172
--------	-----	-----	-----	---------------

【ラ行】

ランプ			182,	184
ランプインジケータ			23,	232
ランプカバー			22,	184
ランプ残量			138,	139
ランプ時間			138,	139
ランプ時間クリア			140,	189
ランプの交換				184
ランプパワー	52,		107,	125
リアフット			22,	43
リセット				140
リセット (映像)				118
リセット (台形補正)		45,		57
リモートデスクトップ				77
リモートマウス				61
リモコン		19,		25
リモコン受光部		21,		27
レンズ			21,	180
レンズカバー	21,		34,	49
レンズシフト			39,	40
レンズシフトダイヤル		21,		40
ロゴ				128

別売品／商標について

●別売品

商 品 名		形 名
ランプ	交換用ランプ	RICOH PJ 交換用ランプ タイプ1 2
天吊り金具	天井用取付けユニット	IPSI0 PJ 天吊り金具タイプ1

この他の別売品については、当社プロジェクター総合カタログをご覧ください。

●商標について

- ・ Macintosh、PowerBook、Mac OS X は、米国 Apple Inc. の登録商標です。
- ・ Apple、Mac、MacBook、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Excel、Internet Explorer、.NET Framework は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Intel、Intel Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- ・ PowerPC は、米国 IBM 社の登録商標です。
- ・ HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の登録商標または商標です。
- ・ PJLink 商標は、日本・米国その他の国や地域における登録商標または出願商標です。
- ・ Wi-Fi[®]、Wi-Fi Alliance[®]、Wi-Fi Protected Access (WPA、WPA2)[®] は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- ・ ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- ・ CRESTRON および ROOMVIEW は、Crestron Electronics, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

●本製品に含まれる GPL/LGPL 等適用ソフトウェアのライセンスについて

本製品には GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属の CD-ROM 内の readme.pdf をご参照ください。readme.pdf は「OSS」フォルダー内の「about GPL&LGPL」フォルダーに格納されています。

株式会社リコー

東京都中央区銀座8-13-1リコービル 〒104-8222

<http://www.ricoh.co.jp/>



■ 消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売担当者にご注文ください。

<http://www.ricoh.co.jp/office/supply/index.html>

■ 保守部品について

補修用性能部品及び消耗品の最低保有期間は、本機の製造中止後、7年間です。

したがって、本期間以降は、修理をお引き受けできない場合があります。

■ 故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、販売担当者にお問い合わせください。

修理範囲(サービスの内容)、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、販売担当者にご連絡ください。転居先の最寄りの販売担当者をご紹介します。

■ 操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター(ご購入後のお客様専用ダイヤル)」にお問い合わせください。

050-3786-6777

上記番号をご利用いただけない方は、03-4330-0925 をご利用ください。

- 受付時間: 平日(月～金)9時～12時、13時～17時(土日、祝祭日、弊社休業日を除く)
- 050ビジネスダイヤルは、一部のIP電話を除き、通話料はご利用者負担となります。
- お問い合わせの際に機番を確認させていただく場合があります。

※お問い合わせの内容・発信者番号は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。

※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

<http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html>

■ 最新ソフトウェア情報

最新版のファームウェアやユーティリティをインターネットのリコーホームページから入手できます。

<http://www.ricoh.co.jp/download/index.html>